

横須賀市地域福祉に関する アンケート調査

調査結果報告書

令和3年（2021年）9月時点

横須賀市民生局福祉部

目 次

I. 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 回収状況	1
6. 調査結果の表示方法	1

II. 集計結果

1. あなた自身のことについて（問1～問10）	2
2. 地域生活について（問11～問28）	12
3. 地域福祉活動について（問29～問38）	36
4. 地域福祉活動の拠点について（問39）	53
5. 福祉に対する意識について（問40～問43）	61
6. 地域福祉の推進について（問44）	71

参考（調査票）	72
---------------	----

I. 調査概要

1. 調査目的

横須賀市地域福祉計画の中間見直しを行うにあたり、市民の地域生活や地域福祉活動の実態、福祉に対する意識等について把握すること。

2. 調査対象

18歳以上の市民2,500人（住民基本台帳から無作為抽出）
（令和3年4月30日現在）

3. 調査期間

令和3年6月1日から令和3年6月25日まで

4. 調査方法

郵送により配布／郵送または電子申請にて回収

5. 回収状況

- ① 配布数 2,500件
- ② 回収数 1,221件
 - うち郵送 1,034件（84.7%）
 - うち電子 187件（15.3%）
- ③ 回収率 48.8%

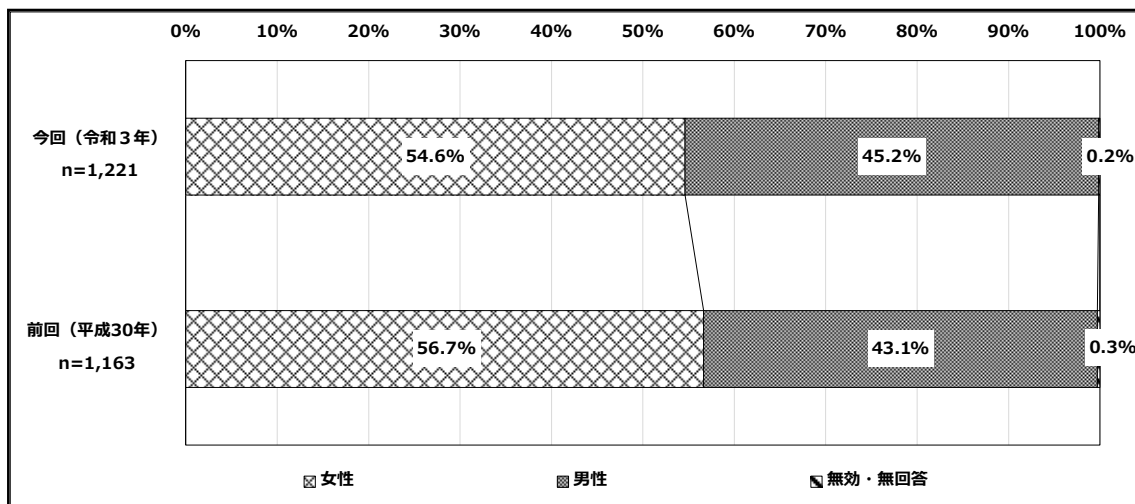
6. 調査結果の表示方法

- ① 図表中の「n（回答数）」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数を表しています。
- ② 回答率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

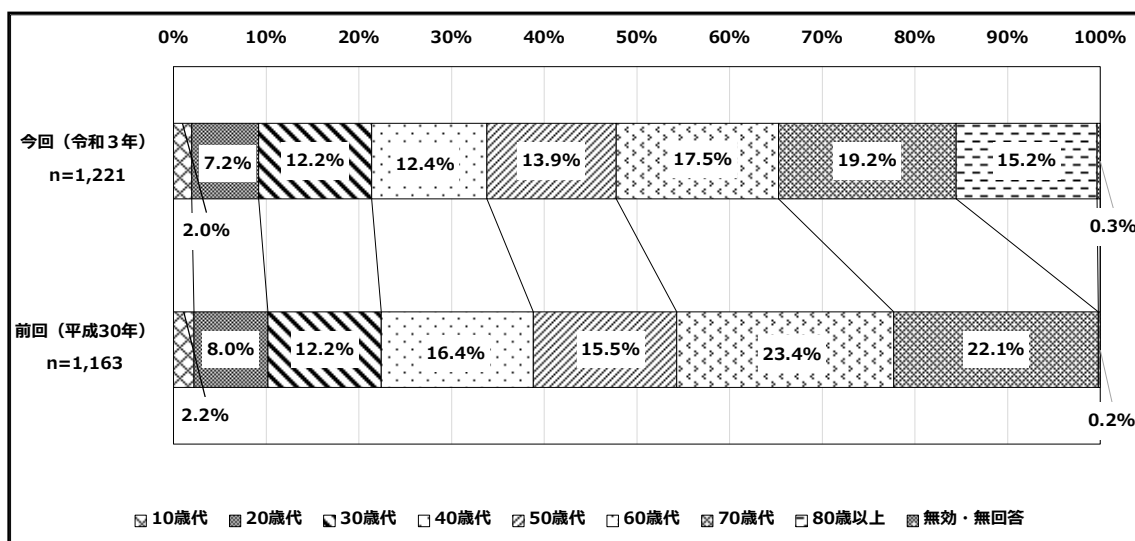
Ⅱ. 集計結果

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。【〇は1つ】



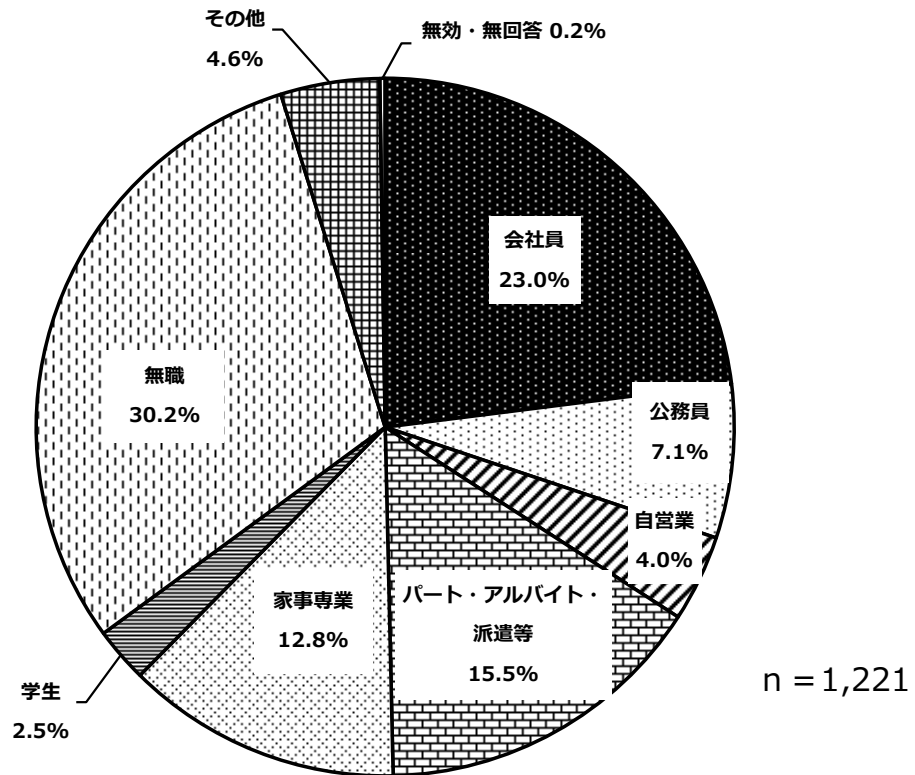
問2 あなたの年齢を教えてください。【〇は1つ】 令和3年4月30日現在



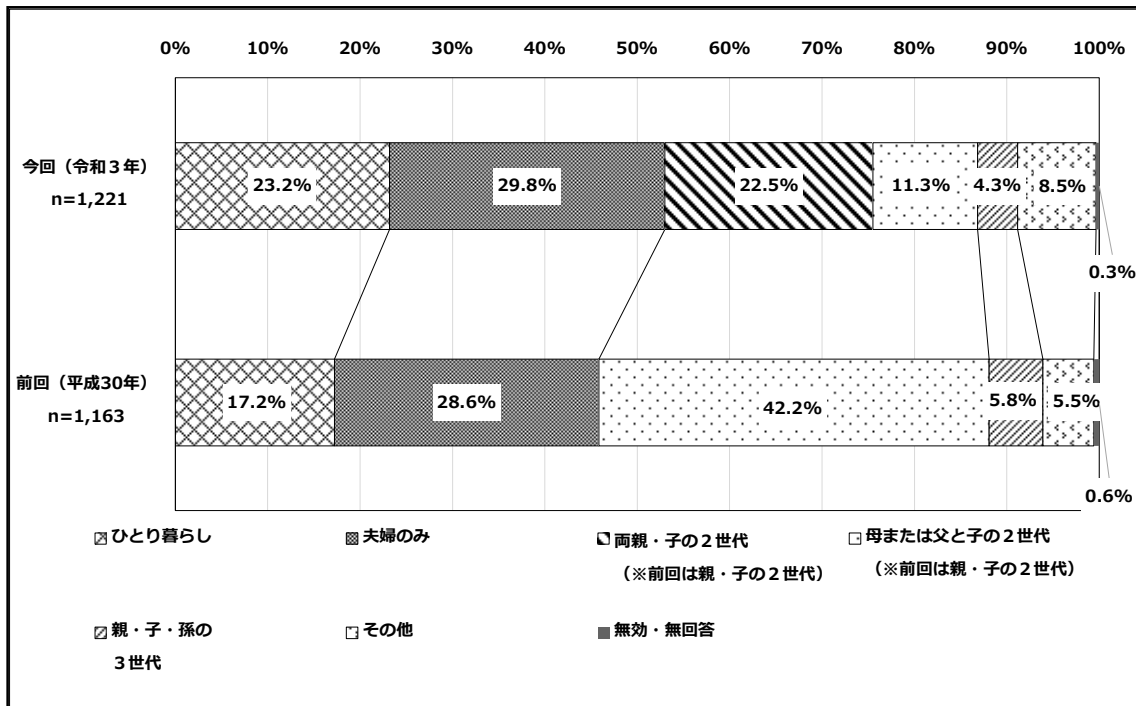
※今回、選択肢に「80歳以上」を追加しました。(前は「70歳代以上」まで)

前回 70歳代以上 (22.1%) → 今回 70歳代 (19.2%)、80歳以上 (15.2%)

問3 あなたの職業を教えてください。【〇は1つ】

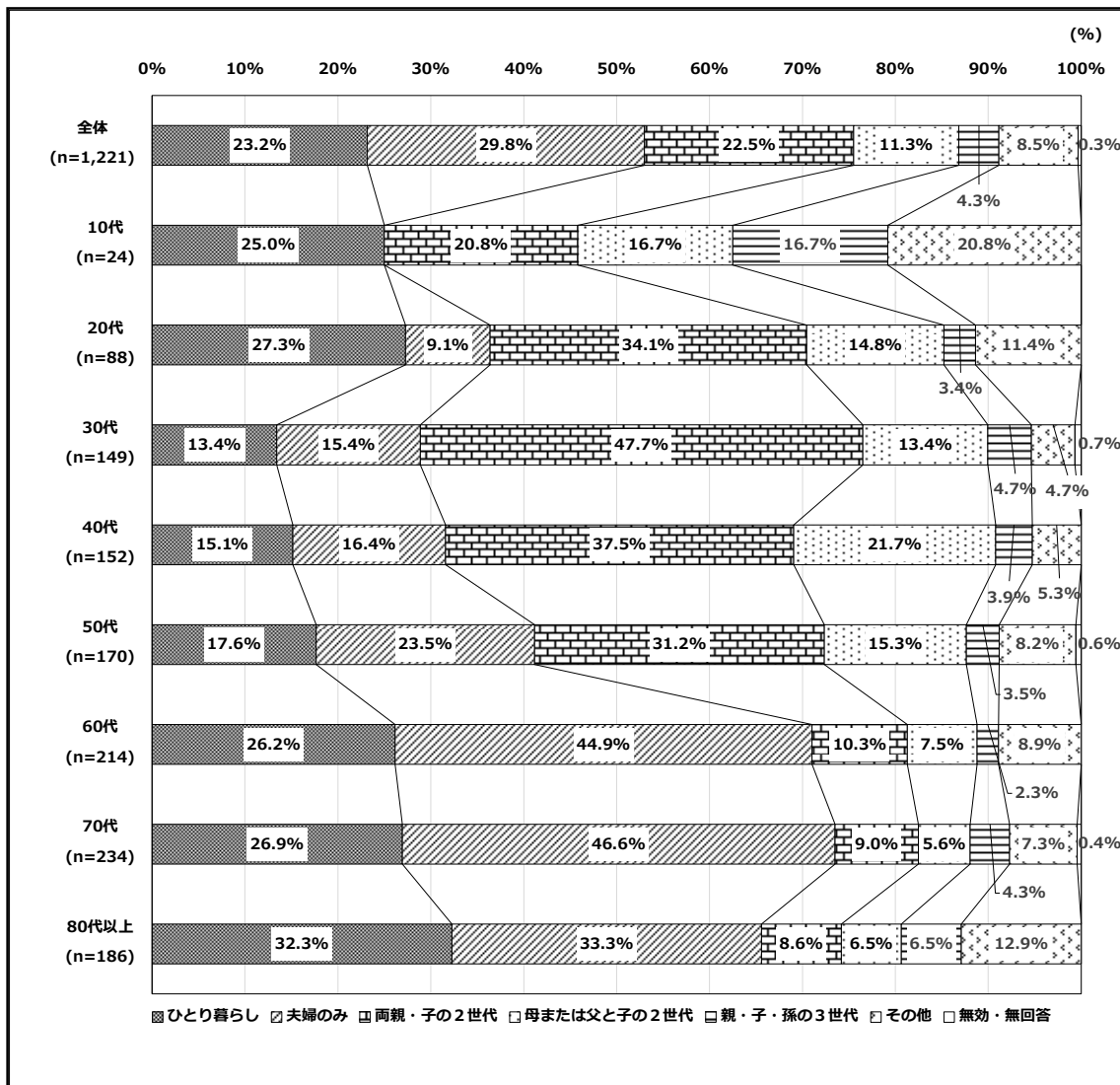


問4 あなたの世帯構成を教えてください。【〇は1つ】

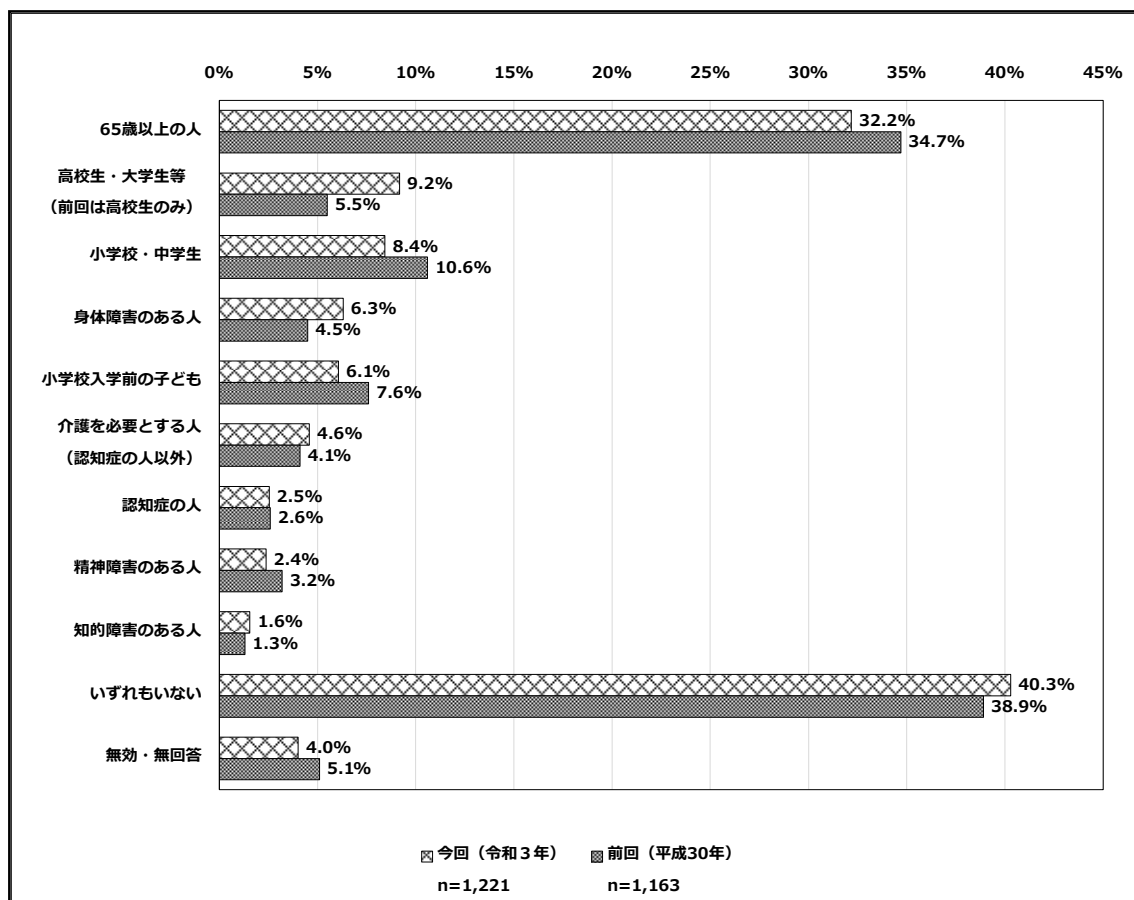


※前回の「親・子の2世代」という選択肢を、今回は「両親・子の2世代」「母または父と子の2世代」の2つの選択肢に分けて質問しました。

【問2（年代）別比較】



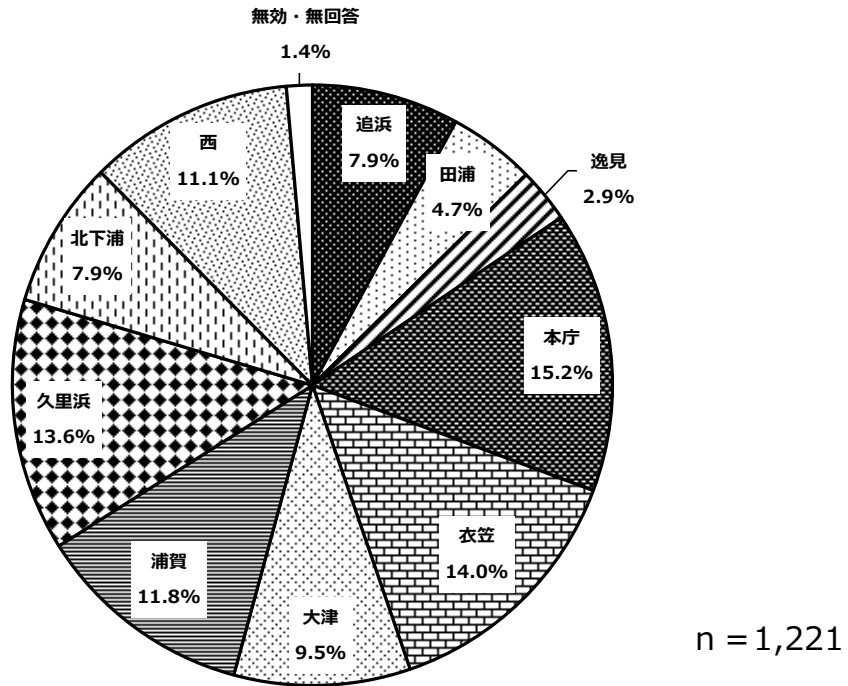
問5 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような人はいますか。【あてはまるものすべてに○】



※前回の「高校生」という選択肢を、今回は「高校生・大学生等」という選択肢に変更して質問しました。

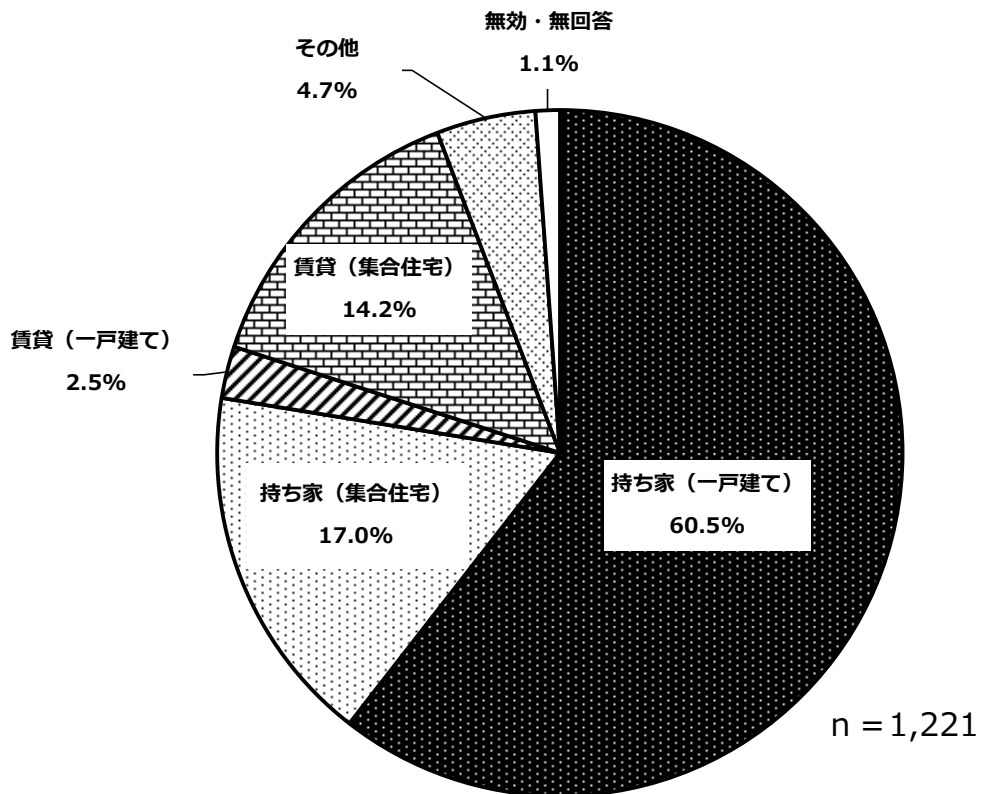
問6 あなたのお住まいの地域を教えてください。【〇は1つ】

※行政センターの地域別です。（前は地区社会福祉協議会別で質問）



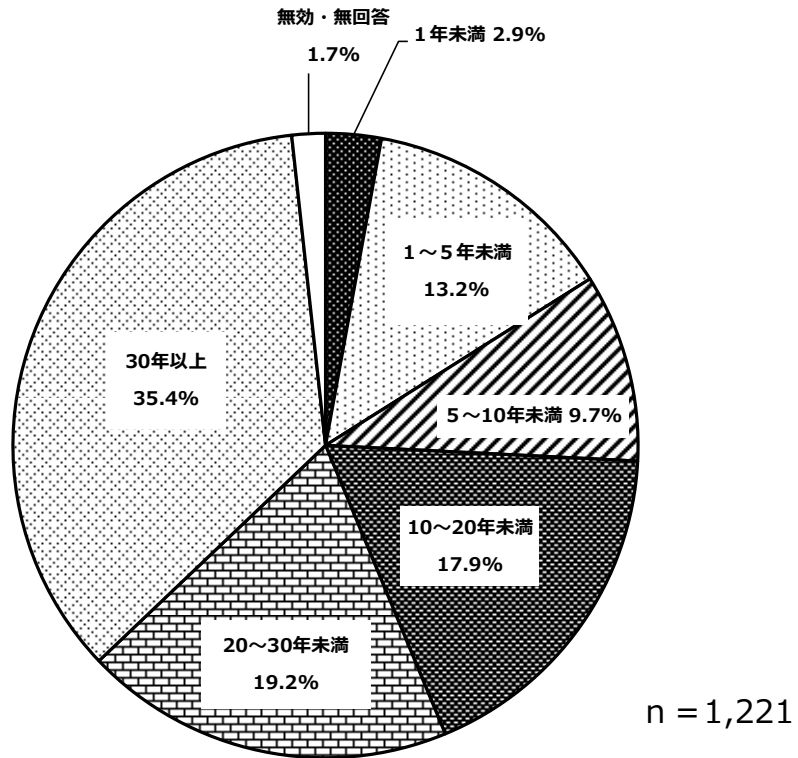
問7 あなたのお住まいの居住形態は、どれにあたりますか。【〇は1つ】

※今回新設した問

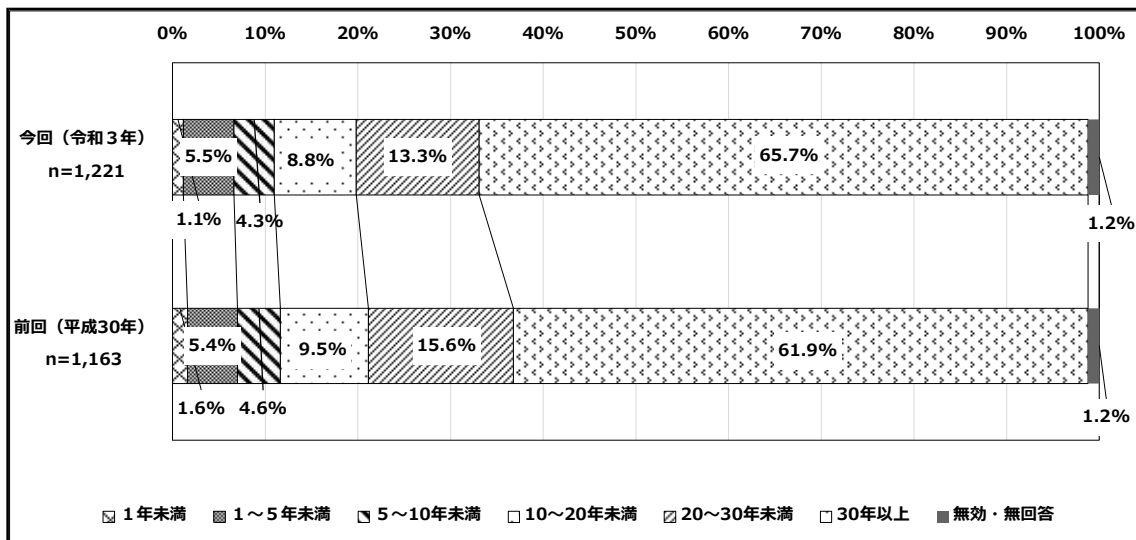


問8 現在のお宅に通算何年お住まいですか。【〇は1つ】

※今回新設した問

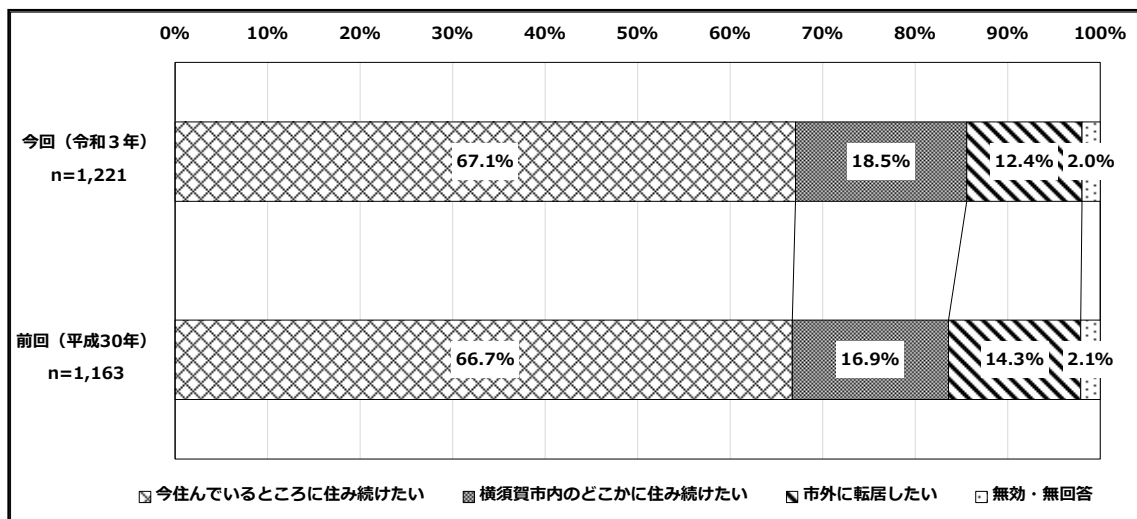


問9 横須賀市に住んで通算何年になりますか。【〇は1つ】

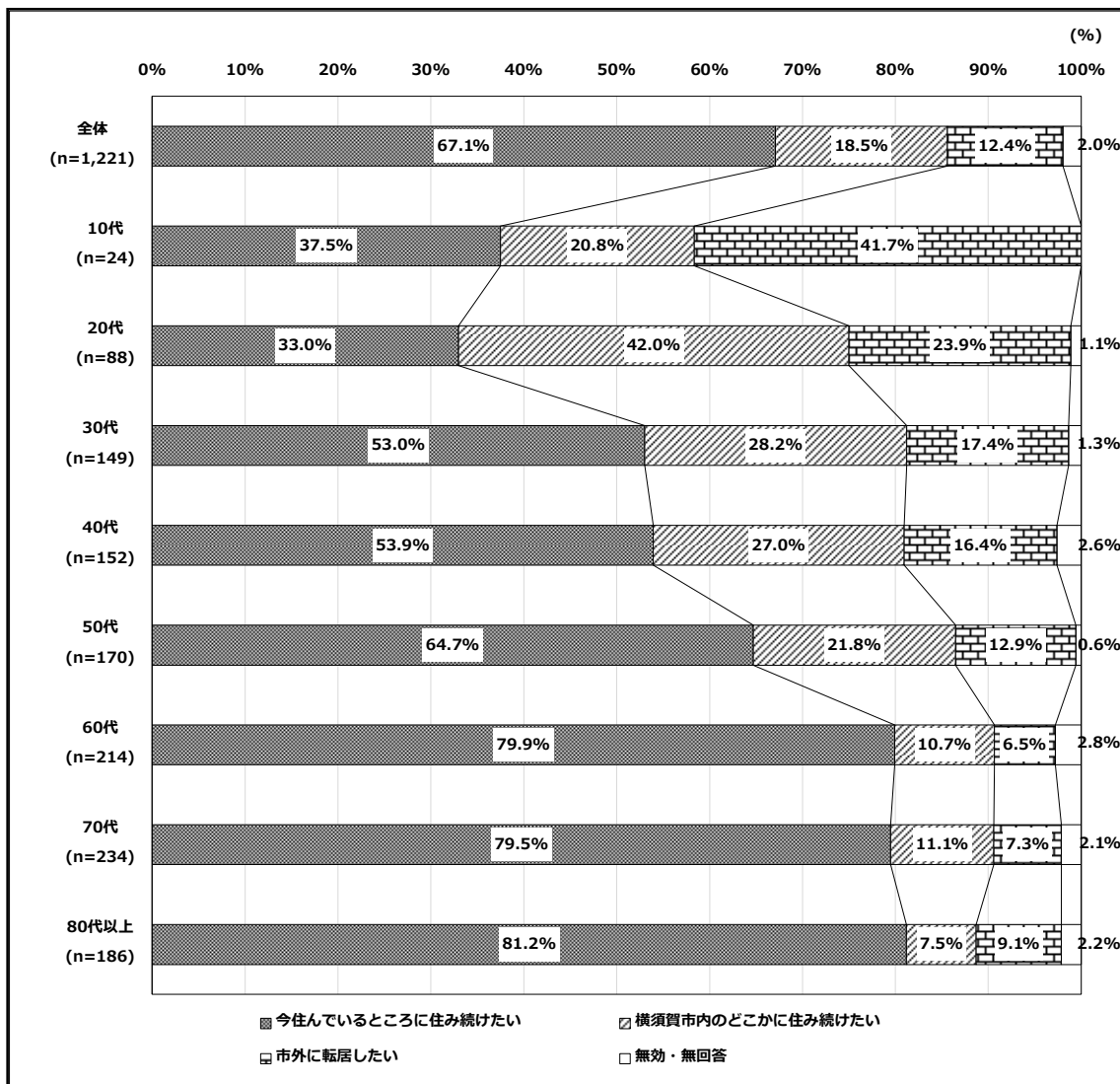


問 10 今後も横須賀市に住み続けたいと思いますか。【〇は1つ】

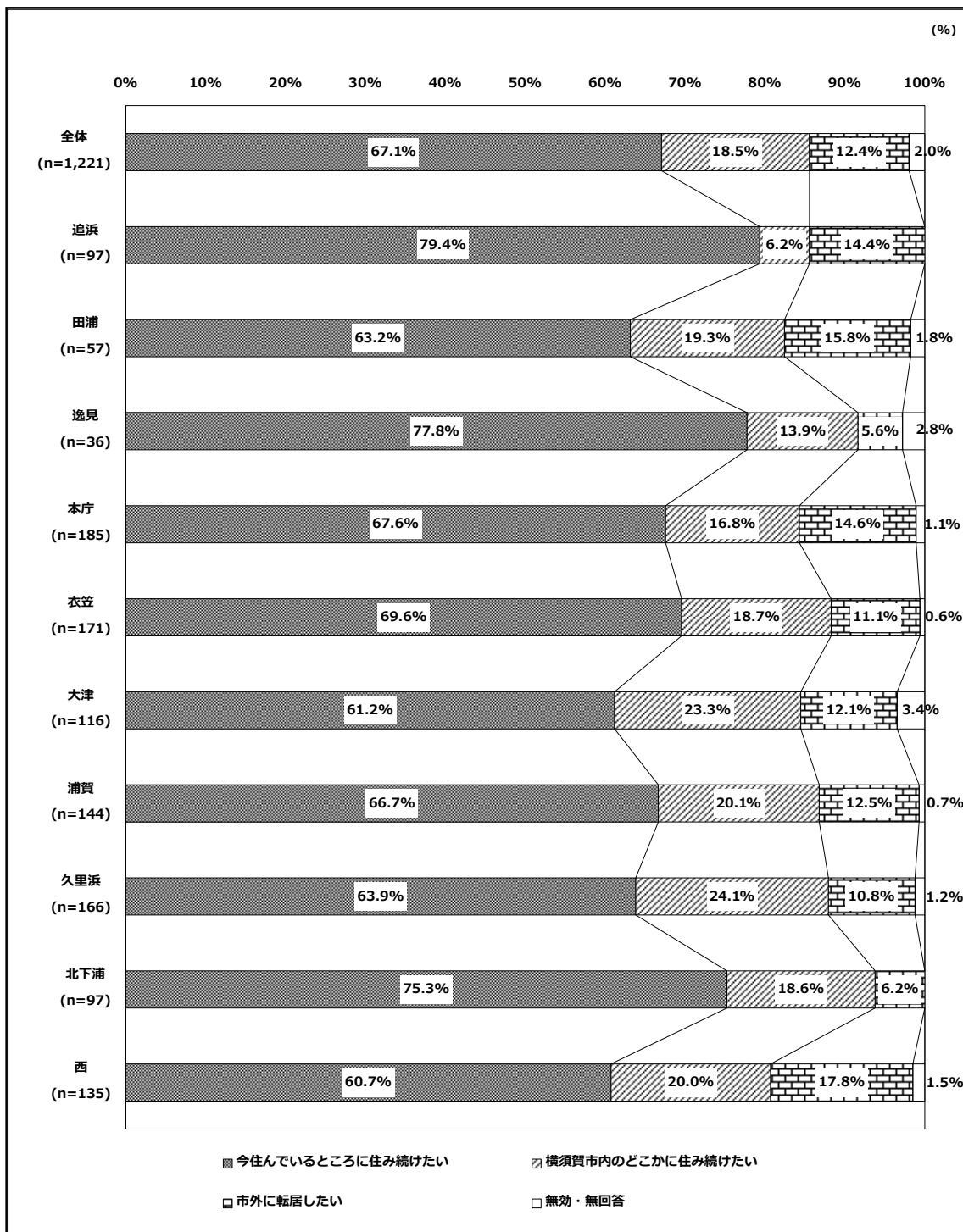
「今住んでいるところに住み続けたい」（67.1%）、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」（18.5%）を合わせると、約 86%の人が市内に住み続けたいと回答しています。



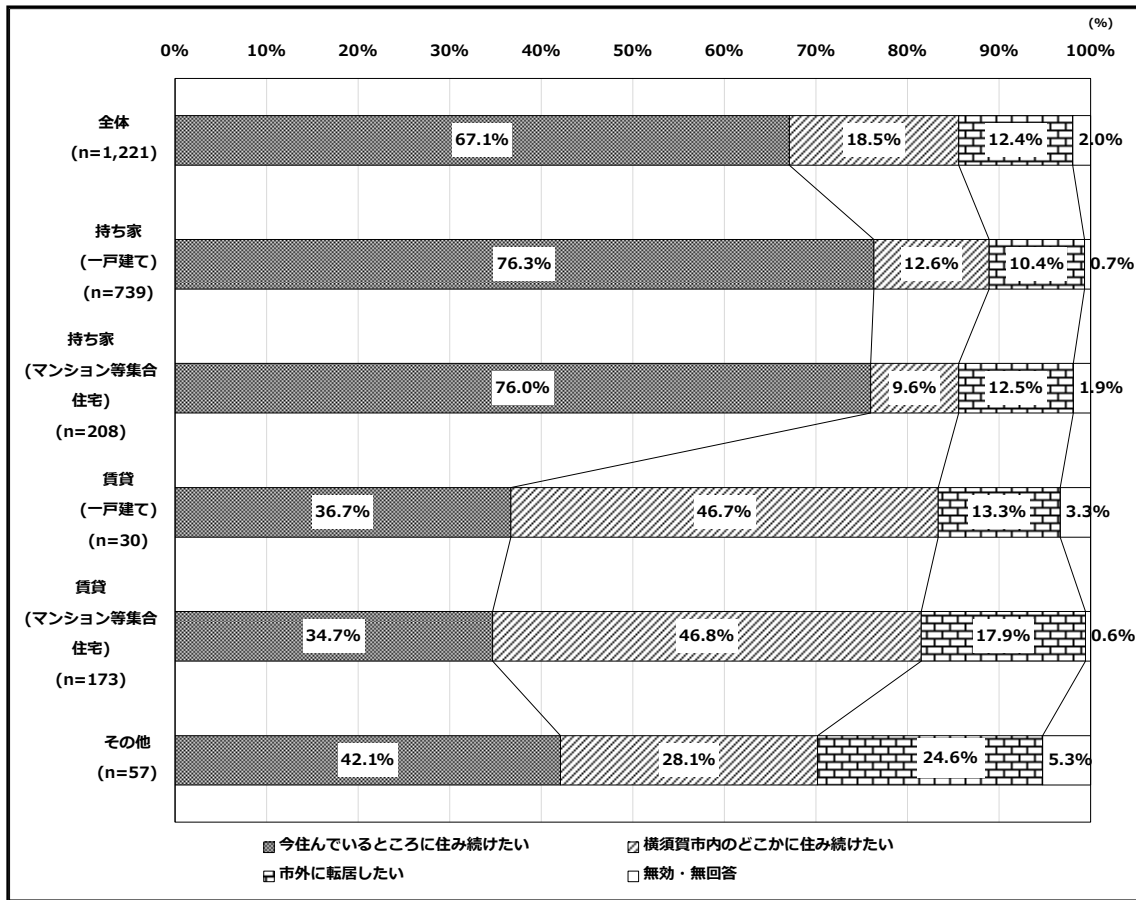
【問2（年代）別比較】



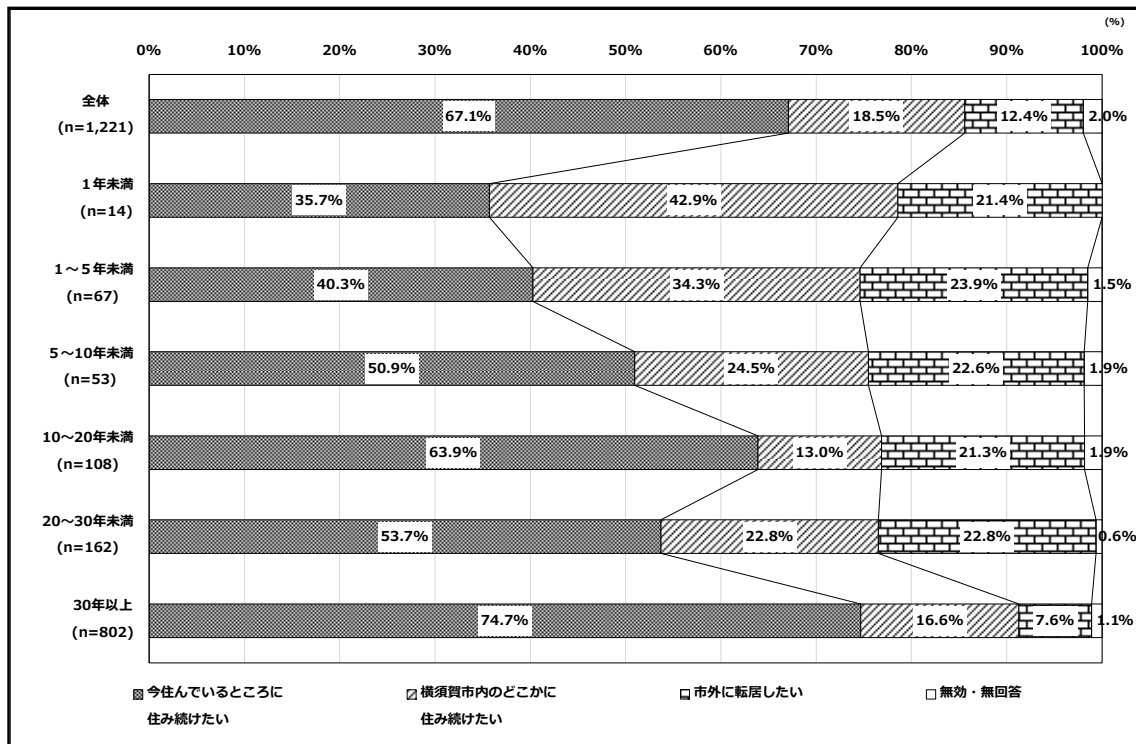
【問6（居住地）別比較】



【問7（居住形態）別比較】



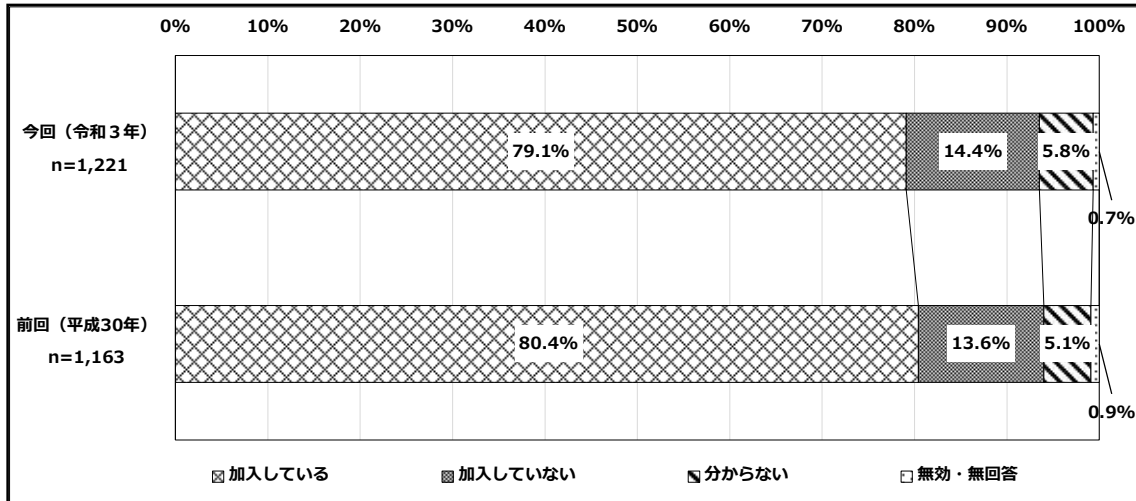
【問9（市内居住年数）別比較】



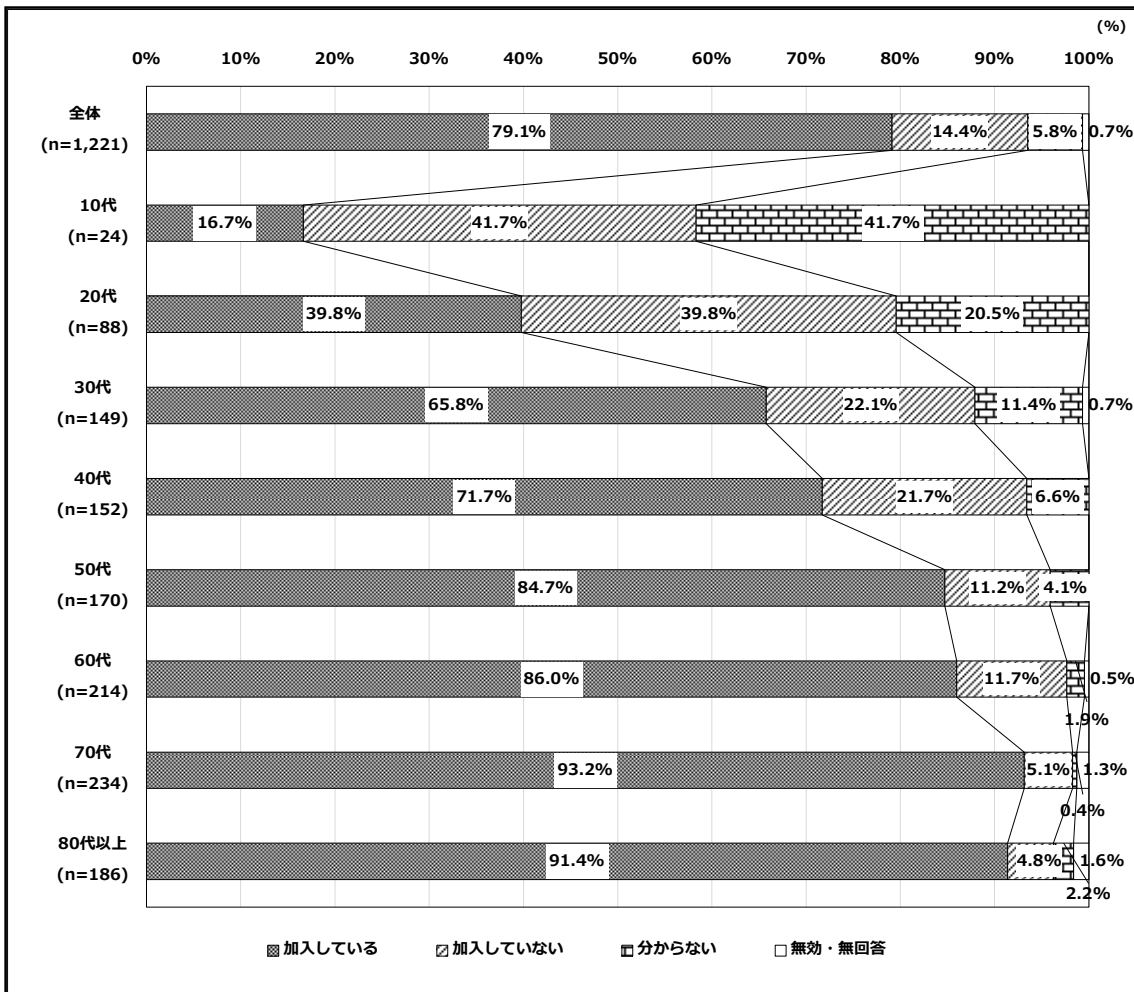
2. 地域生活について

問 11 町内会・自治会に加入していますか。【〇は1つ】

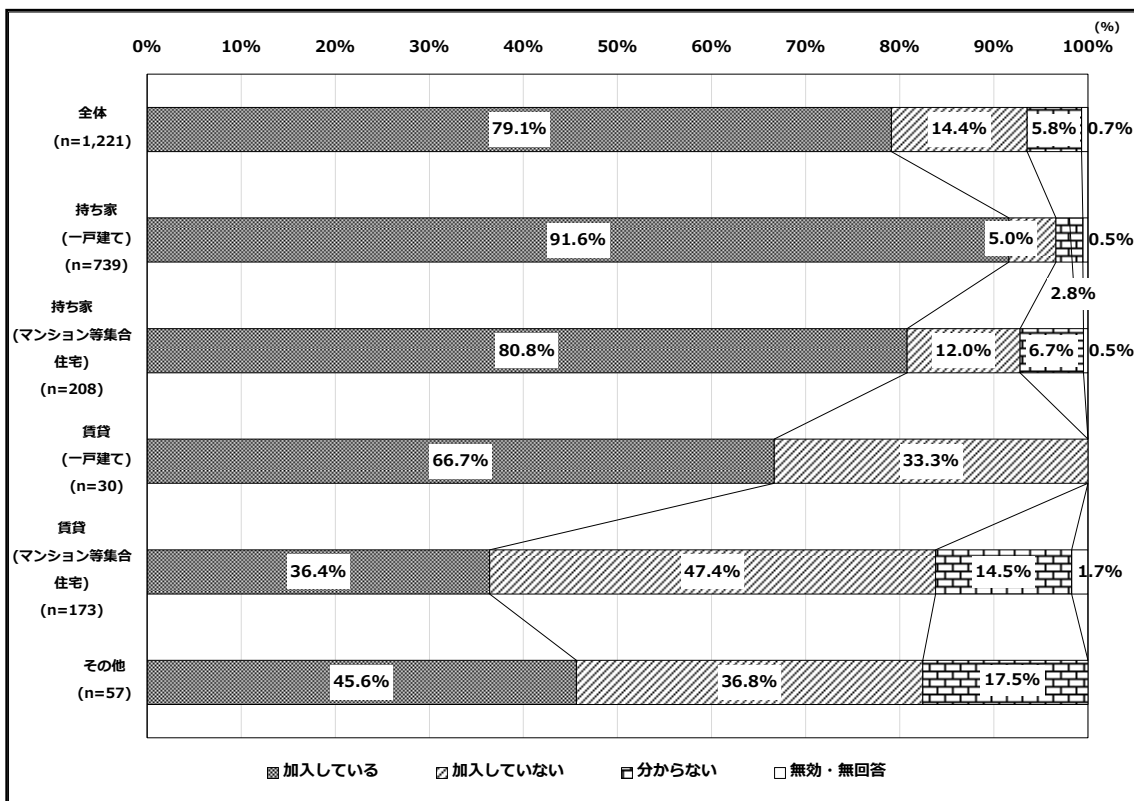
約 79%の人が町内会・自治会に加入していると回答しています。



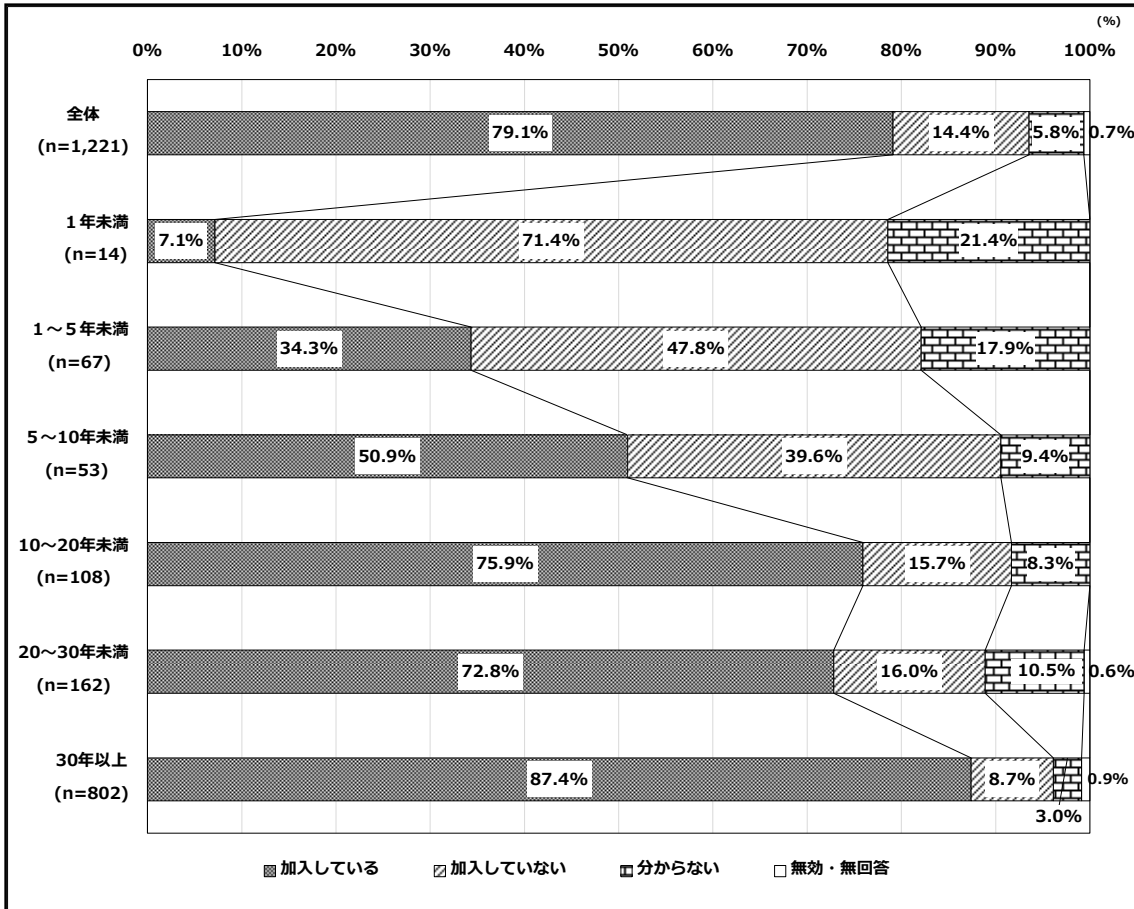
【問2（年代）別比較】



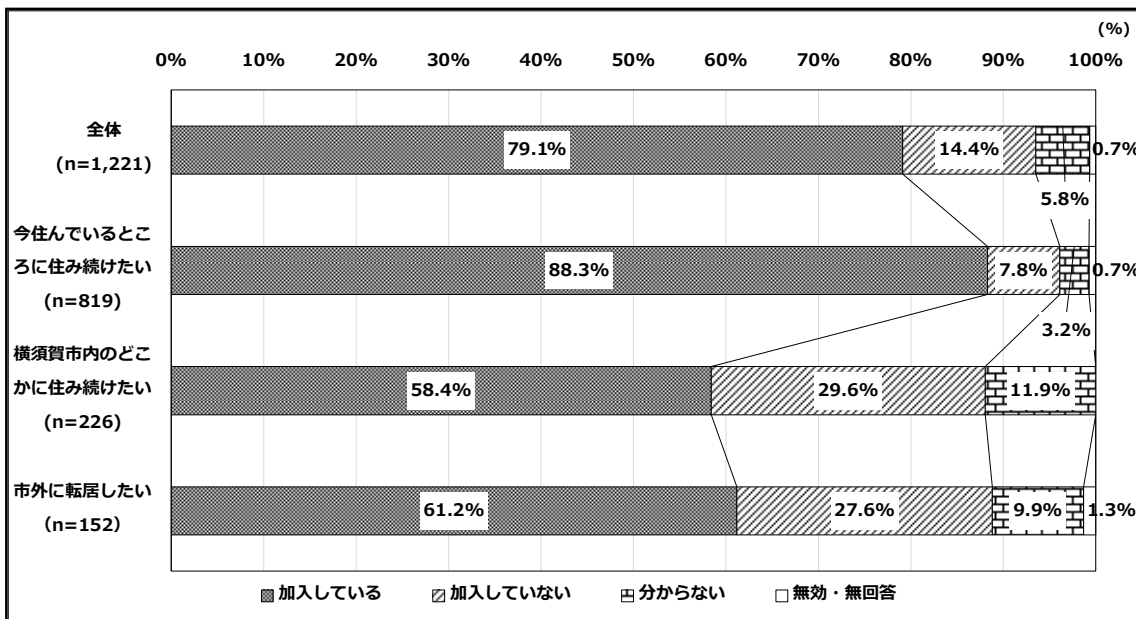
【問7（居住形態）別比較】



【問9（市内居住年数）別比較】



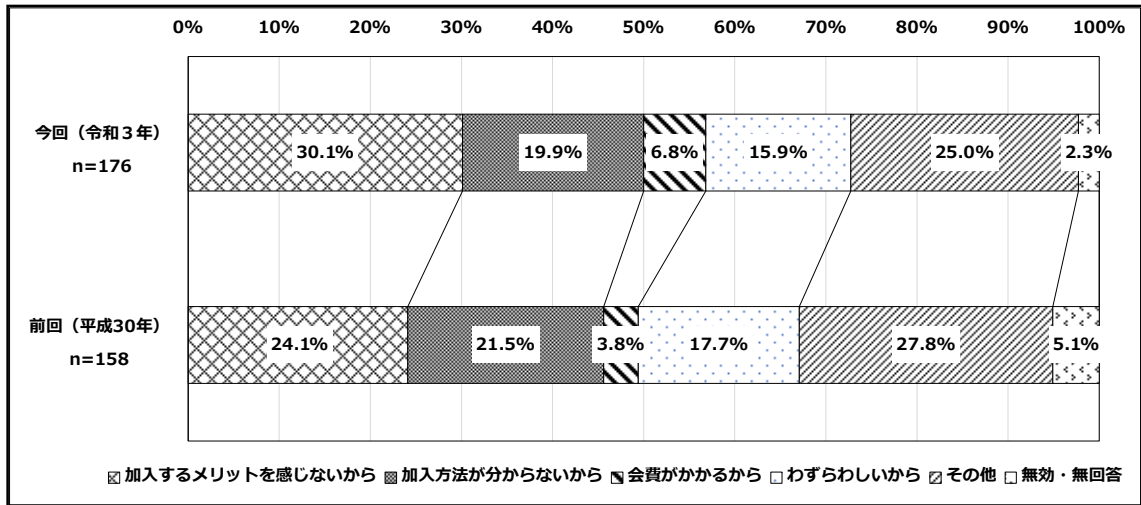
【問10（市内居住意向）別比較】



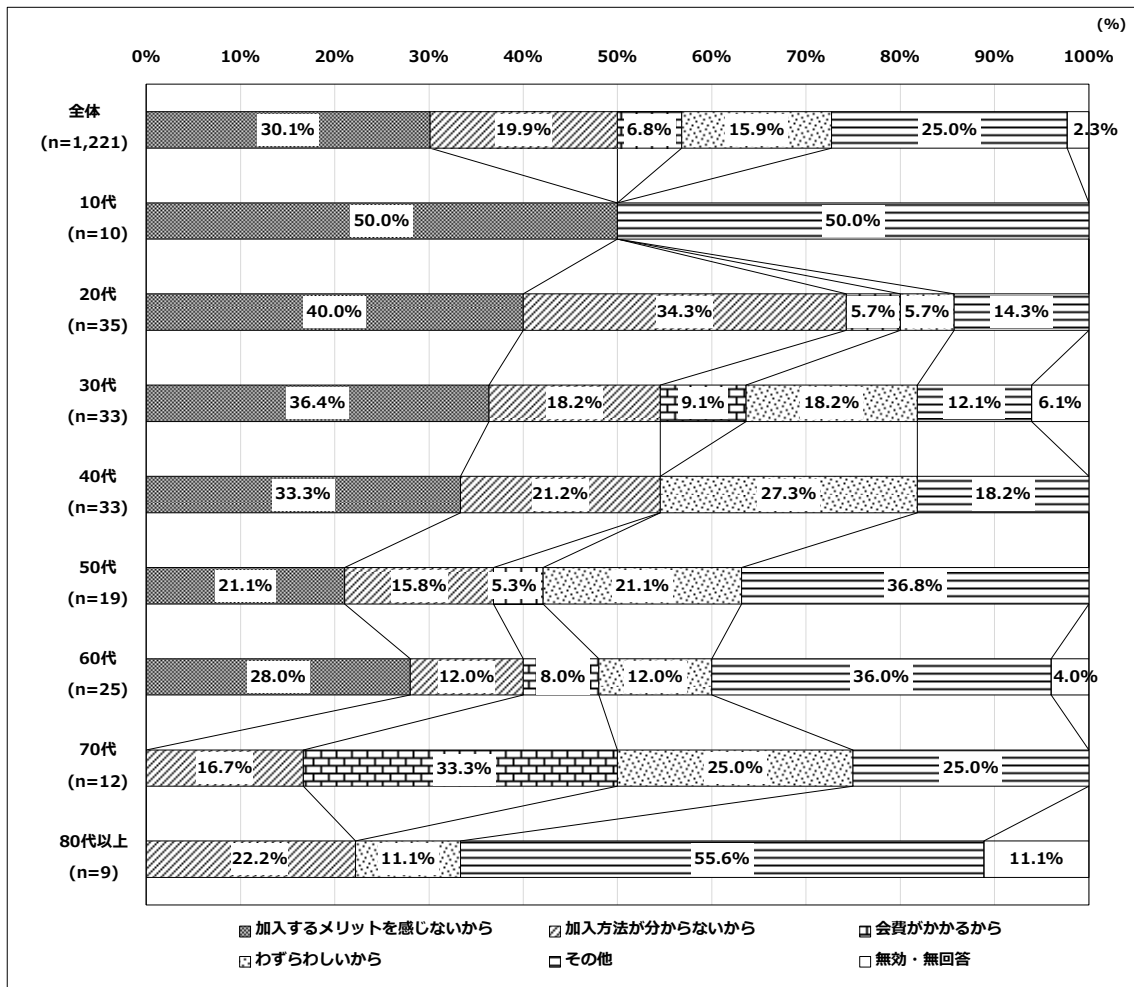
問 12 (問 11 で「加入していない」と回答した人のみ)

町内会・自治会に加入していないのはなぜですか。【〇は1つ】

- ・「加入するメリットを感じないから」が 30.1%と最も多く、次いで「加入方法が分からないから」(19.9%)、「わずらわしいから」(15.9%) という回答がありました。
- ・「その他」の主な回答は「足腰が弱くなり参加できなくなったため」や「アパートのため」、「マンションの方針」などがありました。

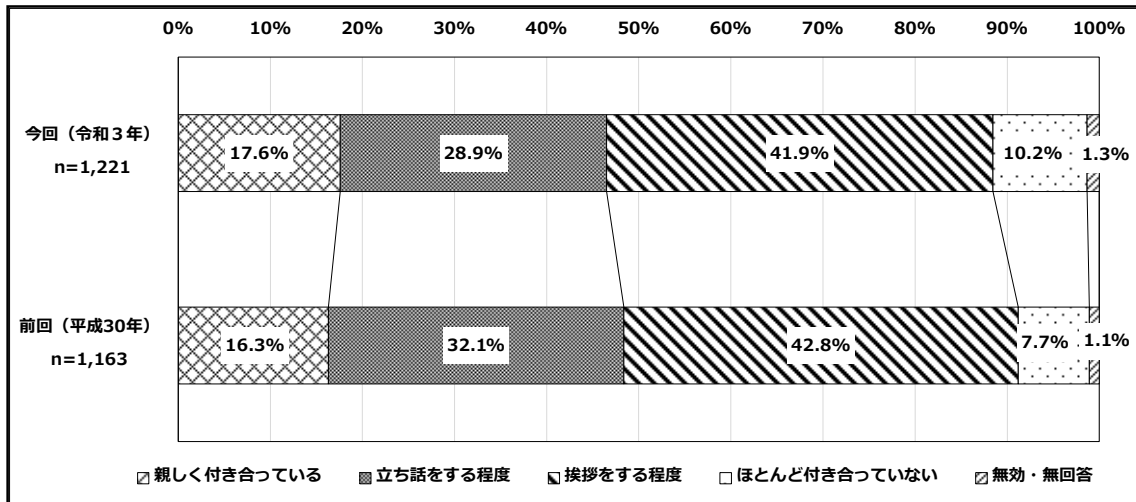


【問2（年代）別比較】

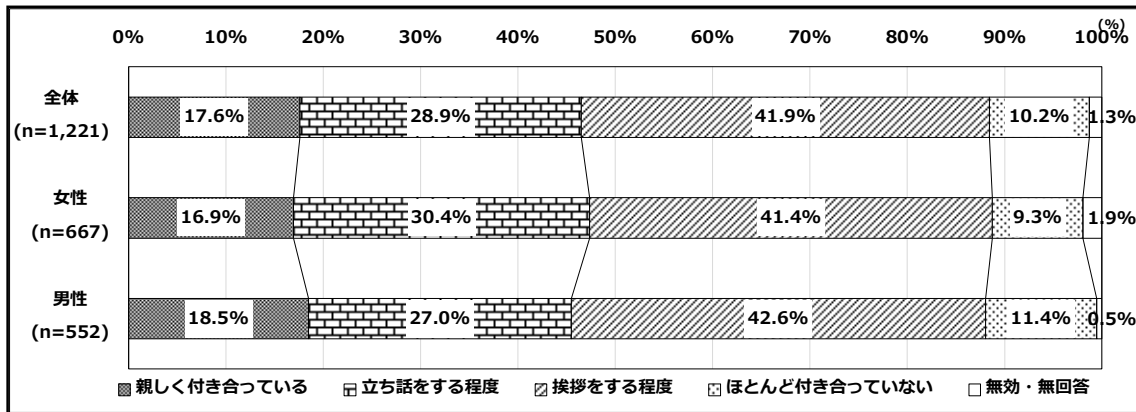


問 13 あなたはどの程度、近所付き合いをしていますか。【〇は1つ】

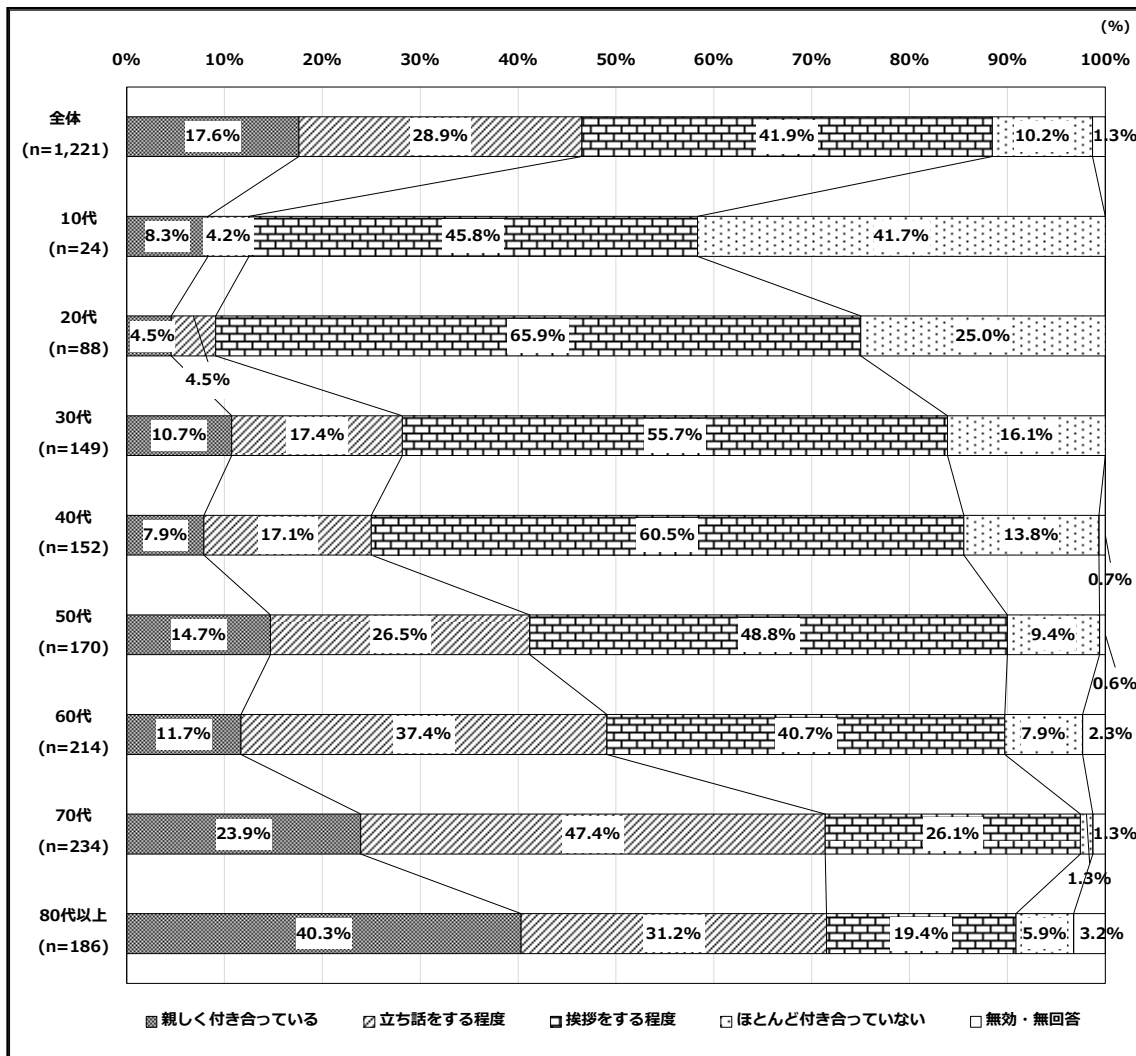
- 「立ち話をする程度」(28.9%)、「挨拶をする程度」(41.9%) を合わせると、約 71%を占めています。
- 「親しく付き合っている」という回答は 17.6%でした。



【問1（性）別比較】

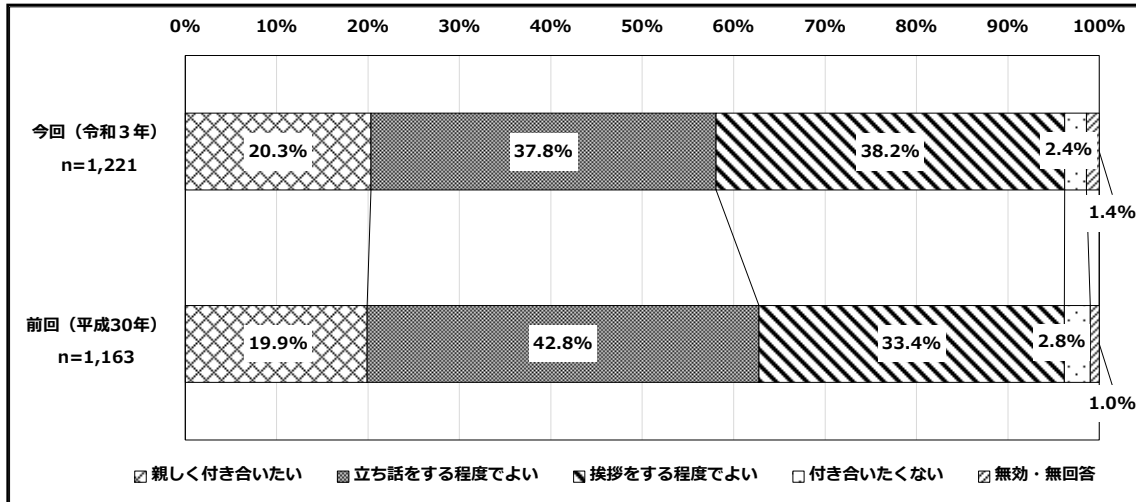


【問2（年代）別比較】

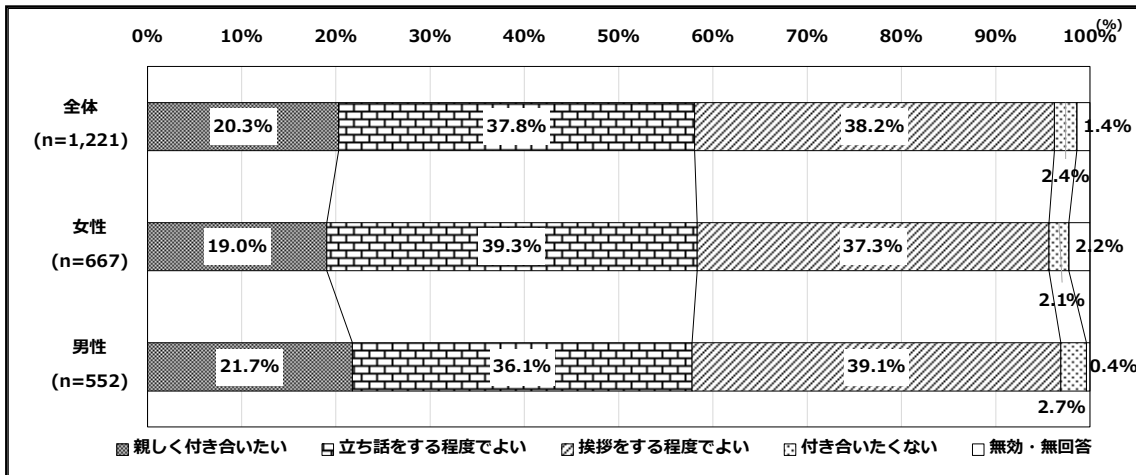


問 14 あなたは今後、どの程度、近所付き合いをしたいと思いますか。【〇は1つ】

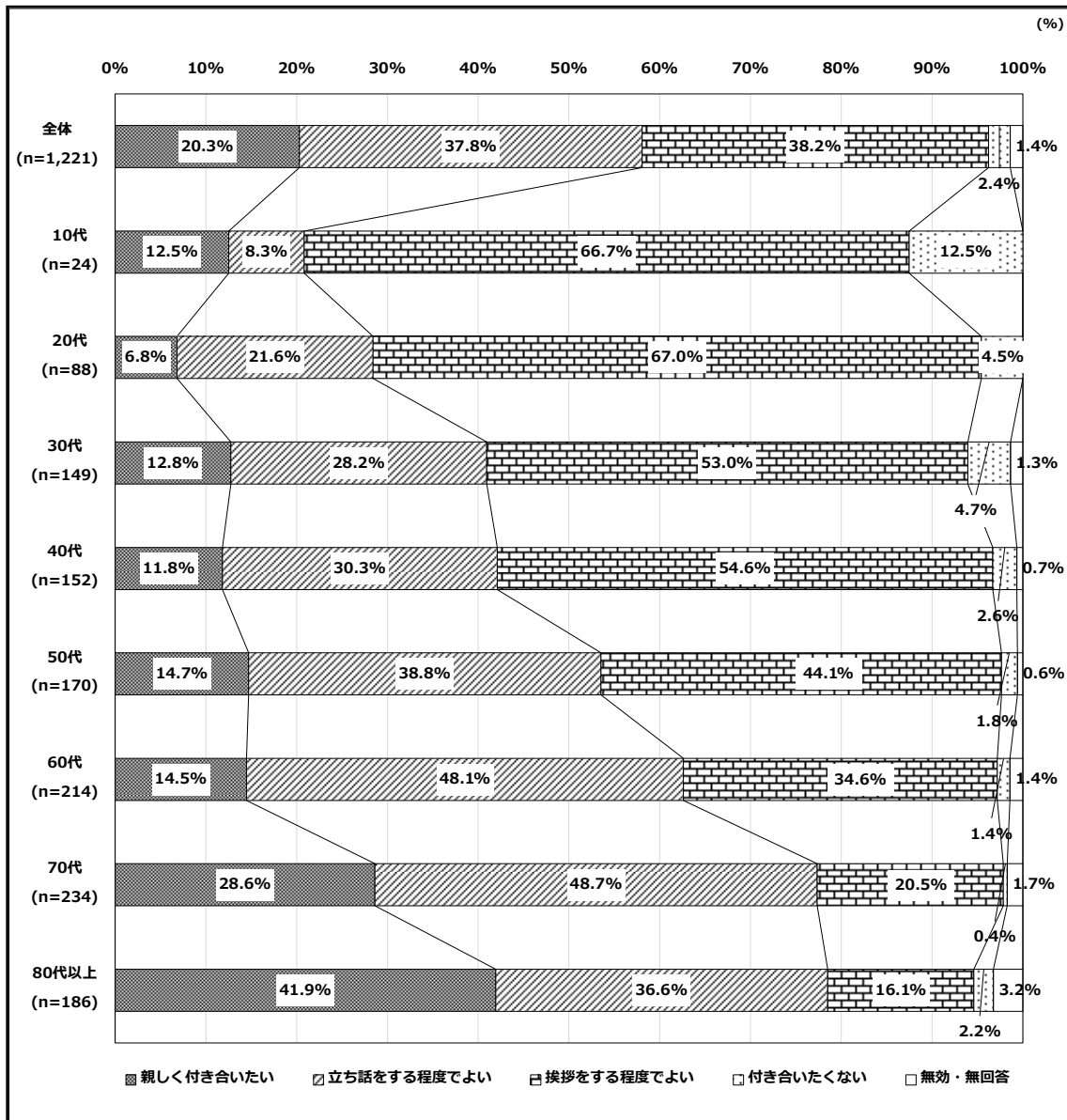
- ・「立ち話をする程度でよい」(37.8%)、「挨拶をする程度でよい」(38.2%)を合わせると、約76%を占めています。
- ・「親しく付き合いたい」という回答は20.3%でした。



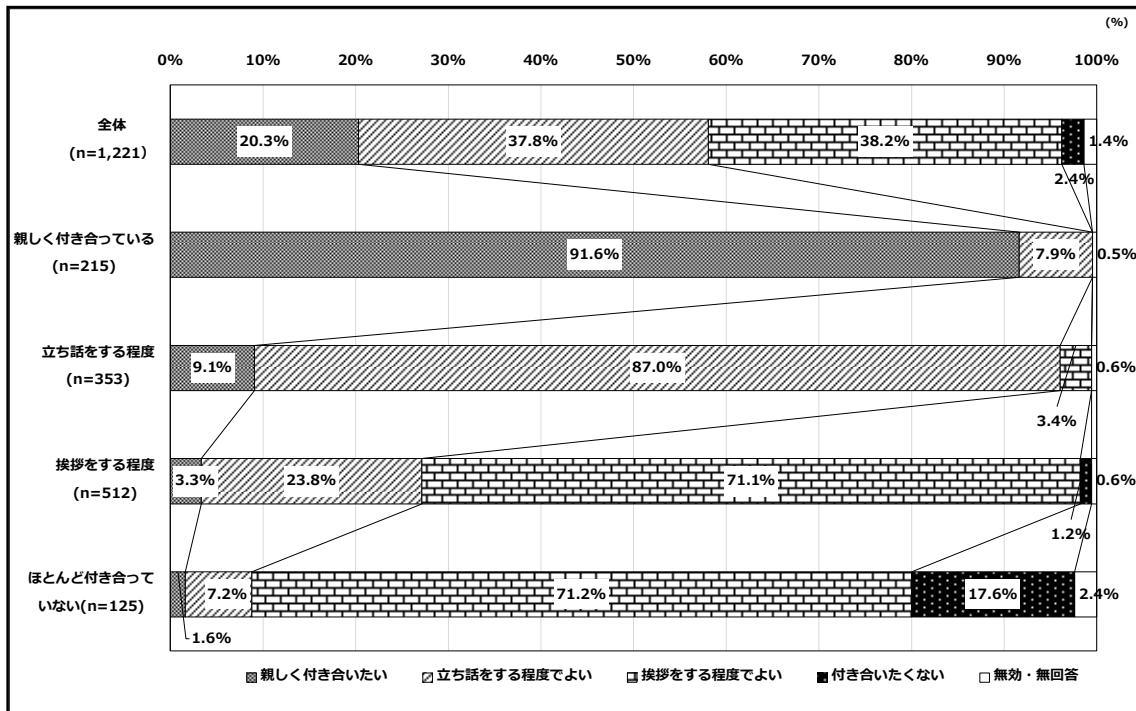
【問1 (性) 別比較】



【問2（年代）別比較】

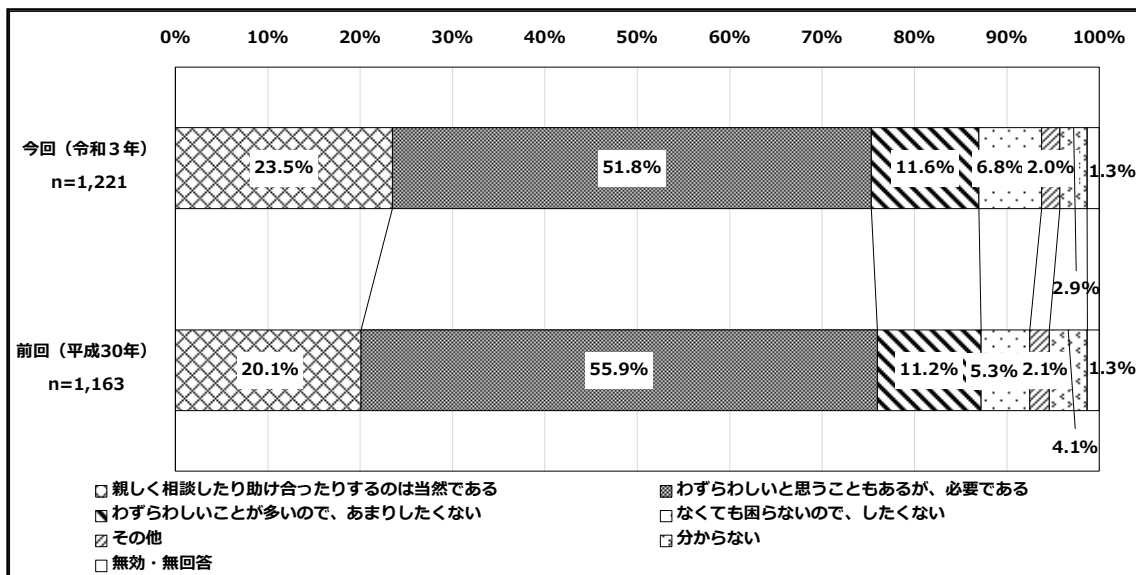


【問 13（現在の近所付き合い）別比較】



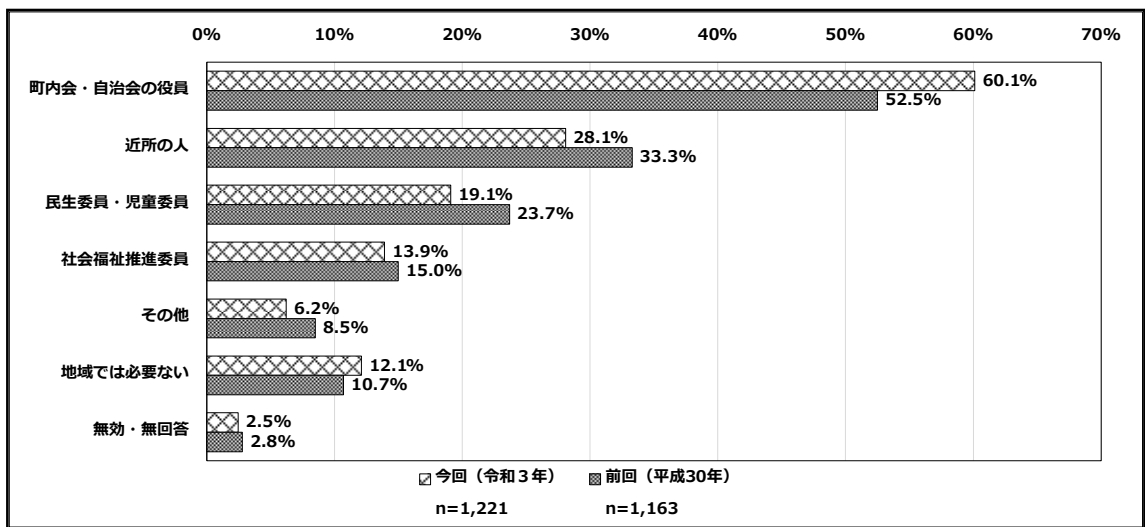
問 15 あなたの近所付き合いに対する考え方は次のうちどれですか。【〇は1つ】

「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」(23.5%)、「わずらわしいと思うこともあるが、必要である」(51.8%)を合わせると、約75%を占めています。



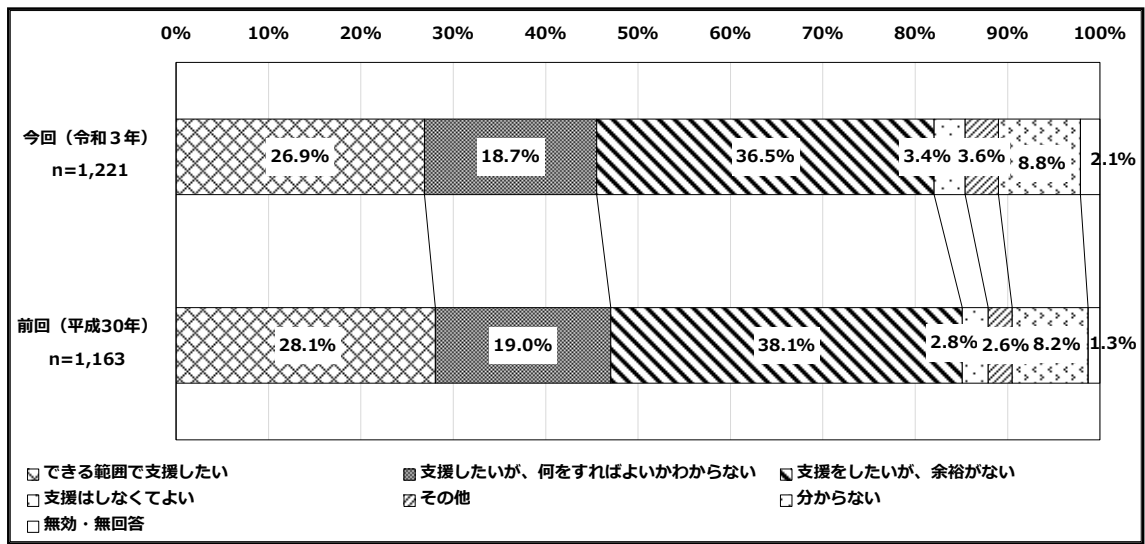
問 16 災害などの緊急時における連絡先等を地域では誰が把握しているのがよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

・「町内会・自治会の役員」が60.1%と最も多く、次いで「近所の人」(28.1%)となっています。
 ・「その他」の回答では「警察」、「市役所」、「友人」、「親族」、「マンション役員」などがありました。



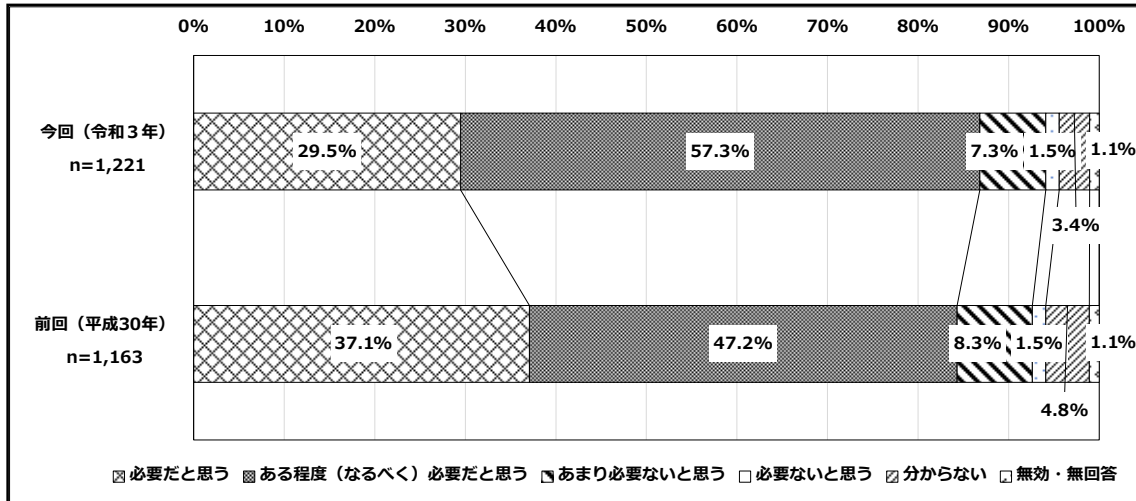
問 17 近所に住む「ひとり暮らしの高齢者」、「寝たきりの高齢者や障害のある人がいる家族」、「子育てをしている家族」などに対する支援（日常生活上のお手伝いなど）について、あなたの考えに近いものをお選びください。【○は1つ】

「支援をしたいが、余裕がない」が最も多く、36.5%でした。
 「できる範囲で支援したい」(26.9%)、「支援したいが、何をすればよいかわからない」(18.7%) と合わせると、約82%の人が支援をしたいという意向を示しています。



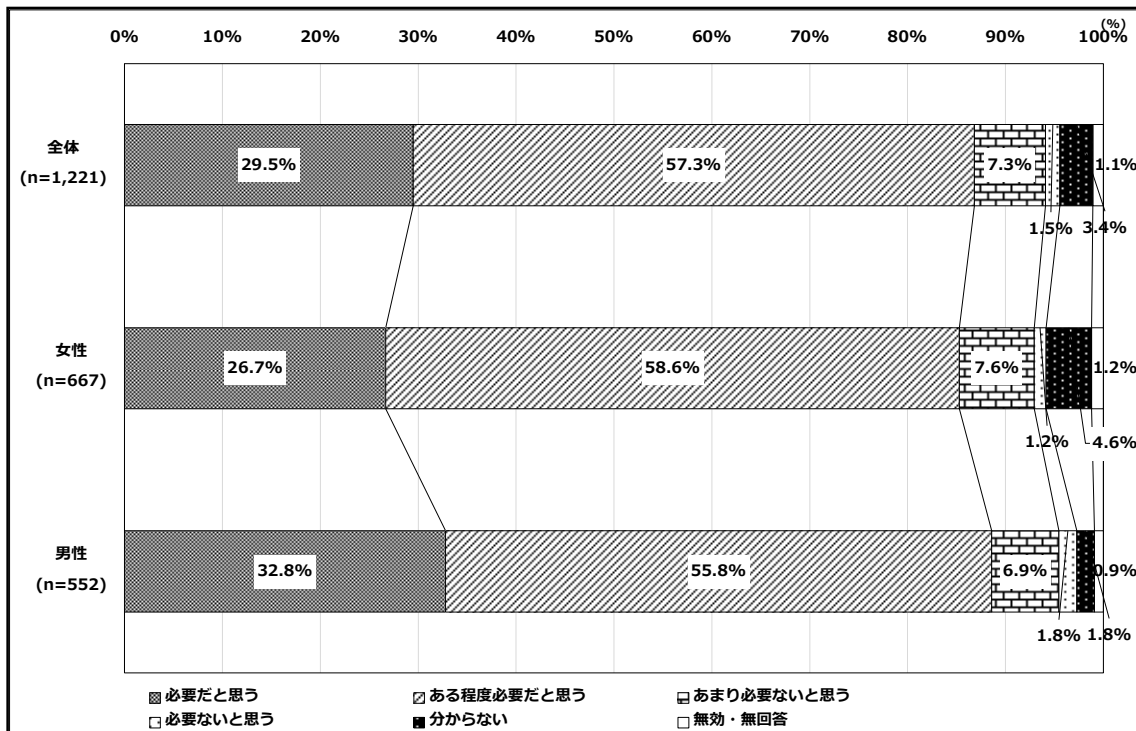
問 18 安心して快適に暮らせる地域社会を実現するために、近隣住民同士の支え合いが必要だと思いますか。【〇は1つ】

「必要だと思う」(29.5%)、「ある程度必要だと思う」(57.3%) を合わせると約 87%を占めています。

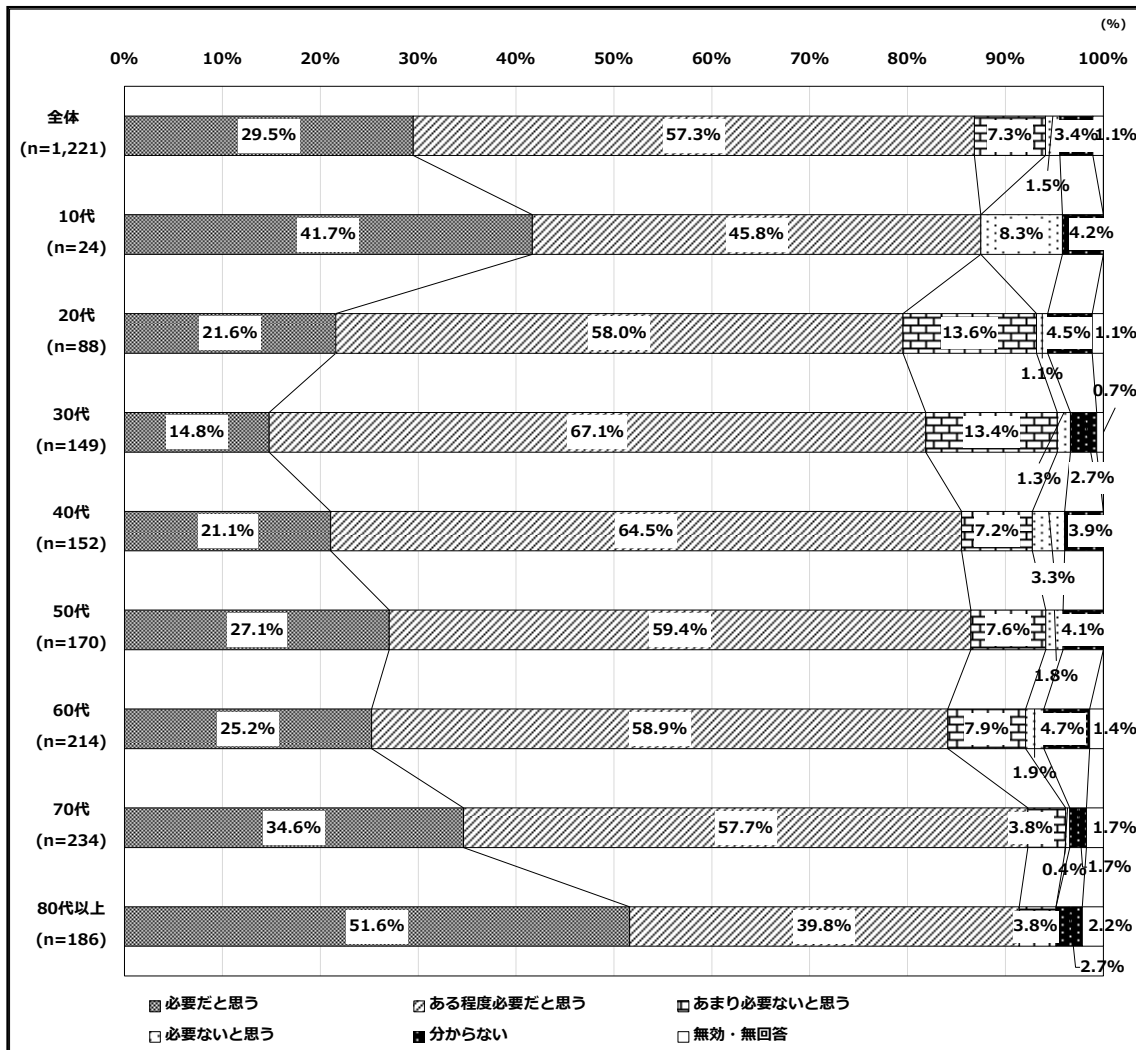


※前回の「なるべく必要だと思う」という選択肢を、今回は「ある程度必要だと思う」という選択肢に変更して質問しました。

【問1(性)別比較】



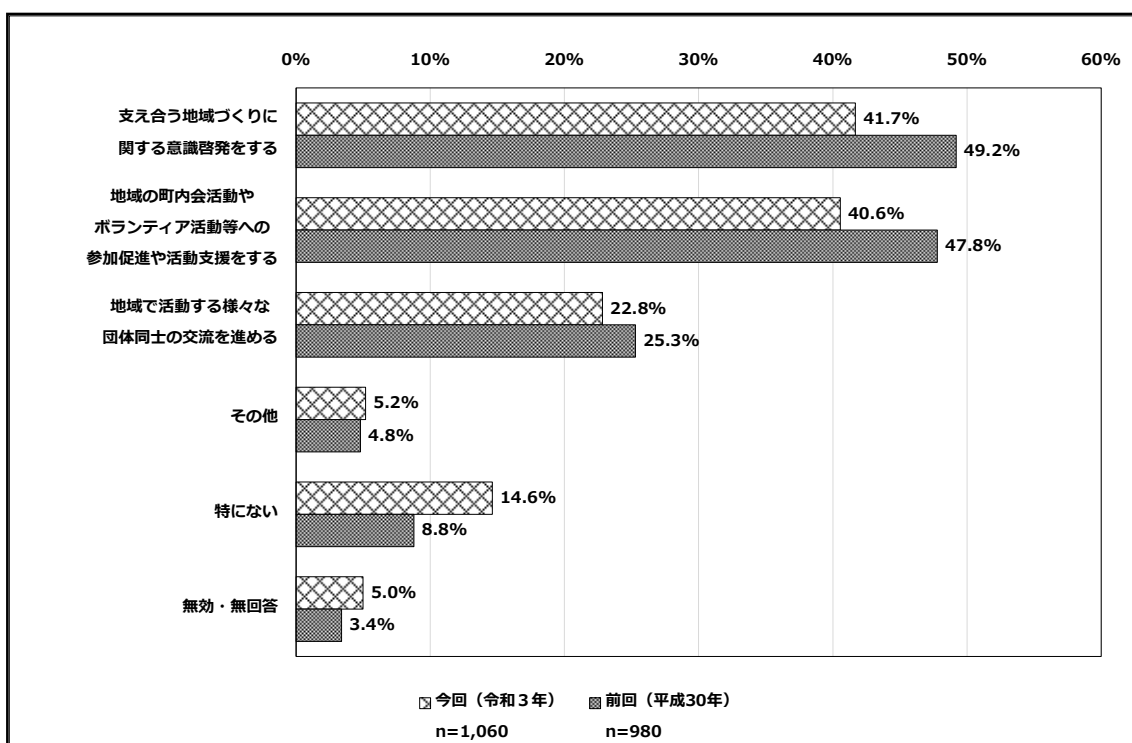
【問2（年代）別比較】



問 19 問 18 で「必要だと思う」、「ある程度必要だと思う」のいずれかの回答をした人のみ)

近隣住民同士がともに支え合う地域づくりのために、どのような支援が必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「支え合う地域づくりに関する意識啓発をする」が 41.7% で最も多く、次いで「地域の町内会活動やボランティア活動等への参加促進や活動支援をする」(40.6%)、「地域で活動する様々な団体同士の交流を進める」(22.8%) となっています。



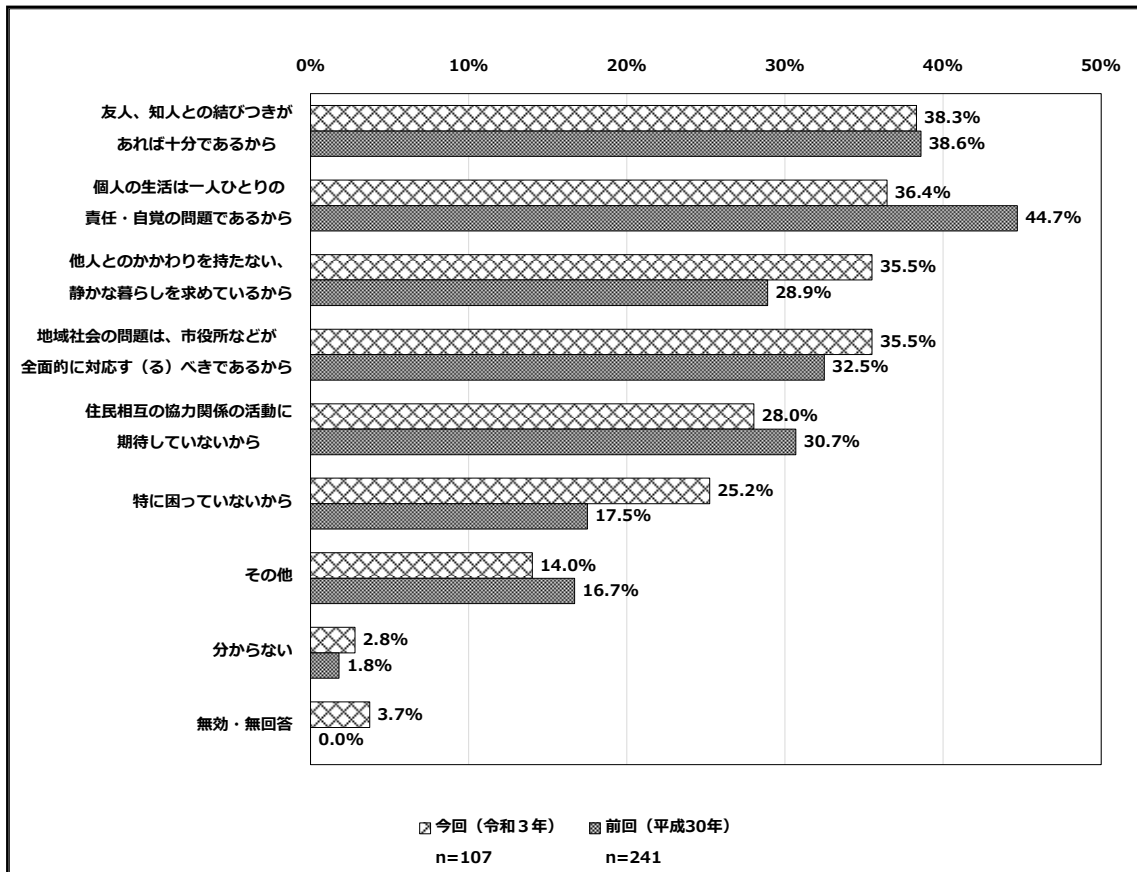
※質問文について、前回の「近隣住民同士がともに支え合う地域づくりのために、横須賀市としてどのような支援が必要だと思いますか。」から変更しました。(下線部を削除)

問 20 (問 18 で「あまり必要ないと思う」、「必要ないと思う」のいずれかの回答をした人のみ)

近隣住民同士の支え合いが必要ないと思う理由はなんですか。

【あてはまるものすべてに○】

「友人、知人との結びつきがあれば十分であるから」が 38.3% で最も多く、次いで「個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから」(36.4%) となっています。



※選択肢について、前回から一部修正しました。

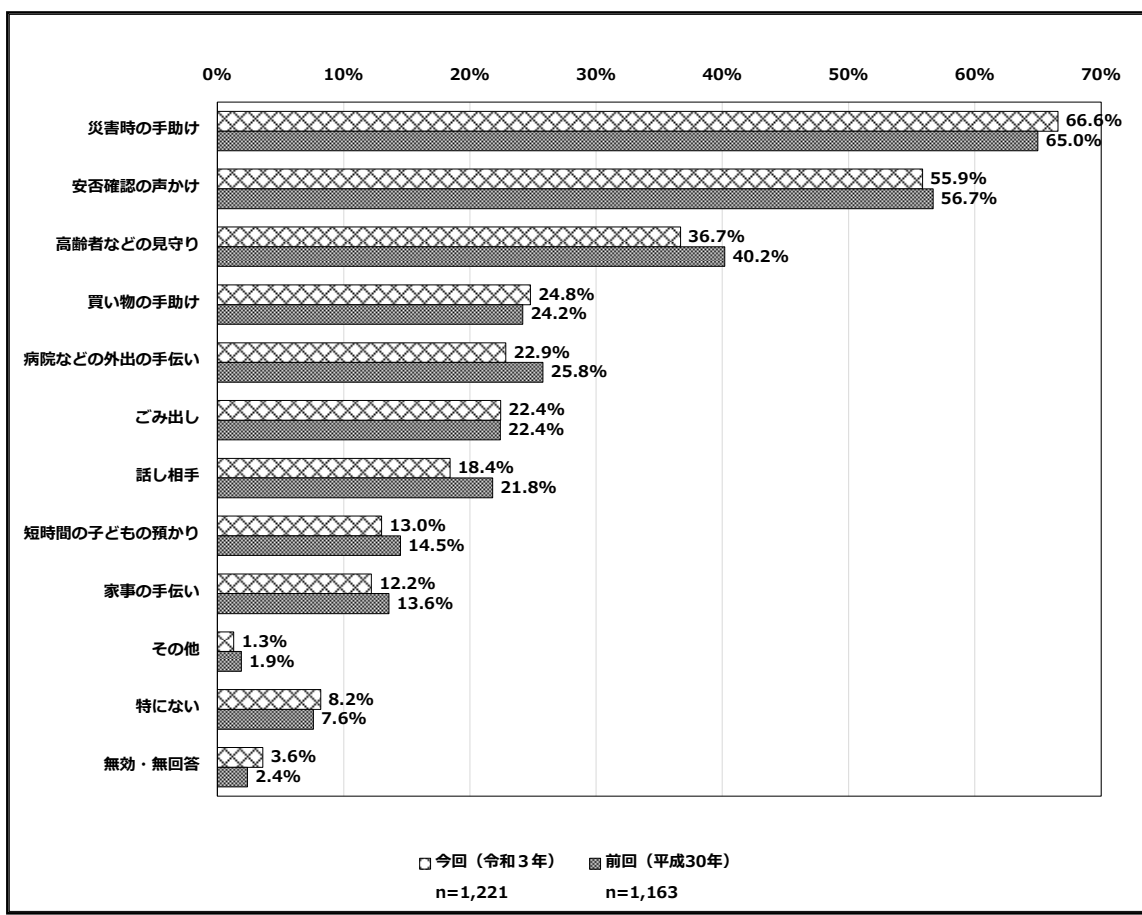
【前回】

「地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応すべきであるから」

「住民相互の協力の活動に期待していないから」

問 21 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか(公的なサービスを除く)。
【あてはまるものすべてに○】

「災害時の手助け」が66.6%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」(55.9%)、「高齢者などの見守り」(36.7%)となっています。

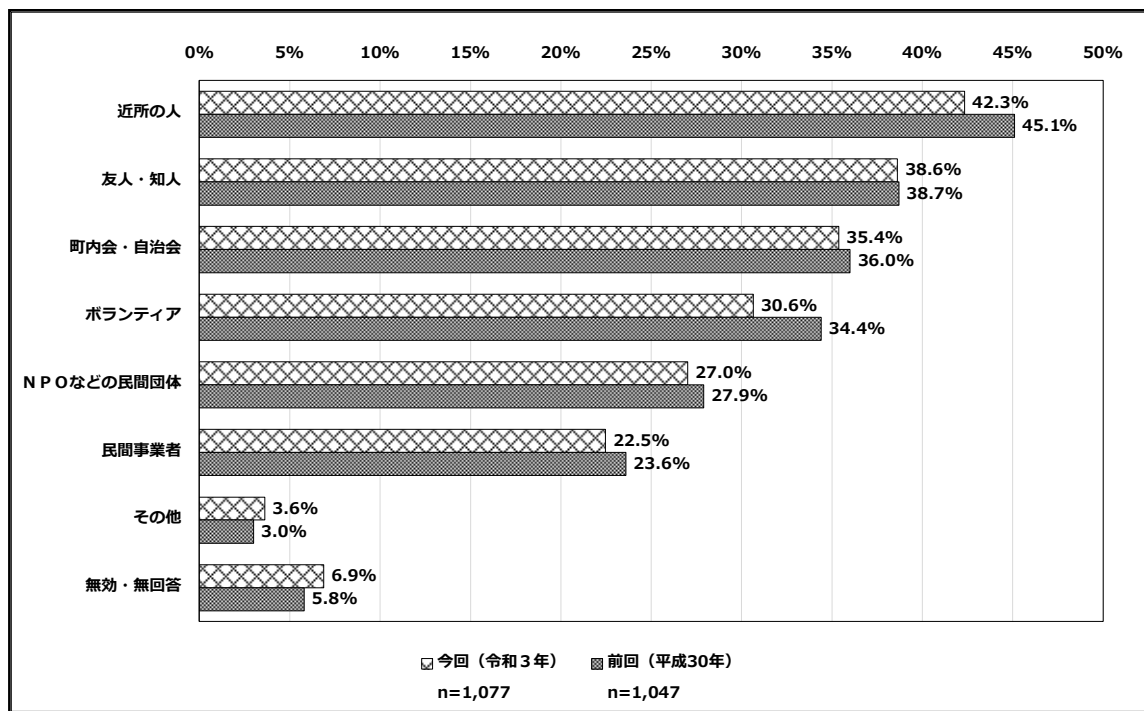


問 22 (問 21 で具体的に回答をした人のみ)

これらの地域の手助けを誰にしてほしいと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

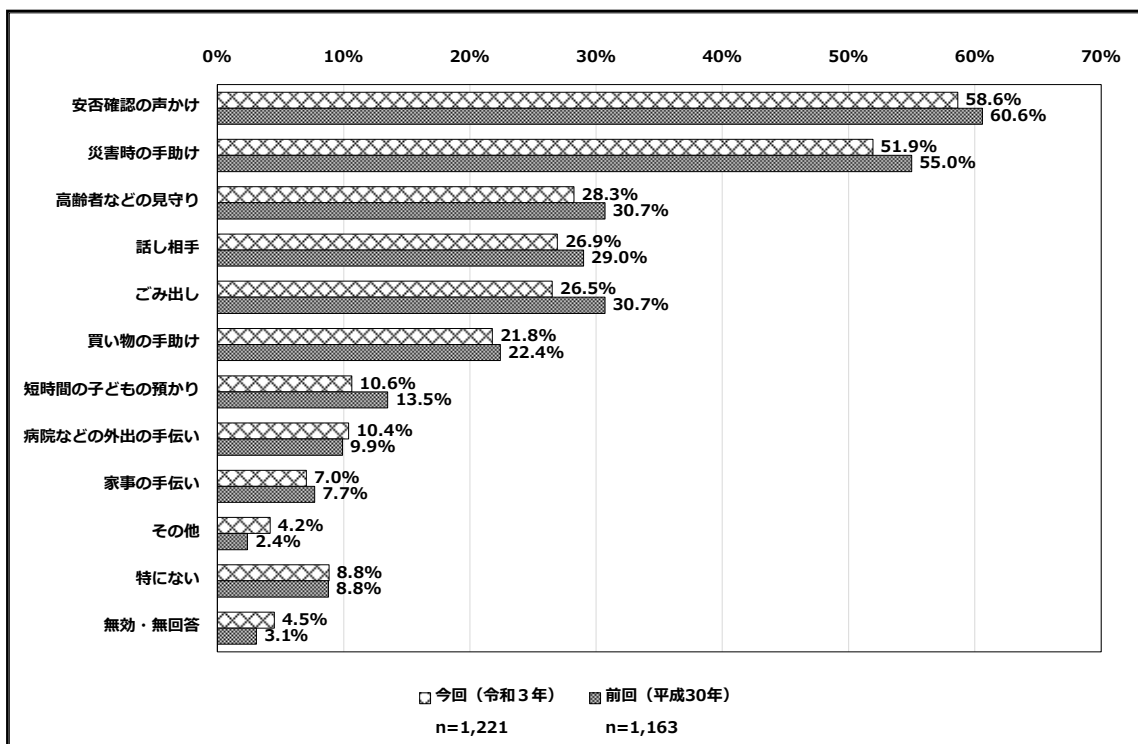
「近所の人」が 42.3%で最も多く、次いで「友人・知人」(38.6%)、「町内会・自治会」(35.4%)、「ボランティア」(30.6%) となっています。



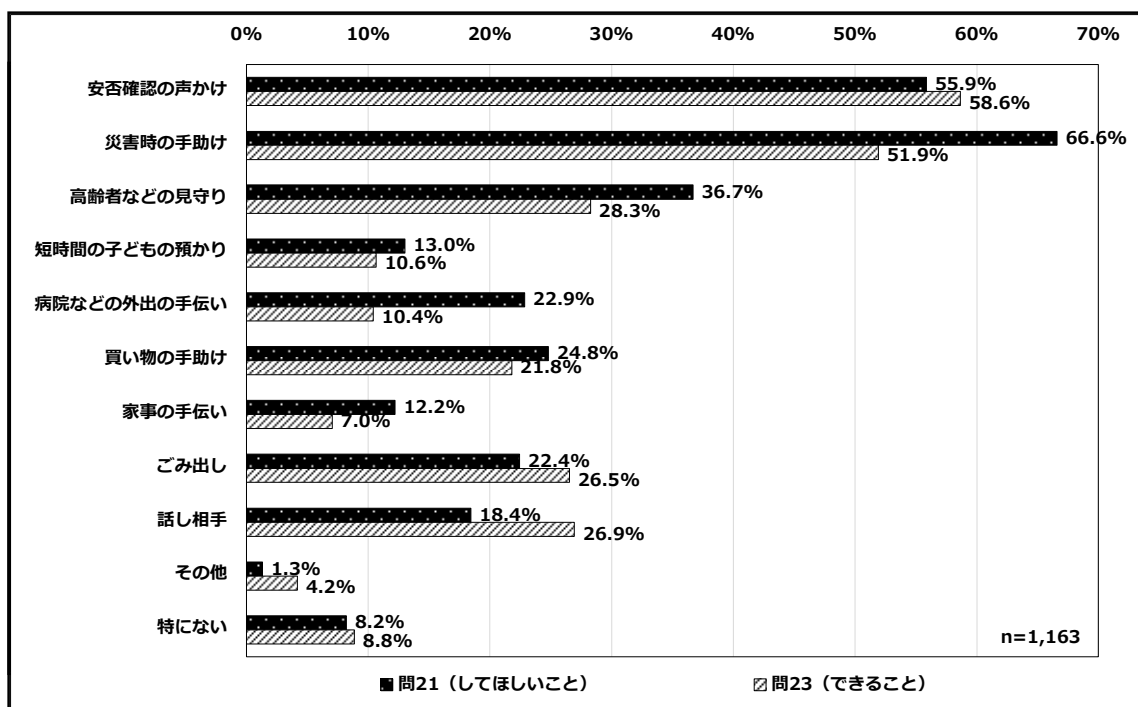
問 23 近隣に高齢者や障害のある人の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。

【あてはまるものすべてに〇】

「安否確認の声かけ」が58.6%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(51.9%)、「高齢者などの見守り」(28.3%)、「話し相手」(26.9%)となっています。

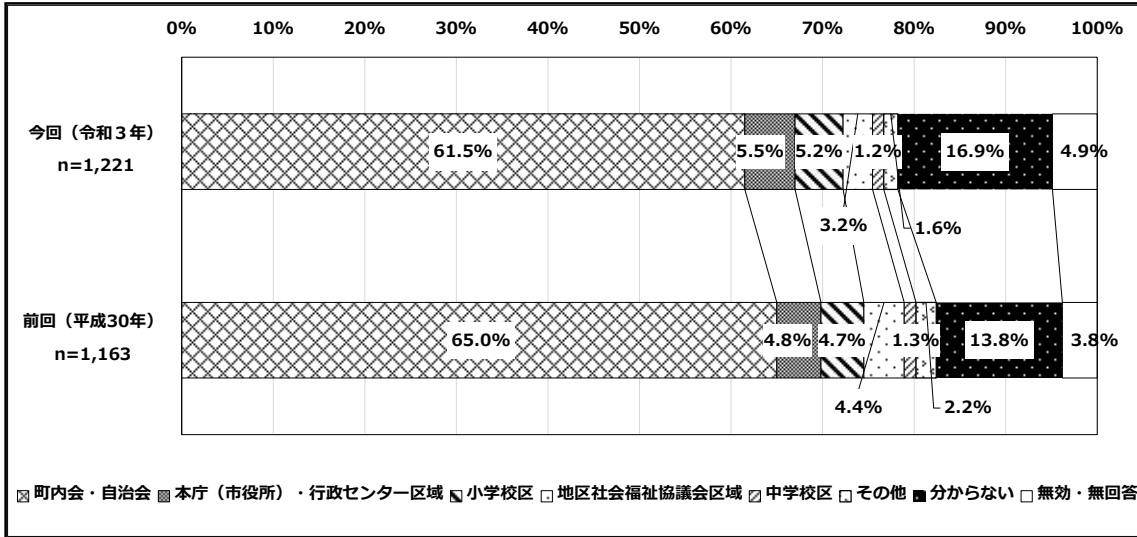


【問 21 (してほしいこと) との比較】

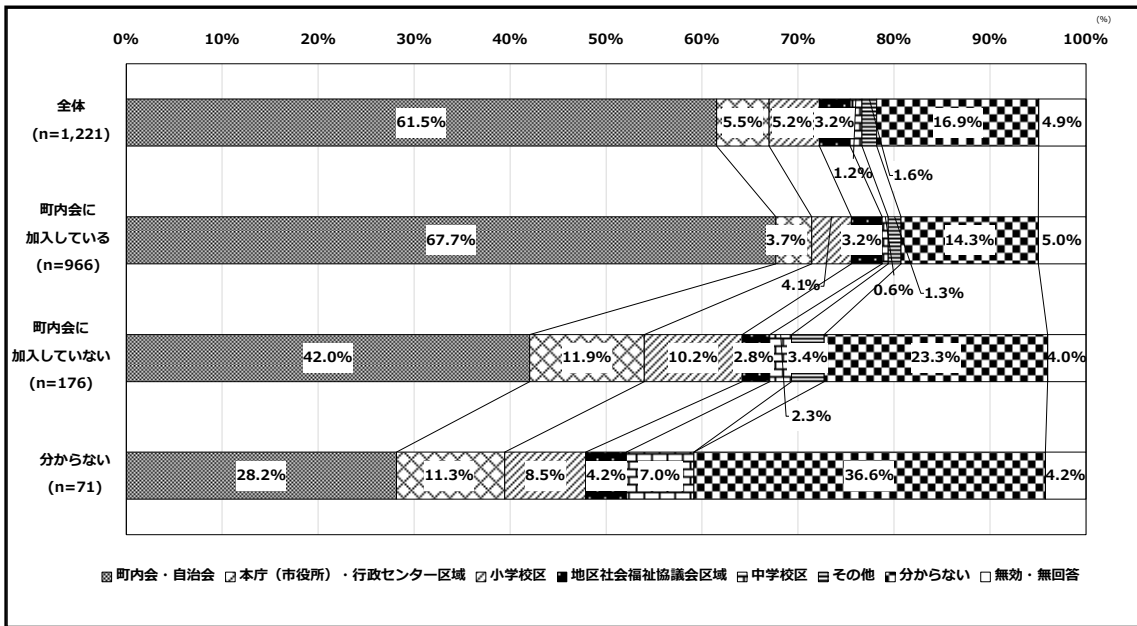


問 24 あなたにとって、住民が互いに助け合いをするとしたら、どの「範囲」が最もよいと思いますか。【〇は1つ】

「町内会・自治会」が最も多く、61.5%を占めます。

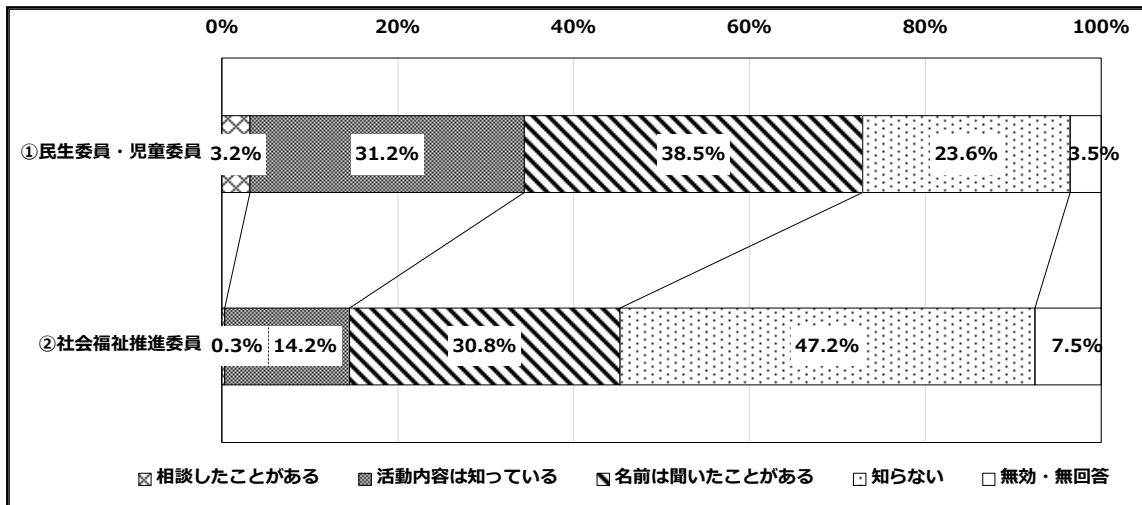


【問 11 (町内会加入の有無) 別比較】

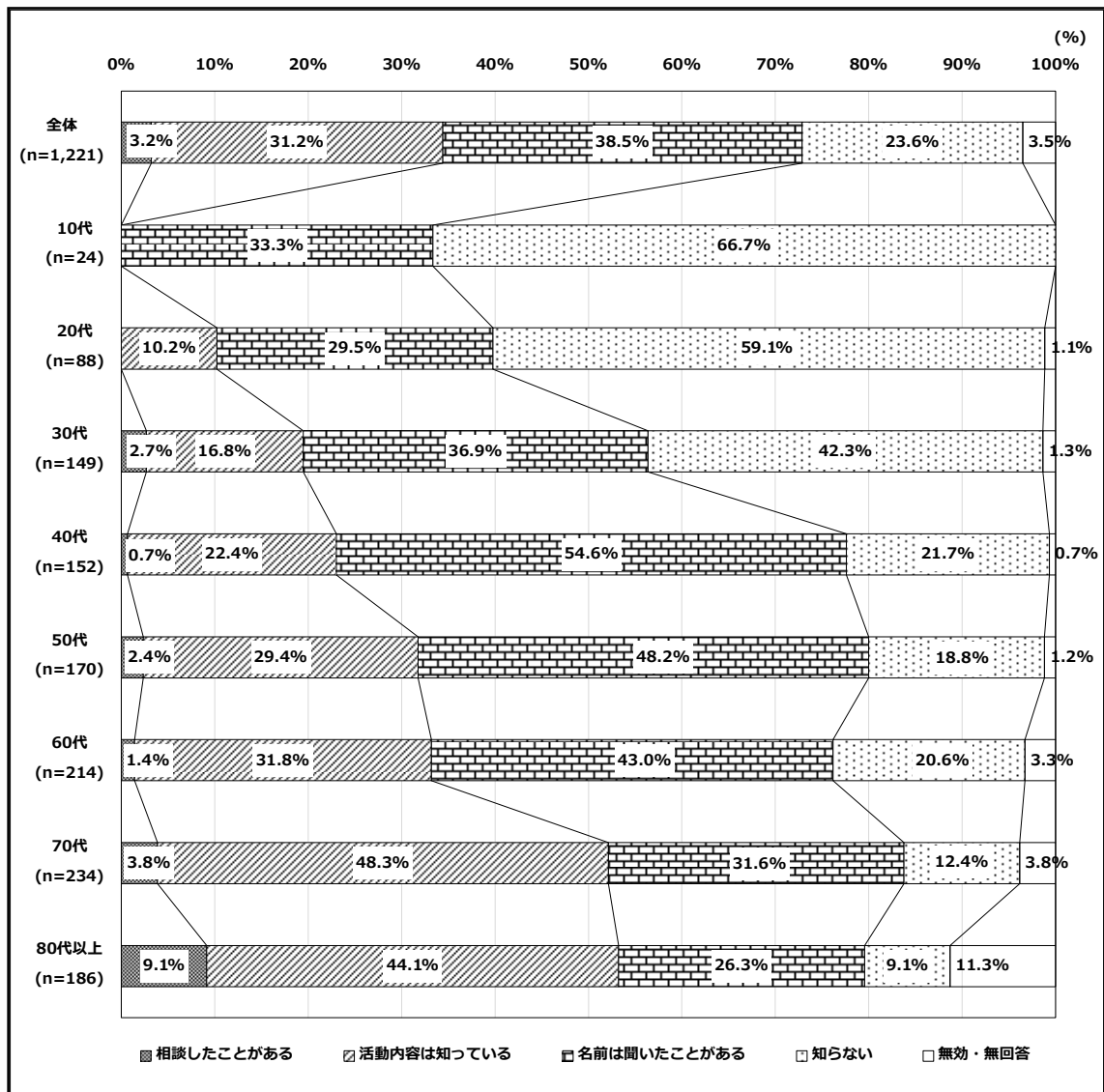


問 25 あなたは、民生委員・児童委員・社会福祉推進委員を知っていますか。

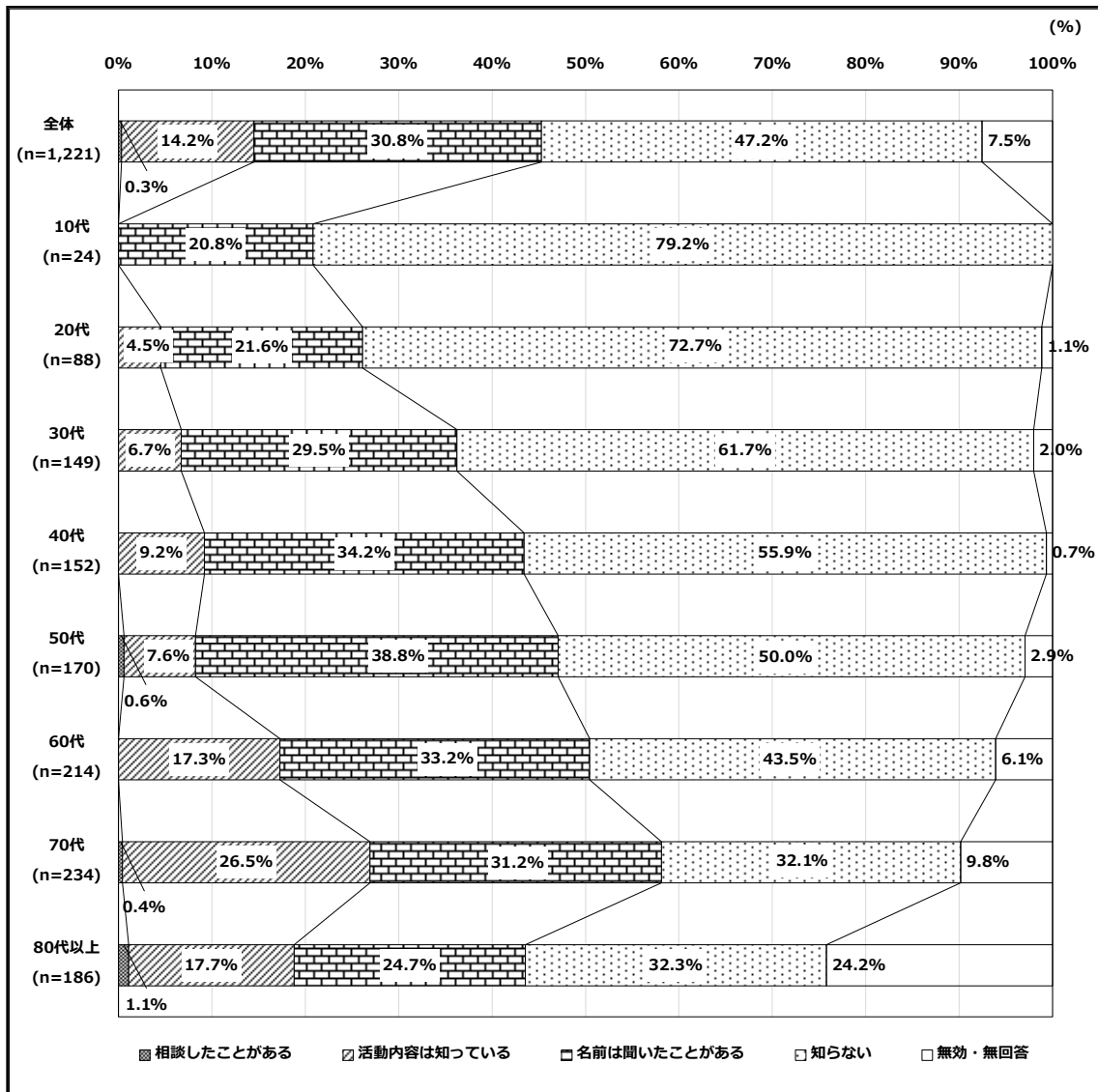
※今回新設した問



【問2（年代）別比較（①民生委員）】

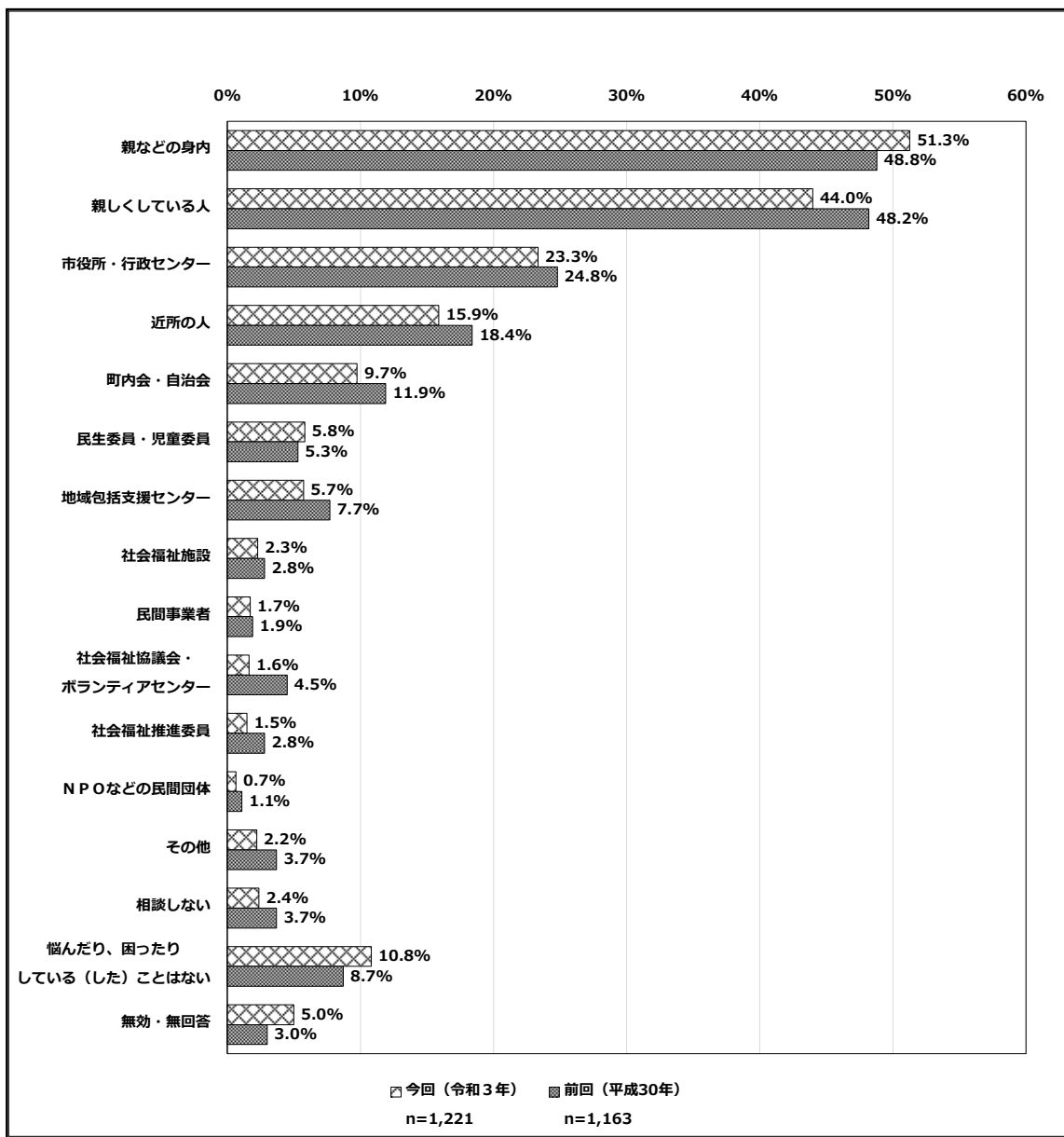


【問2（年代）別比較（②社会福祉推進委員）】



問 26 普段、地域生活の中で悩んだり、困ったりした時は、どこに相談しますか、
あるいは、どこに相談しましたか。【あてはまるものすべてに○】

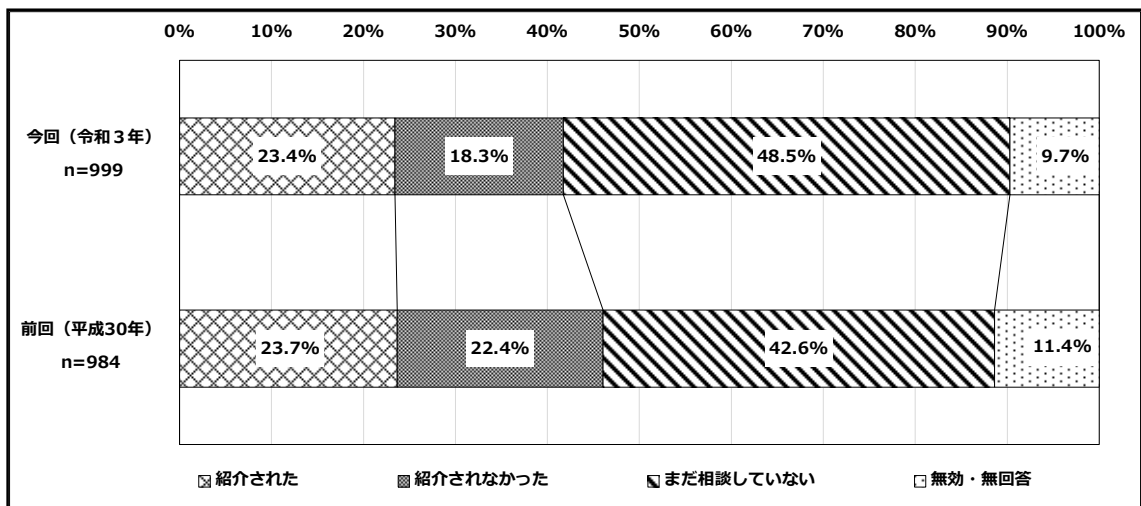
- 約半数の人が「親などの身内」(51.3%)、「親しくしている人」(44.0%)と回答しています。
- 次いで、「市役所・行政センター」(23.3%)、「近所の人」(15.9%)となっています。



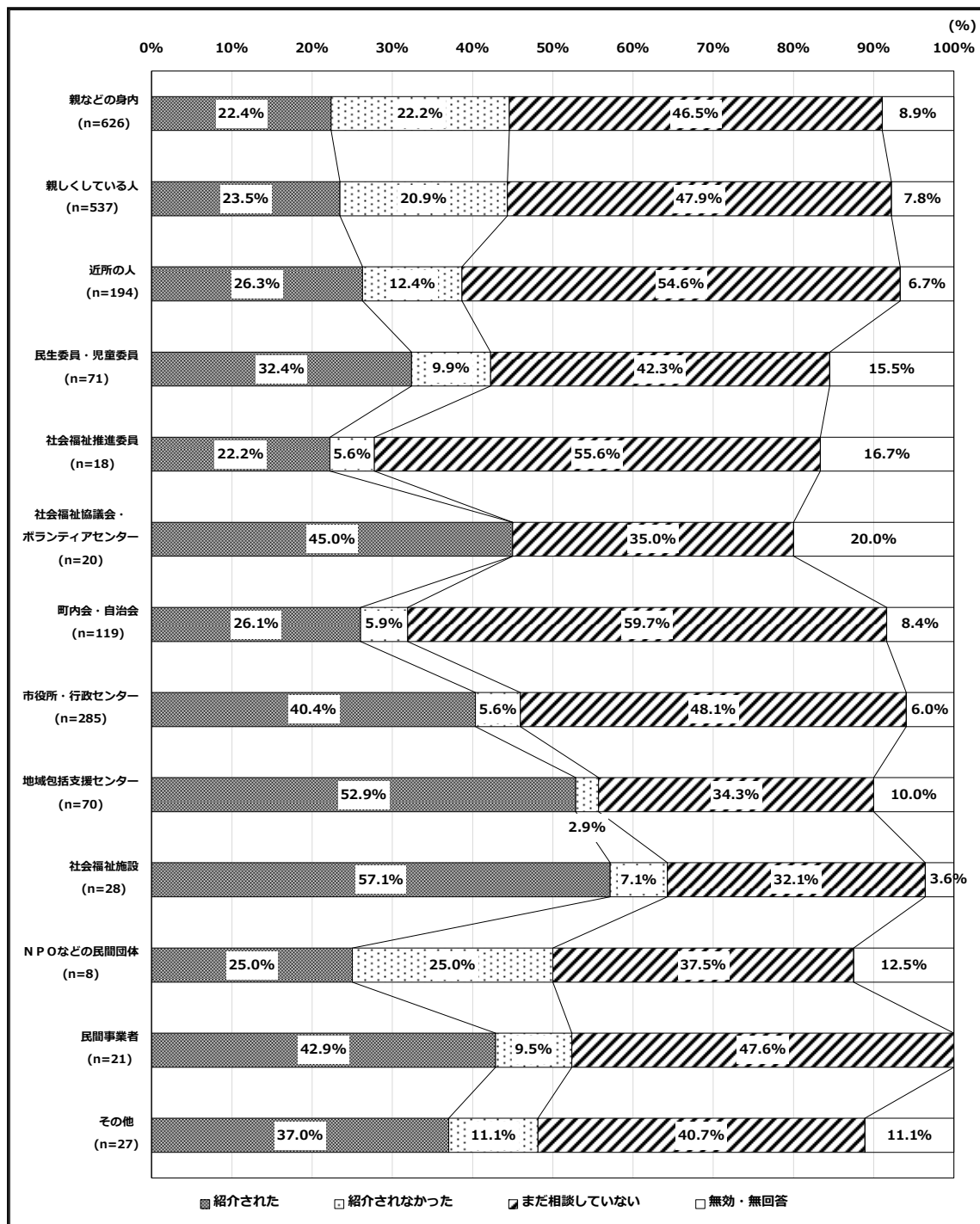
問 27 (問 26 で具体的な回答をした人のみ)

相談した人・所から「その悩みはここに相談した方が良い」と問題解決に適切な窓口を紹介されましたか。【〇は1つ】

・「まだ相談していない」が48.5%で最も多く、「紹介された」は23.4%となっています。



【問 26（相談先）別比較】



問 28 (問 26 で「相談しない」と回答した人のみ)

あなたが抱えている悩みをどう解決しますか(しましたか)。

具体的に記入してください。(自由記入)

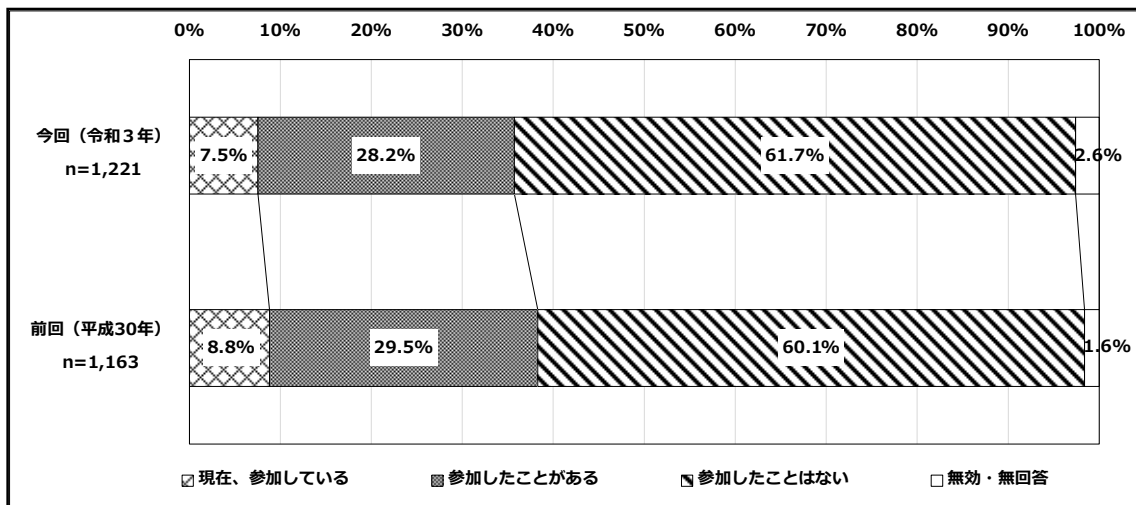
【主な回答】

- ・自分自身で解決した。
- ・インターネット等で検索した。
- ・そこに相談すればよいか分からない。
- ・今は元気だが、高齢になるとできなくなることが増えるので不安である。

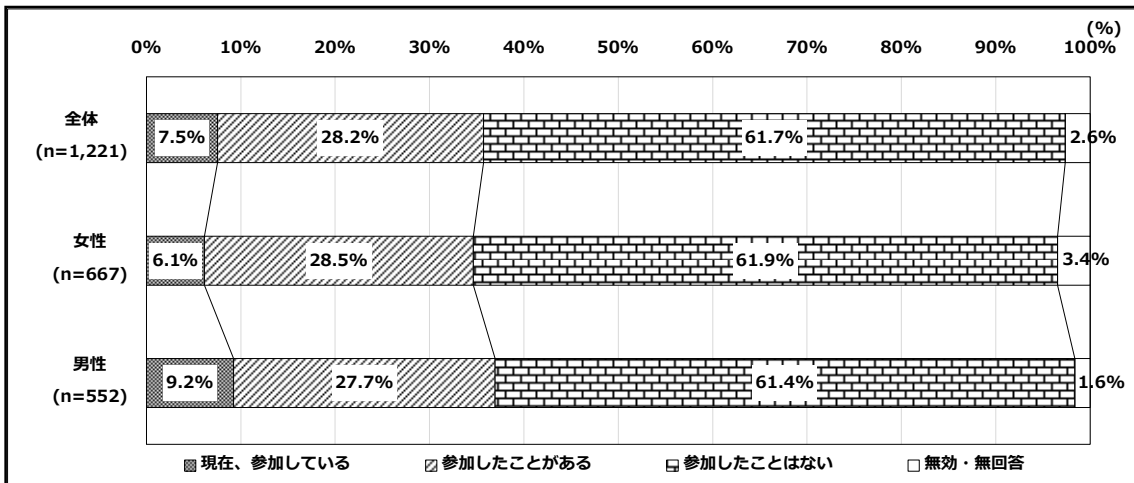
3. 地域福祉活動について

問 29 「福祉」の分野に限らず、ボランティア活動などの地域の活動(以下、地域活動)に参加したことがありますか(過去 10 年以内)。【〇は 1 つ】

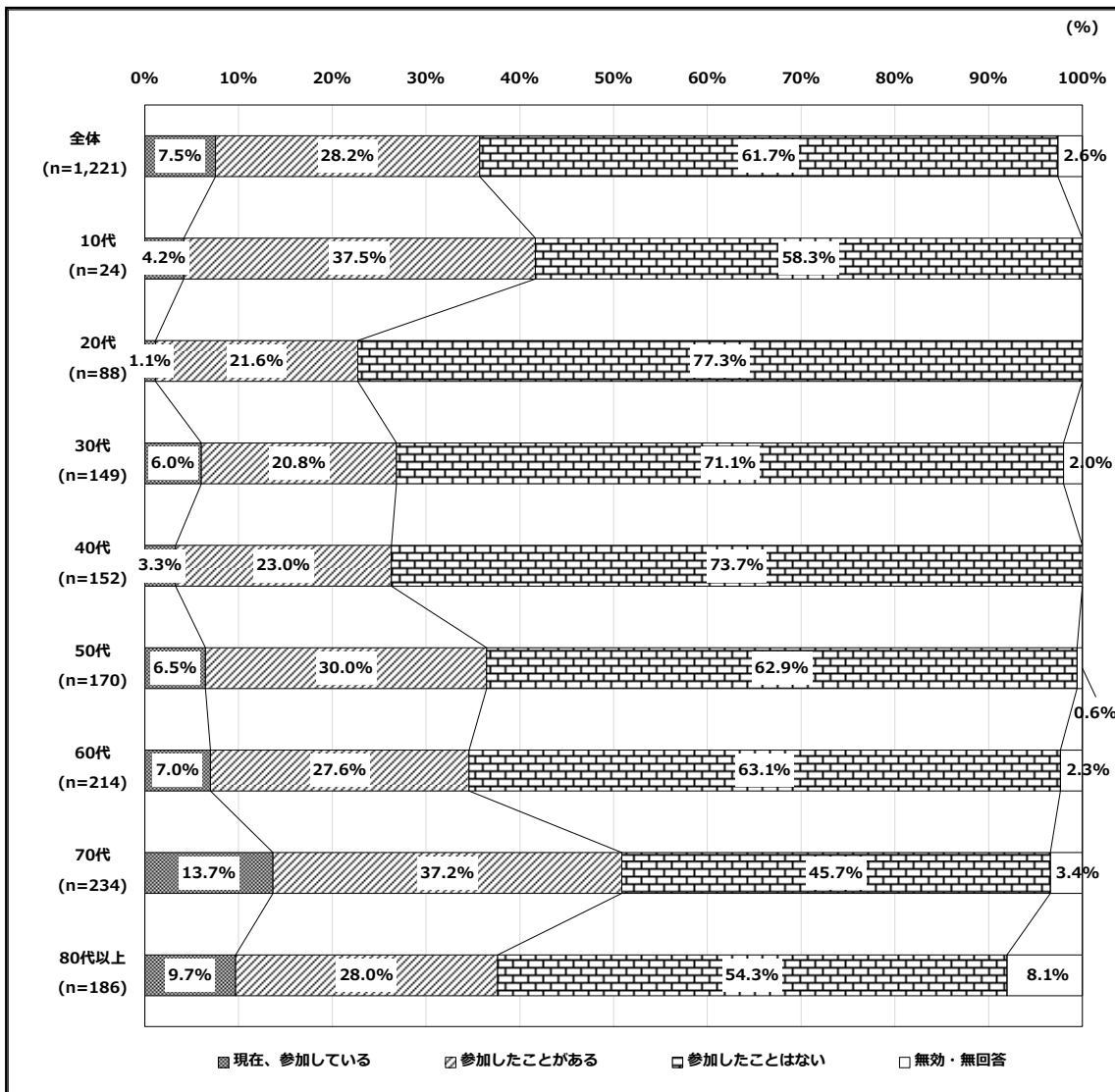
「現在、参加している」(7.5%)、「参加したことがある」(28.2%)を合わせると約 36%、「参加したことはない」が 61.7%となっています。



【問1（性）別比較】



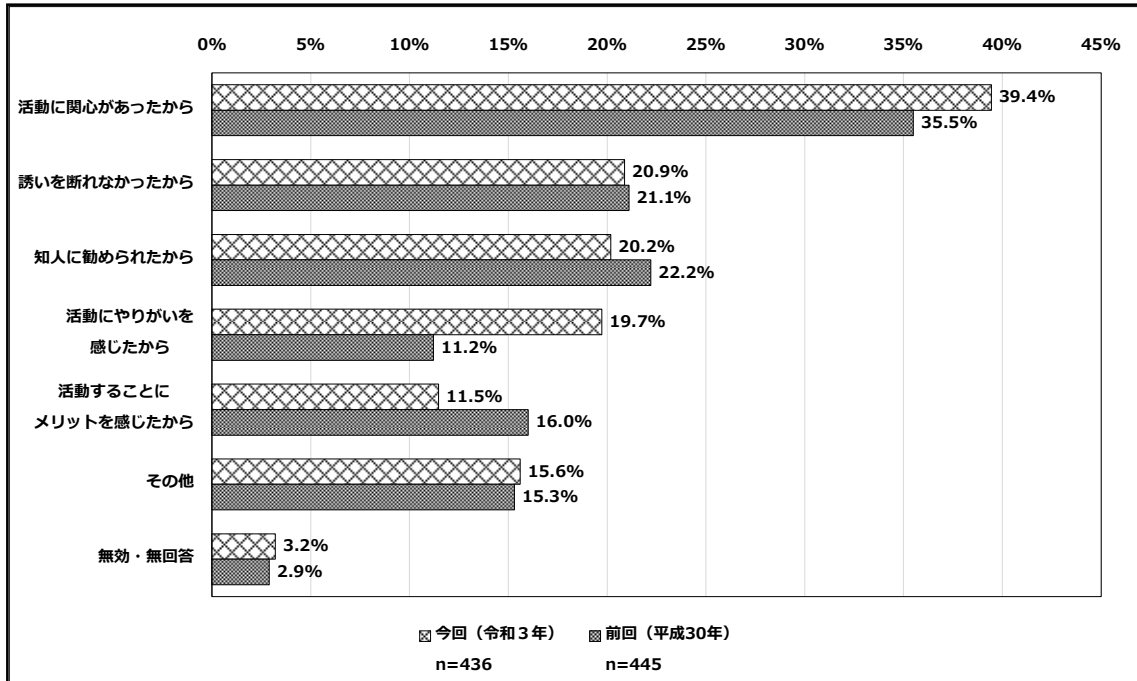
【問2（年代）別比較】



問 30 (問 29 で「現在、参加している」、「参加したことがある」のいずれかの回答をした人のみ)

地域活動に参加した理由は何ですか。【あてはまるものすべてに〇】

- ・「活動に関心があったから」が 39.4% で最も多く、次いで「誘いを断れなかったから」(20.9%)、「知人に勧められたから」(20.2%) となっています。
- ・「その他」で最も多かった回答は「町内会などの役員が輪番であったため」でした。



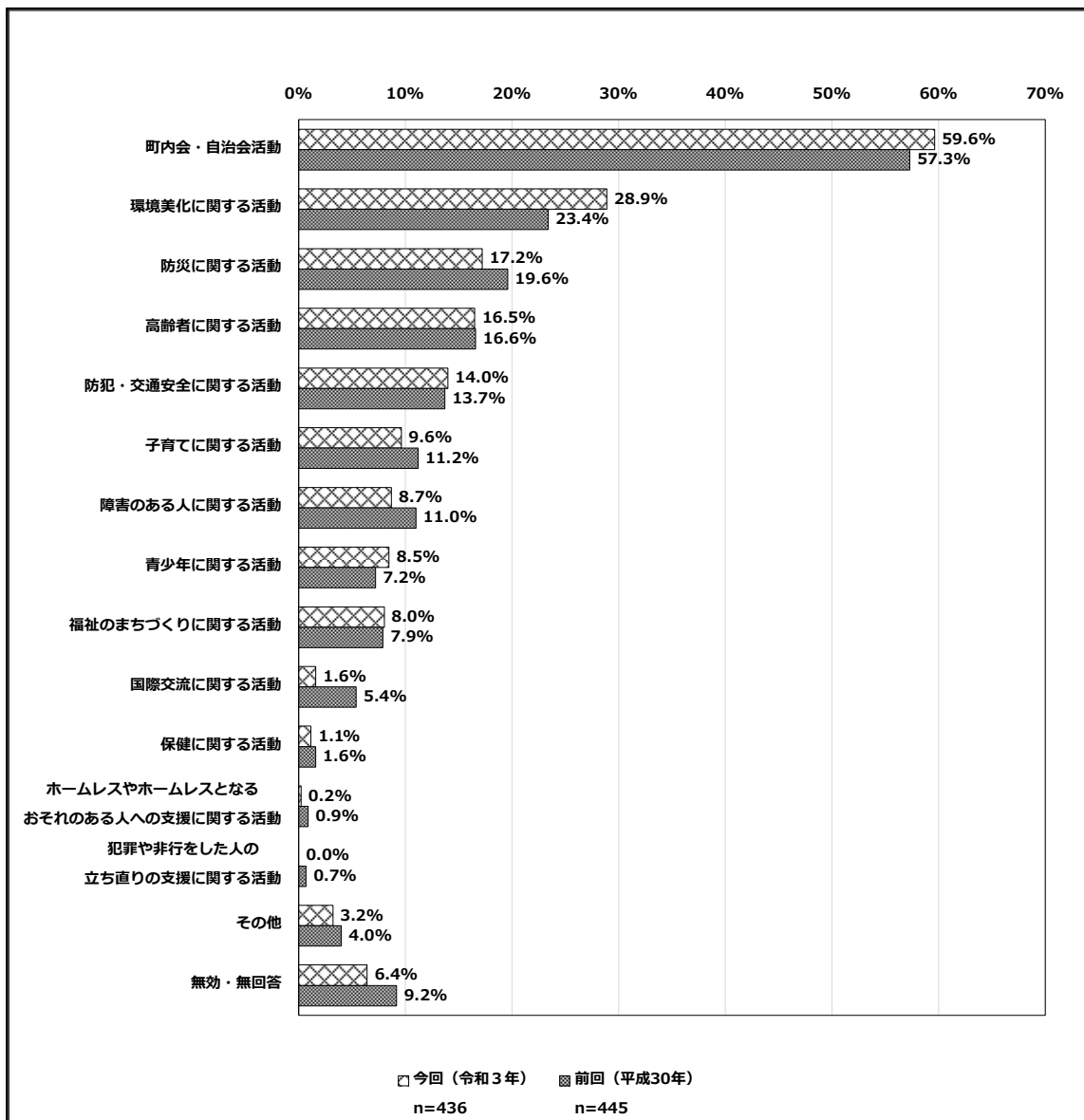
問 31 (問 29 で「現在、参加している」、「参加したことがある」のいずれかの回答をした人のみ)

参加している (していた) 地域活動の内容はどのようなものですか。

【あてはまるものすべてに〇】

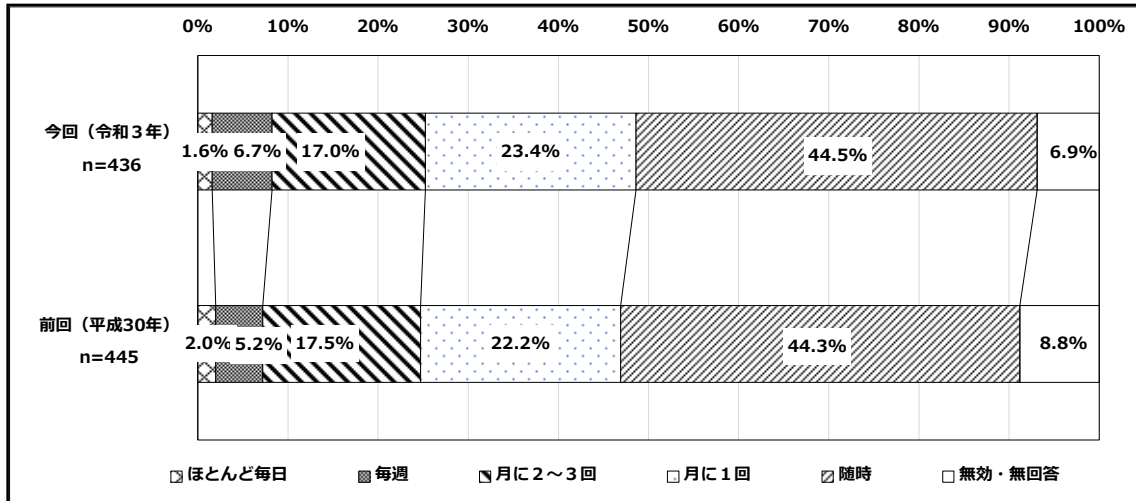
・「町内会・自治会活動」が 59.6% で最も多く、次いで「環境美化に関する活動」(28.9%)、「防災に関する活動」(17.2%) となっています。

・「その他」の主な回答は「こども食堂の活動」や「震災時ボランティア」、「保護犬活動」などがありました。



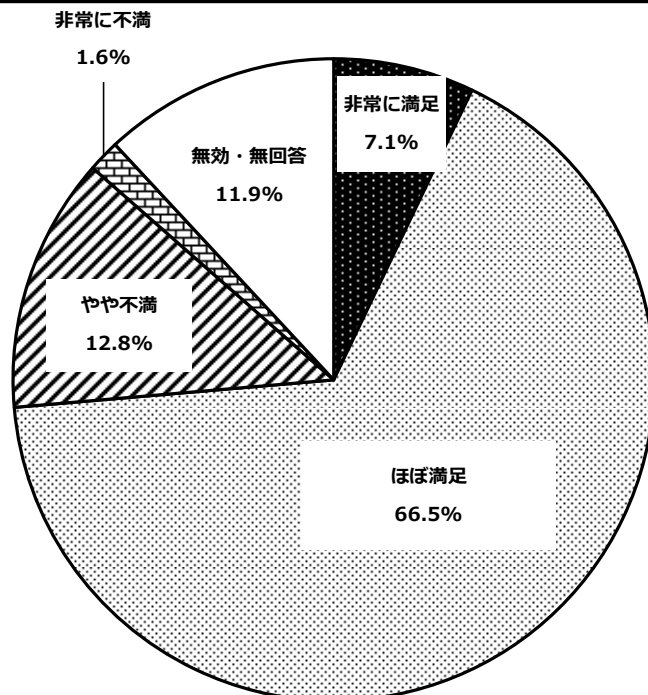
問 32 (問 29 で「現在、参加している」、「参加したことがある」のいずれかの回答をした人のみ)
 地域活動に参加する(していた)頻度はどの程度ですか。【〇は1つ】

・「随時」が 44.5% で最も多くなっています。
 ・月に 1 回以上の活動をしている(していた)人が 48.7% と約半数を占めています。



問 33 (問 29 で「現在、参加している」、「参加したことがある」のいずれかの回答をした人のみ)
 地域活動に参加する(していた)際の満足度はいかがですか。【〇は1つ】
 ※今回新設した問

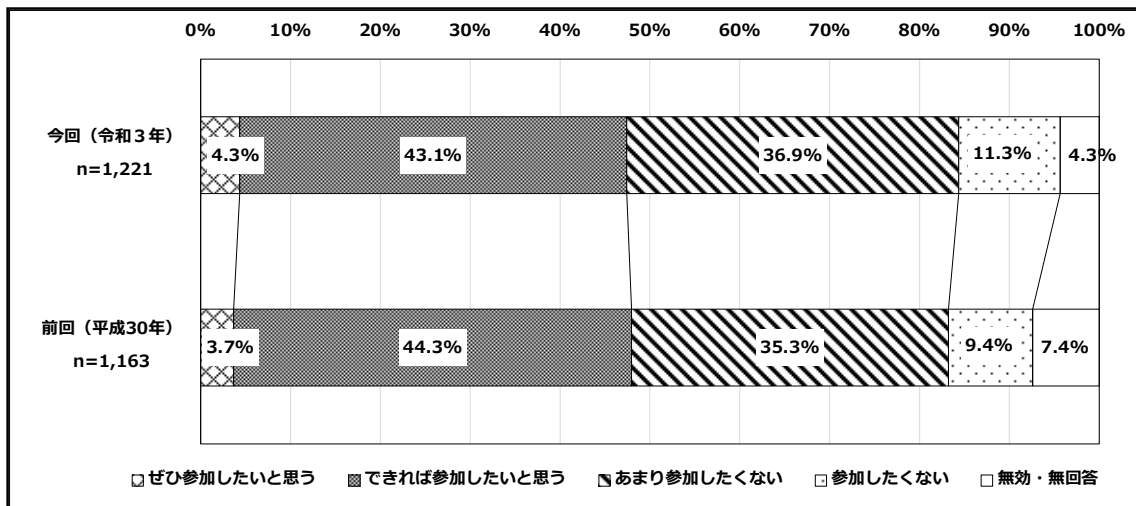
・「非常に満足」(7.1%)、「ほぼ満足」(66.5%) は合わせて約 74% でした。



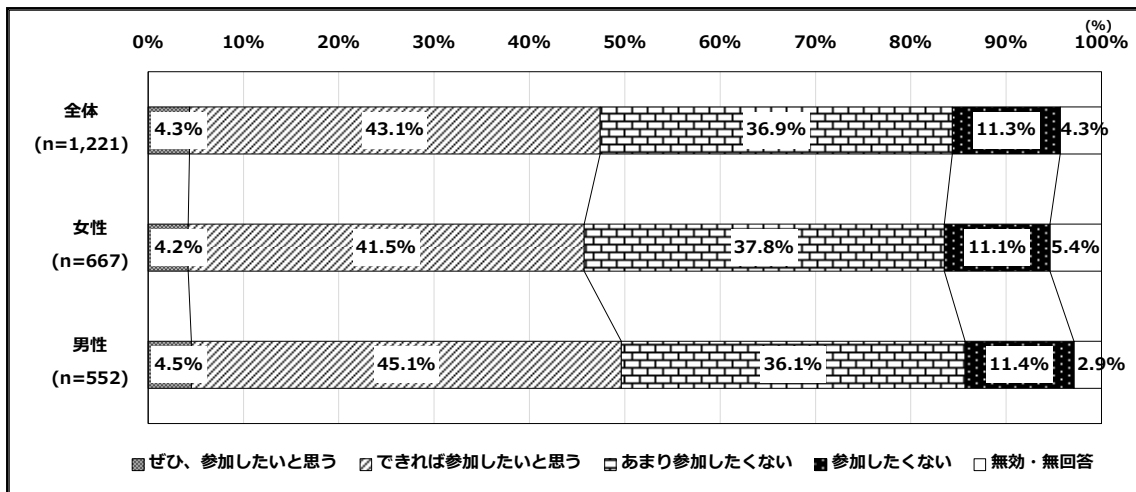
n = 436

問34 今後、地域活動に参加したいと思えますか。【〇は1つ】

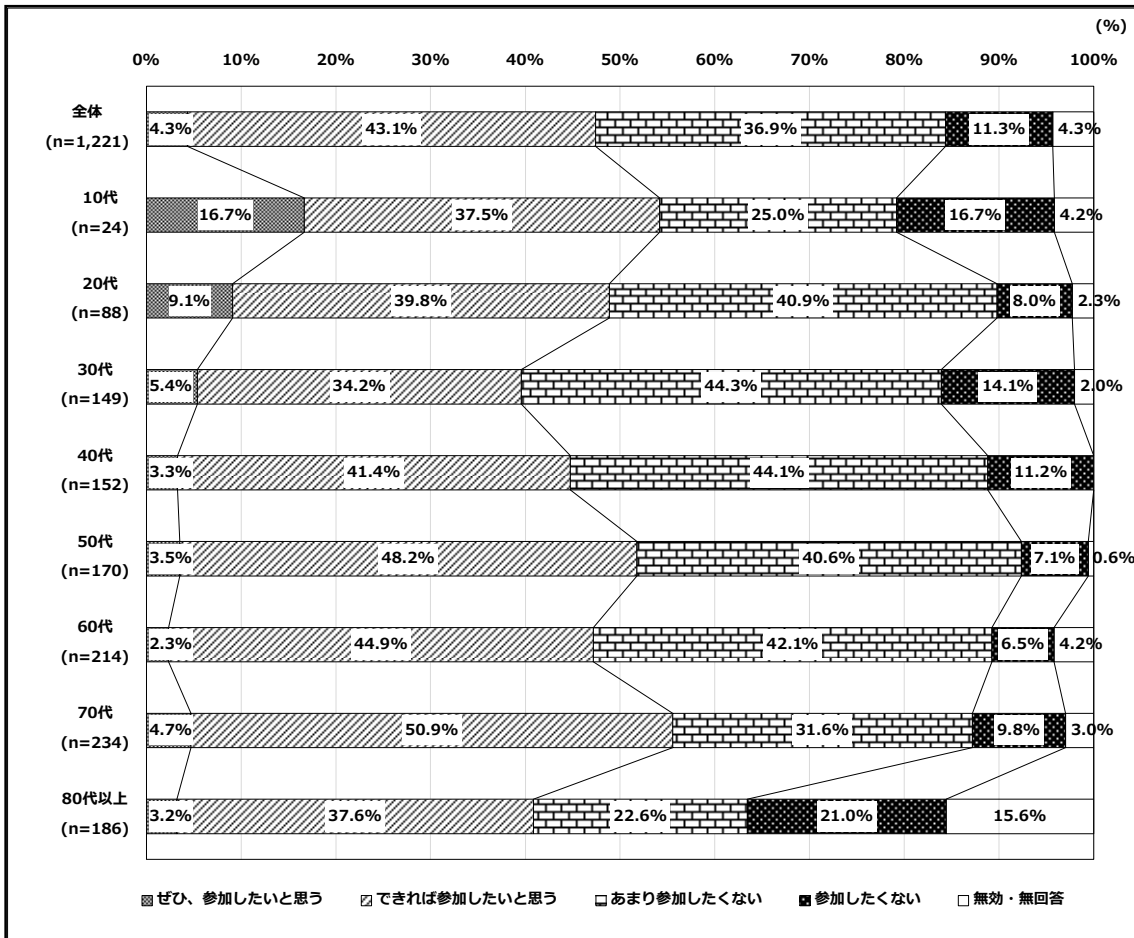
- ・「ぜひ参加したいと思う」(4.3%)、「できれば参加したいと思う」(43.1%)は合わせて約47%でした。
- ・「あまり参加したくない」(36.9%)、「参加したくない」(11.3%)は合わせて約48%でした。



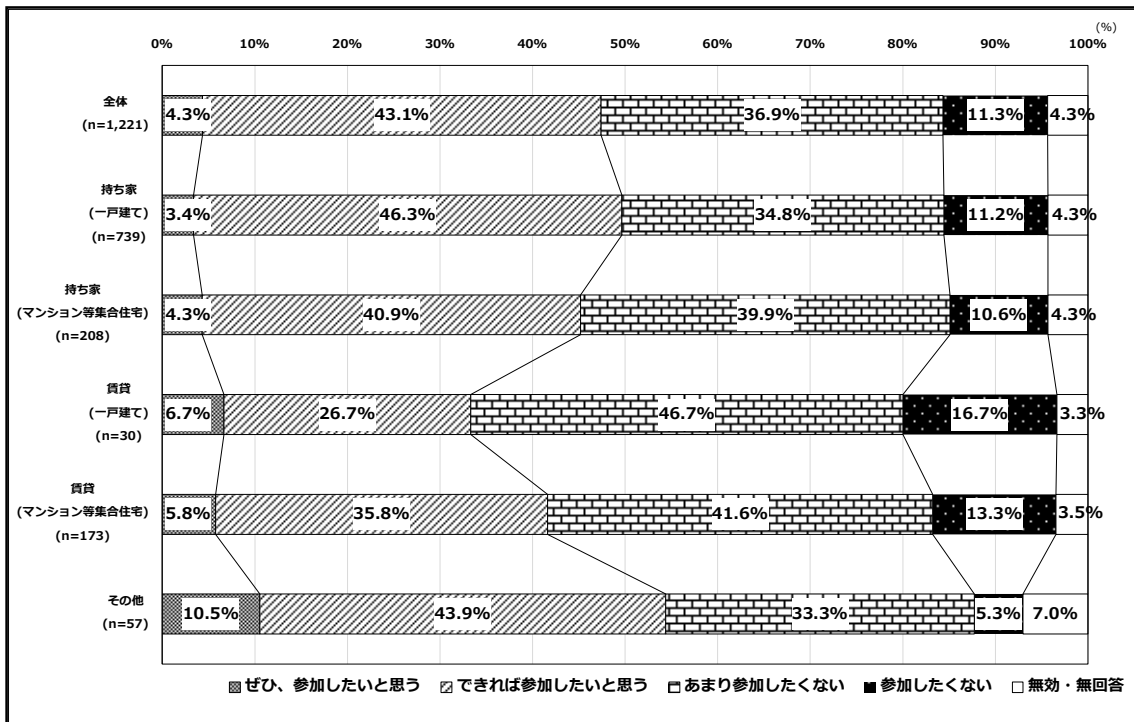
【問1 (性) 別比較】



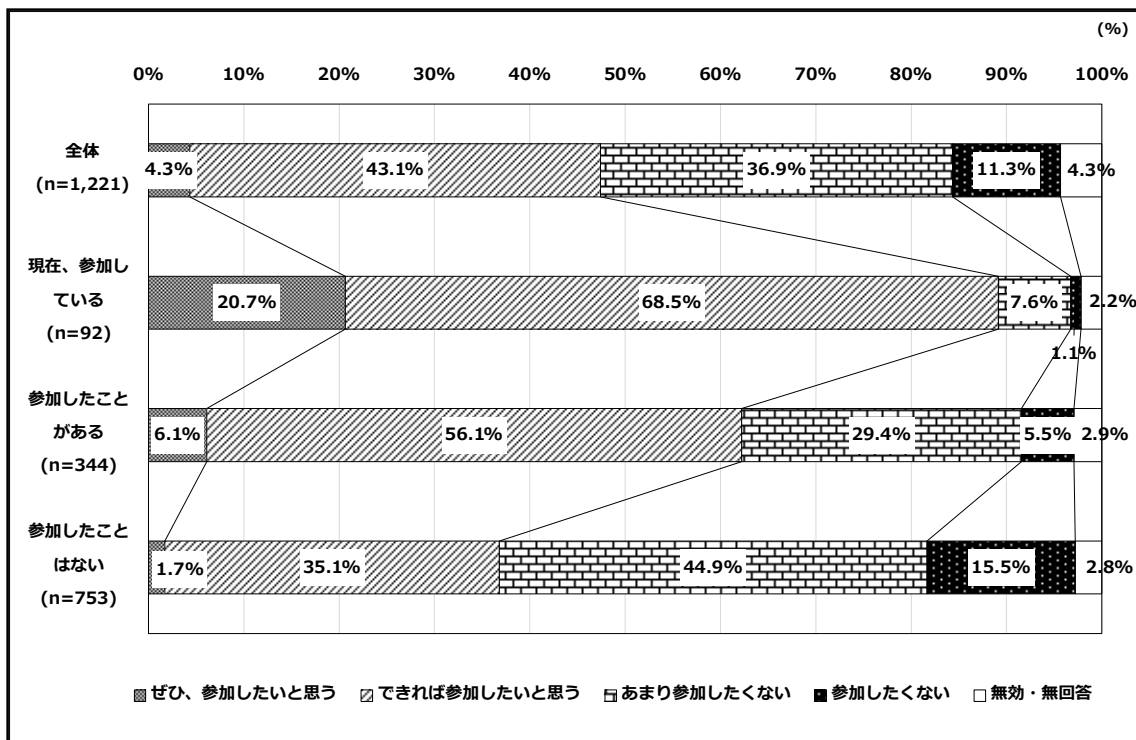
【問2（年代）別比較】



【問7（居住形態）別比較】



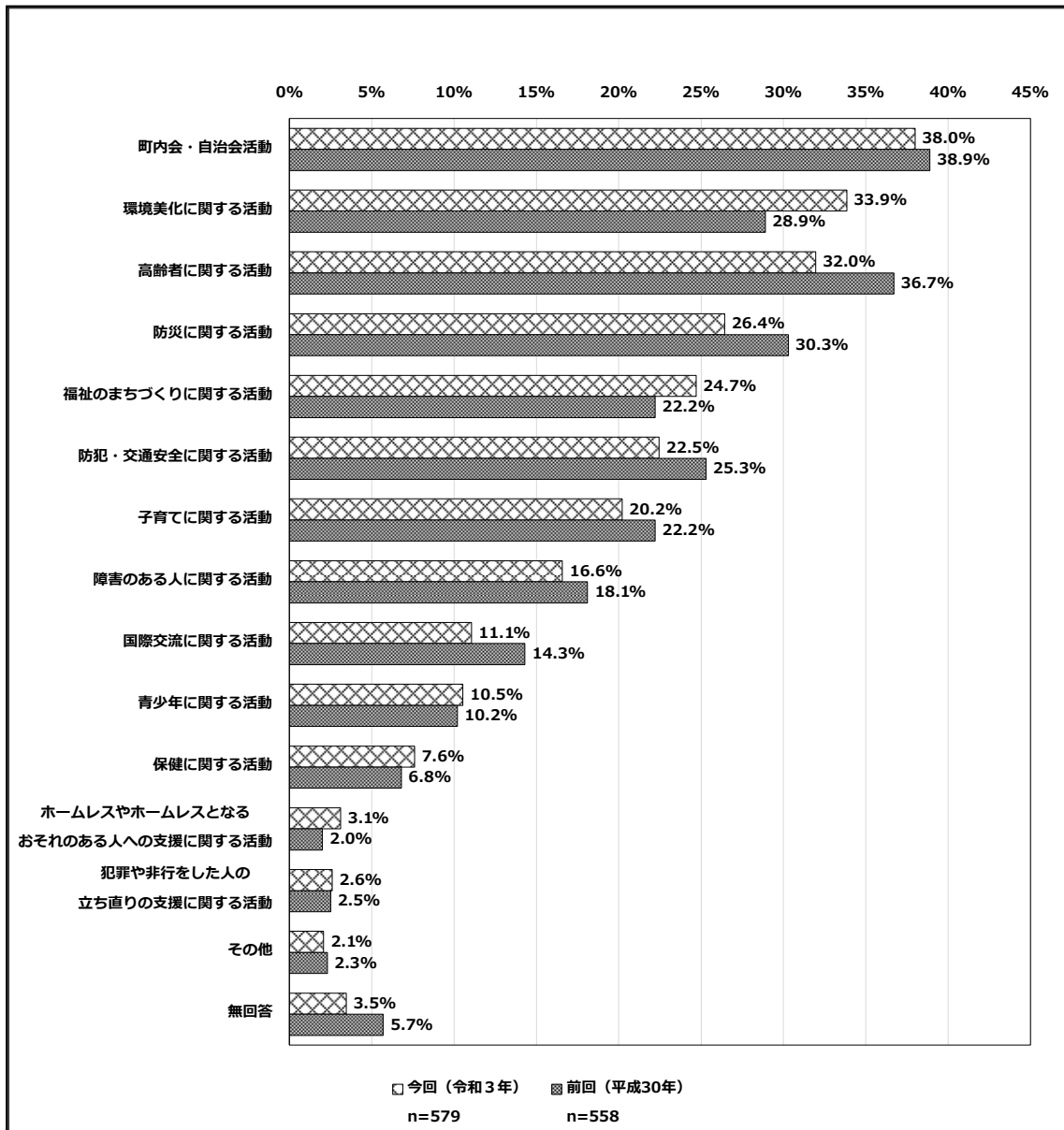
【問 29（地域活動の参加の有無）別比較】



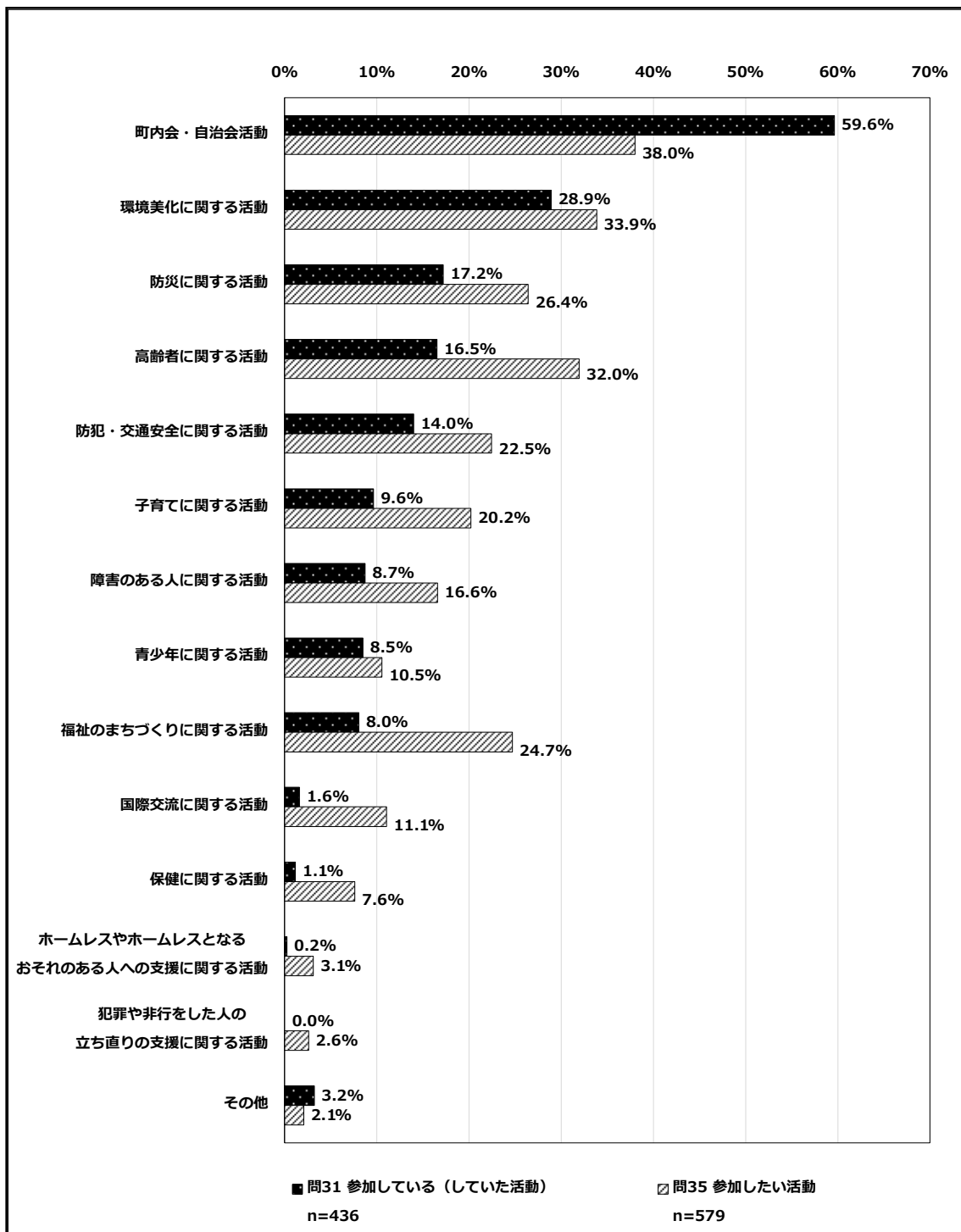
問 35 (問 34 で「ぜひ参加したいと思う」、「できれば参加したいと思う」のいずれかの回答をした人のみ)
 参加したい地域活動の内容はどのようなものですか。

【あてはまるものすべてに○】

・「町内会・自治会活動」が 38.0% で最も多く、次いで「環境美化に関する活動」(33.9%) となっています。
 ・「その他」の主な回答は「保護猫・保護犬活動」や「ひきこもりの人への支援」、「小学校に対する活動」などがありました。



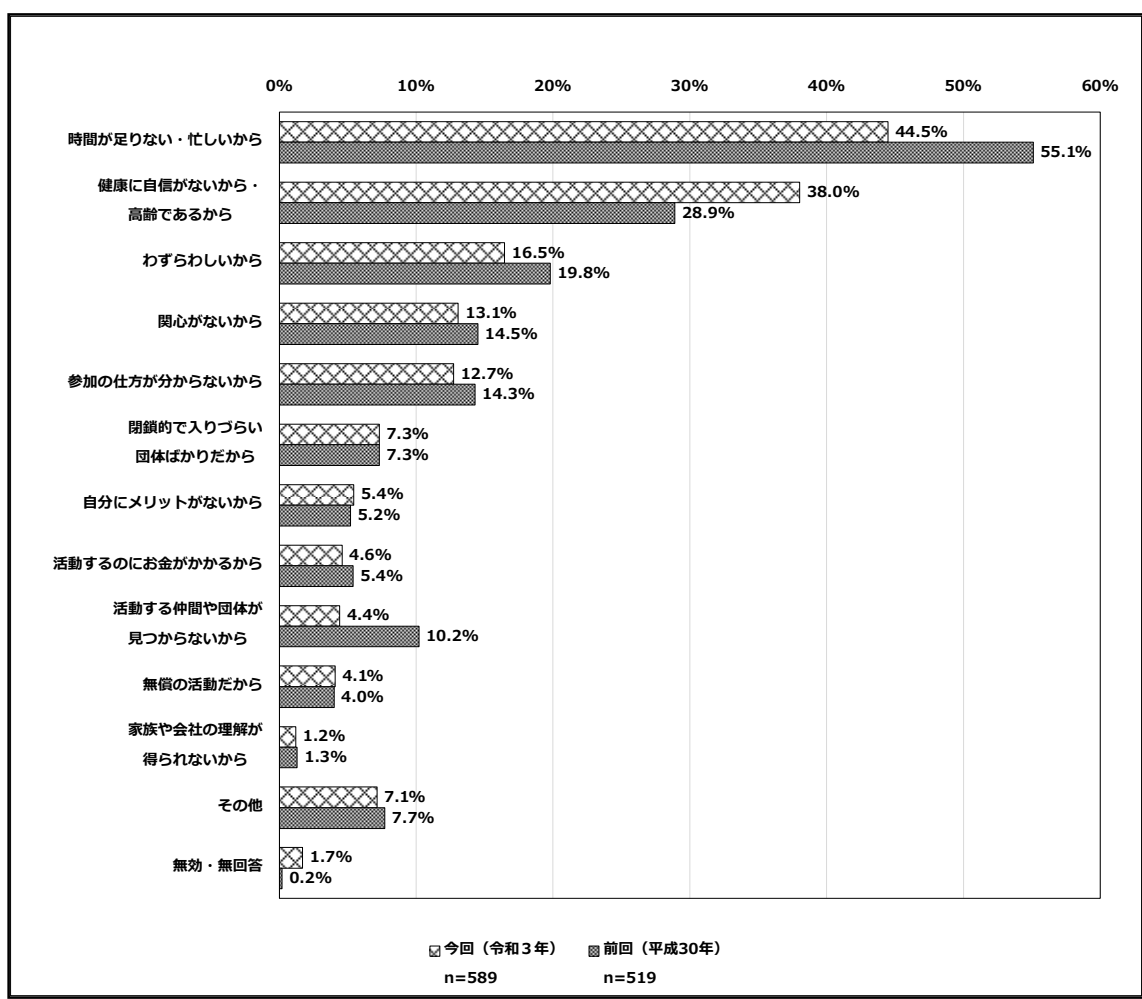
【問29（参加している（していた）活動）との比較】



問 36 (問 34 で「あまり参加したくない」、「参加したくない」のいずれかの回答をした人のみ)

参加したくない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

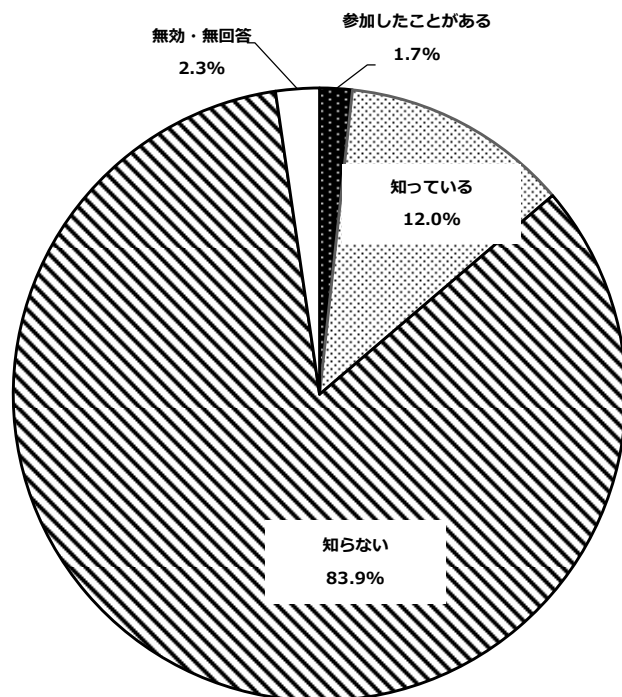
- ・「時間が足りない・忙しいから」が 44.5% で最も多く、次いで「健康に自信がないから・高齢であるから」(38.0%)、「わずらわしいから」(16.5%) となっています。
- ・「その他」の主な回答は「障害があるため」や「家族の介護が必要なため」などがありました。



問 37 あなたのお住まいの地域に支え合い団体があるか知っていますか。【〇は1つ】

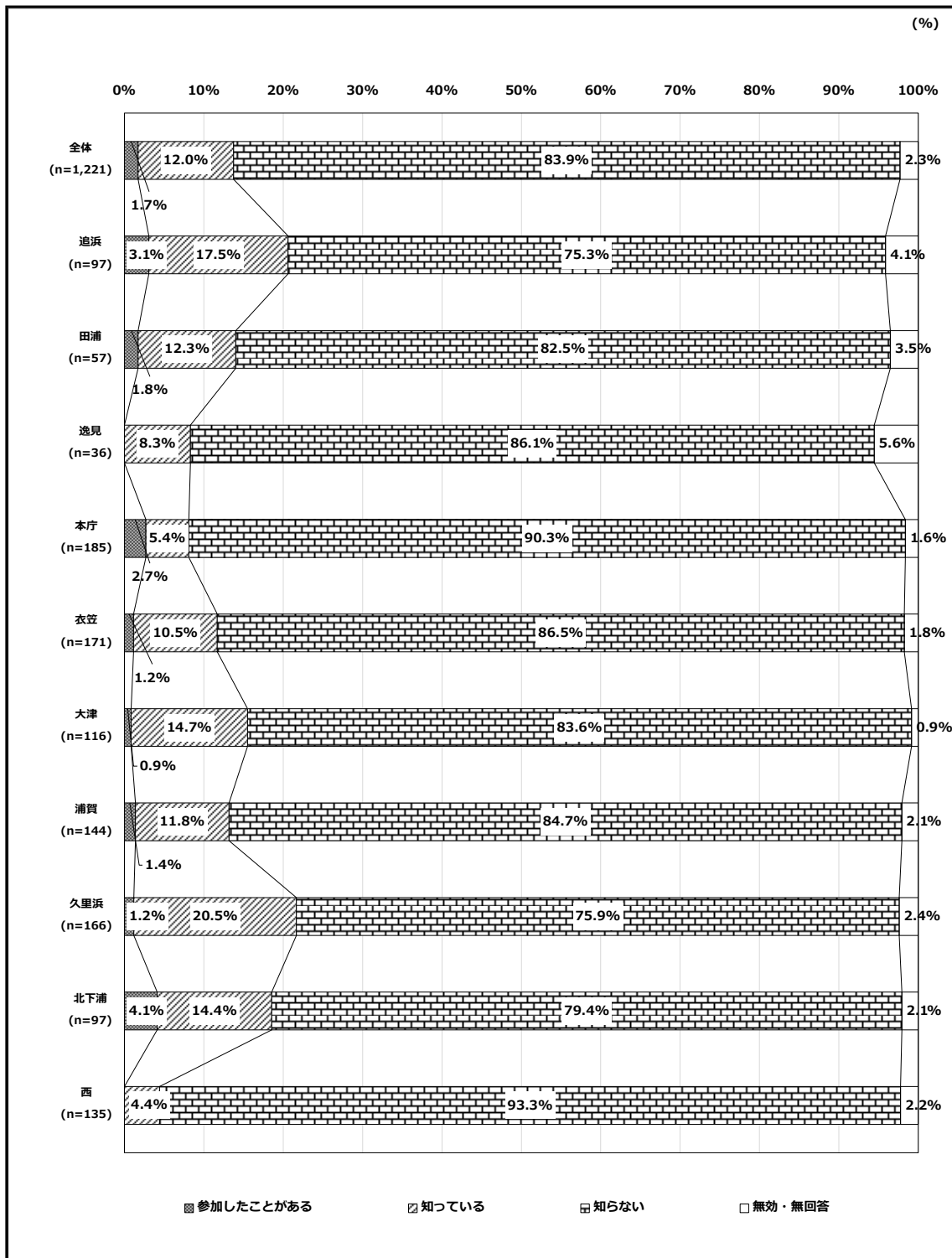
※今回新設した問

「参加したことがある」(1.7%)、「知っている」(12.0%)は合わせて、約14%でした。



n = 1,221

【問6（居住地）別比較】

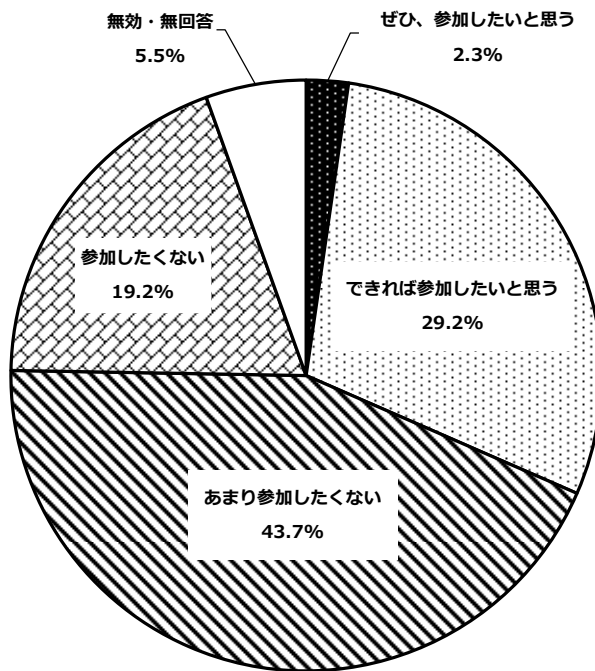


問 38 支え合い団体の活動に参加したいと思えますか。【〇は1つ】

※今回新設した問

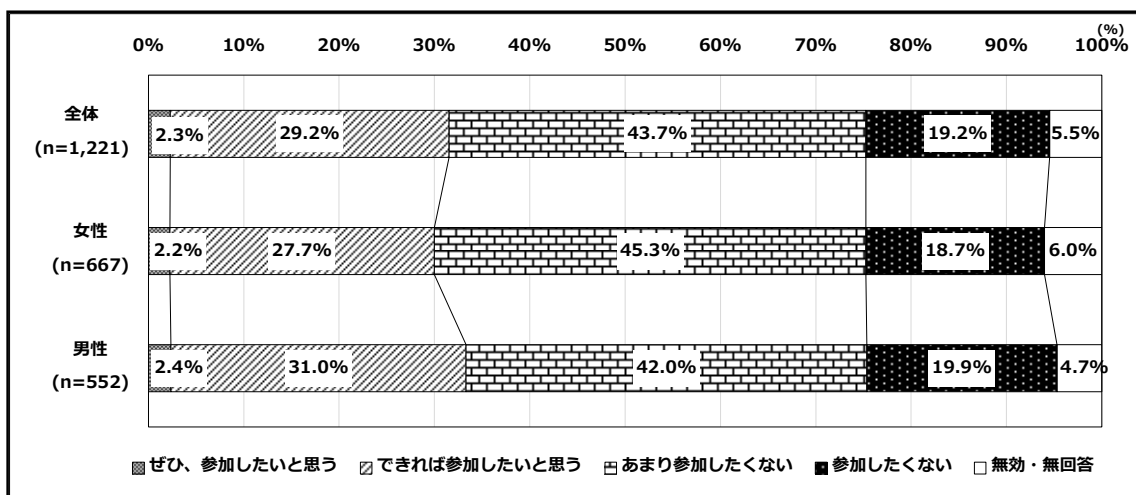
・「ぜひ、参加したいと思う」(2.3%)、「できれば参加したいと思う」(29.2%)は合わせて約32%でした。

・「あまり参加したくない」(43.7%)、「参加したくない」(19.2%)は合わせて約63%でした。

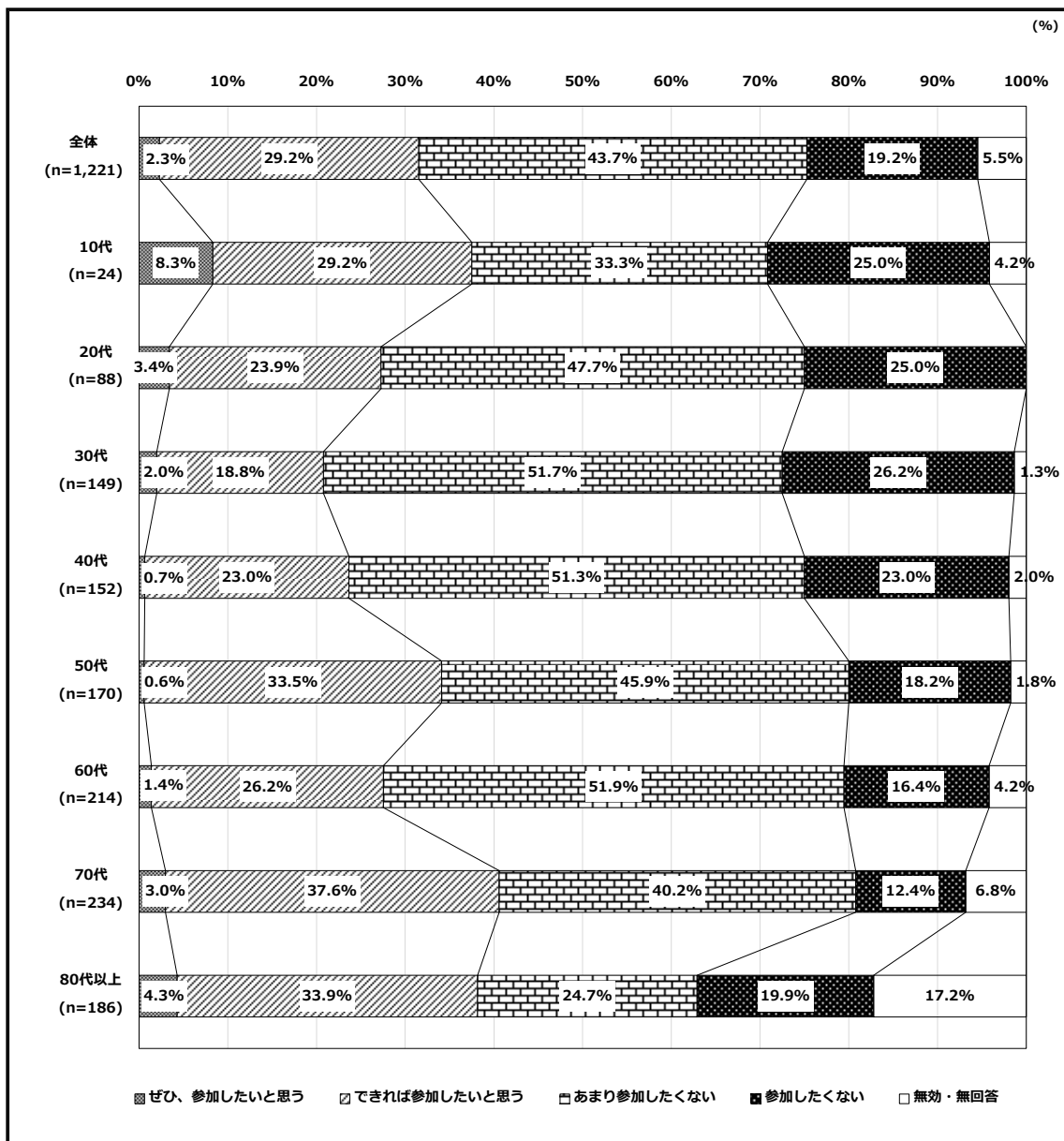


n = 1,221

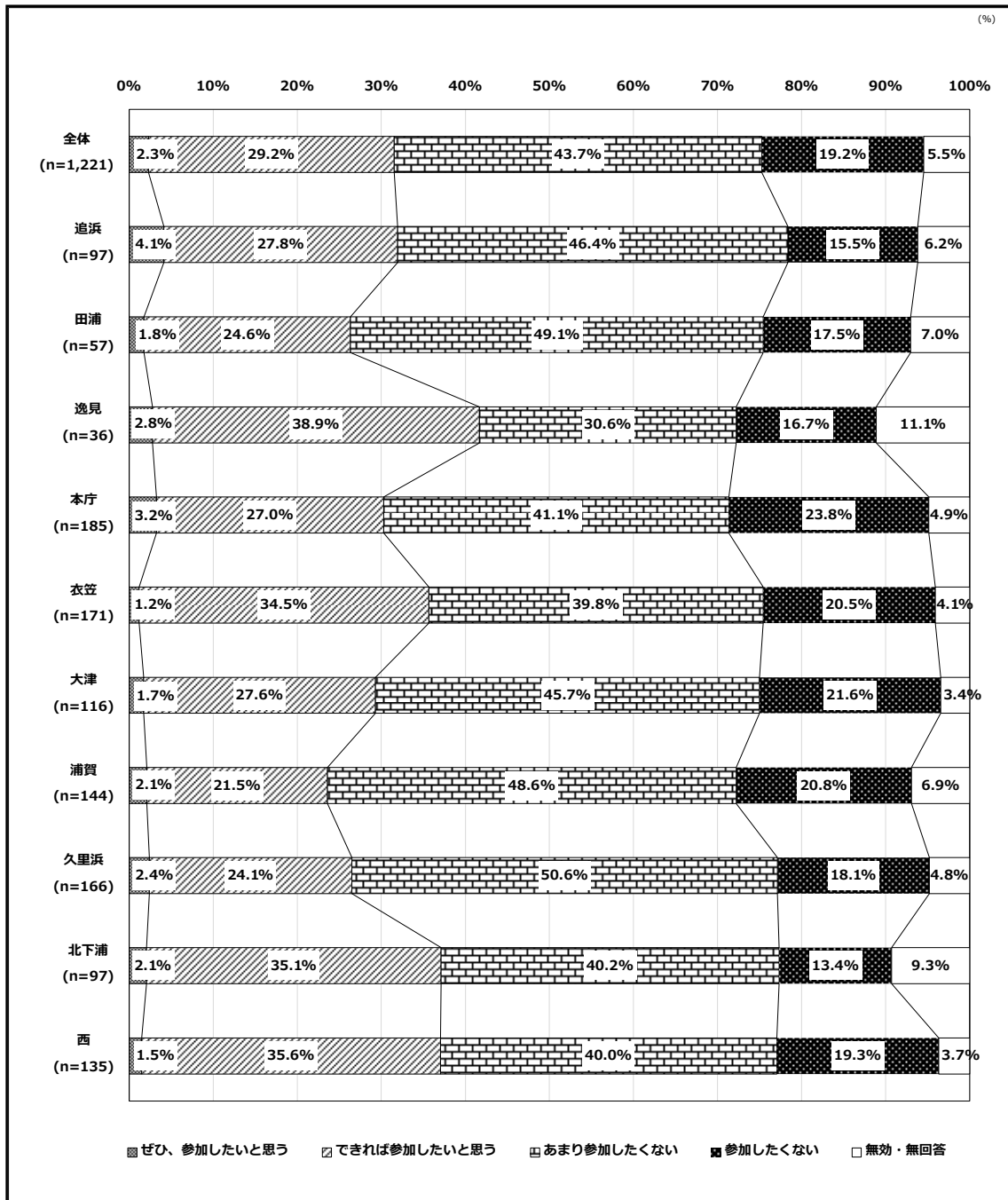
【問1 (性) 別比較】



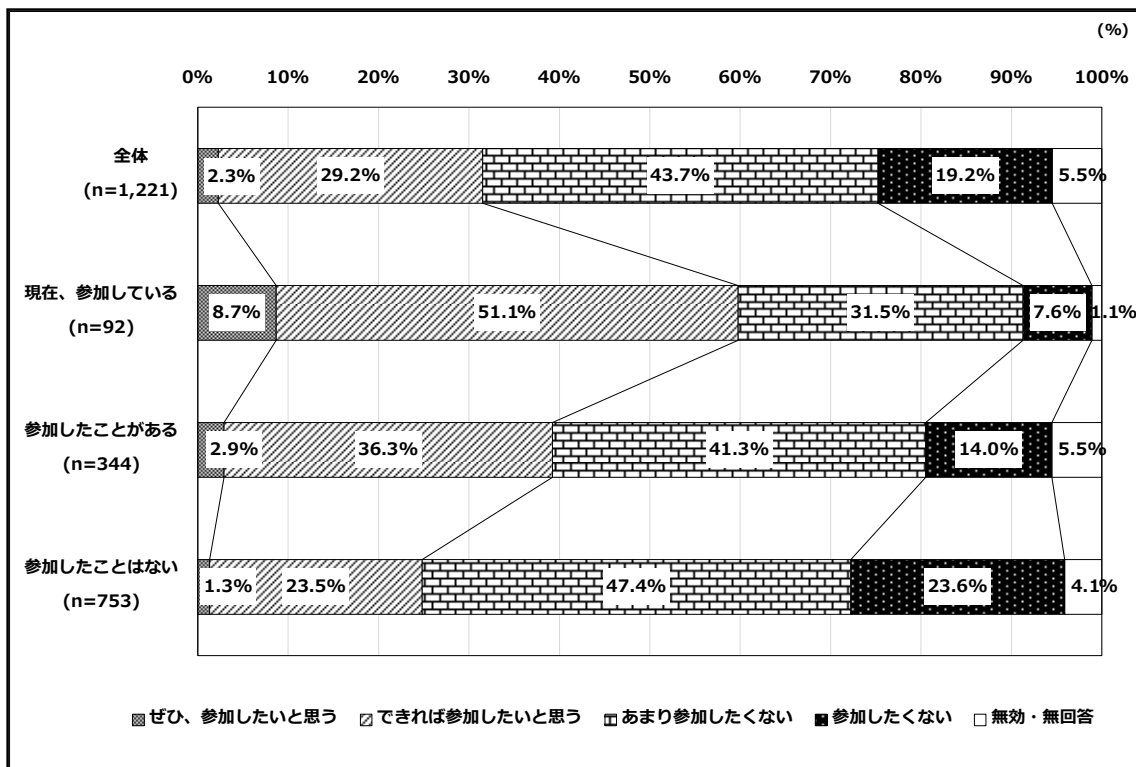
【問2（年代）別比較】



【問6（居住地）別比較】



【問 29（地域活動の参加の有無）別比較】



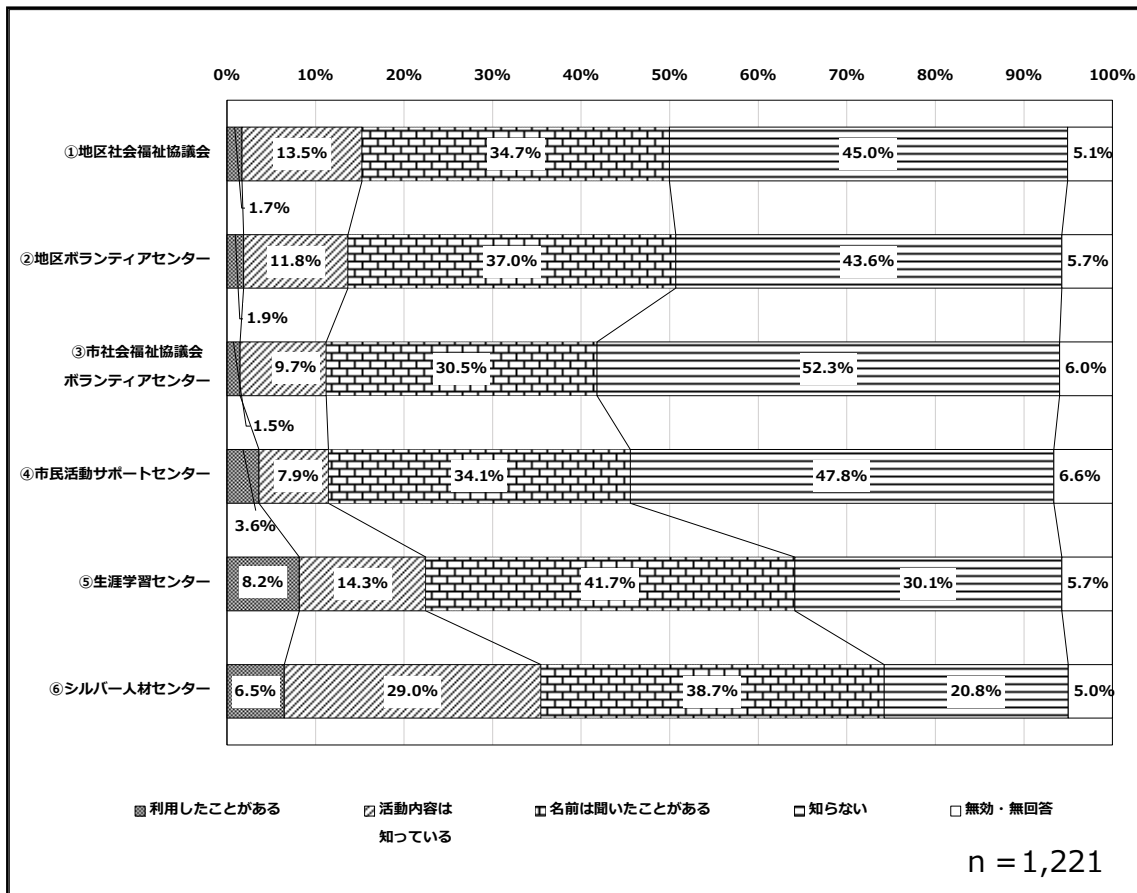
4. 地域福祉活動の拠点について

問 39 あなたは、次のような地域福祉活動の拠点や組織を知っていますか。

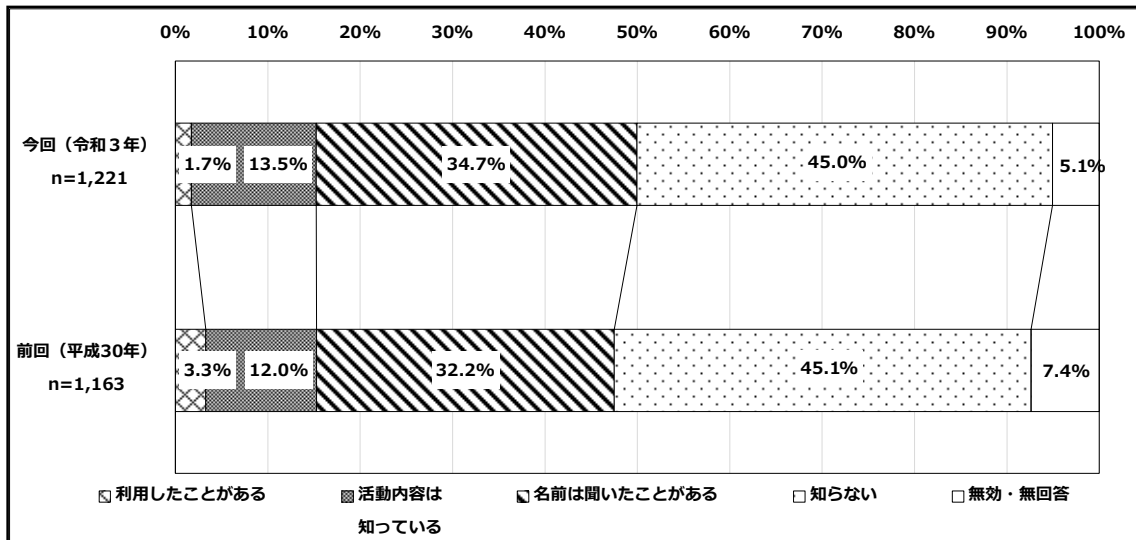
【〇はそれぞれ1つずつ】

- ①地区社会福祉協議会（地区社協）
- ②地区ボランティアセンター
- ③市社会福祉協議会ボランティアセンター
- ④市民活動サポートセンター
- ⑤生涯学習センター
- ⑥シルバー人材センター

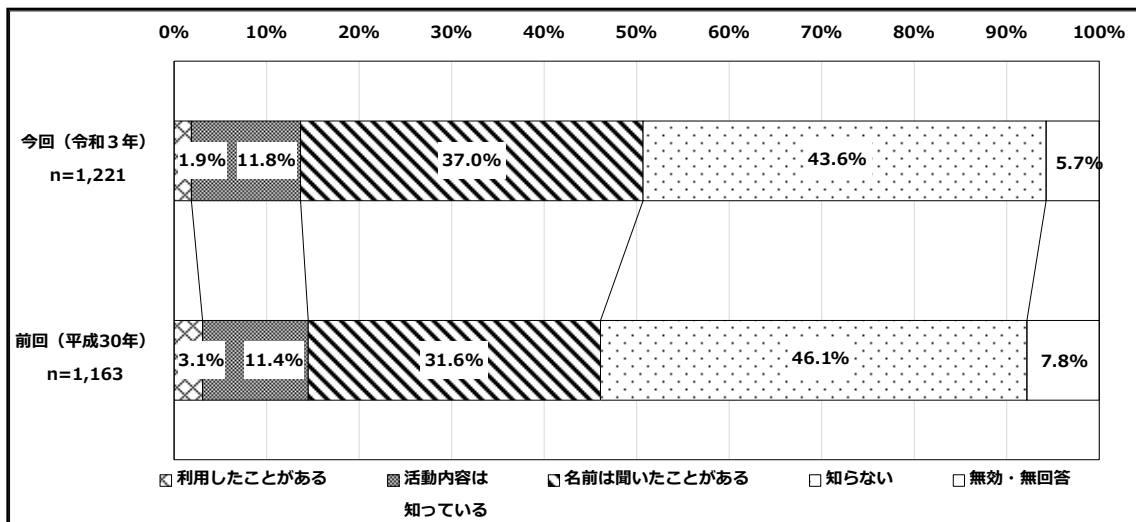
※③～⑥今回新設した問



前回との比較（①地区社会福祉協議会（地区社協））

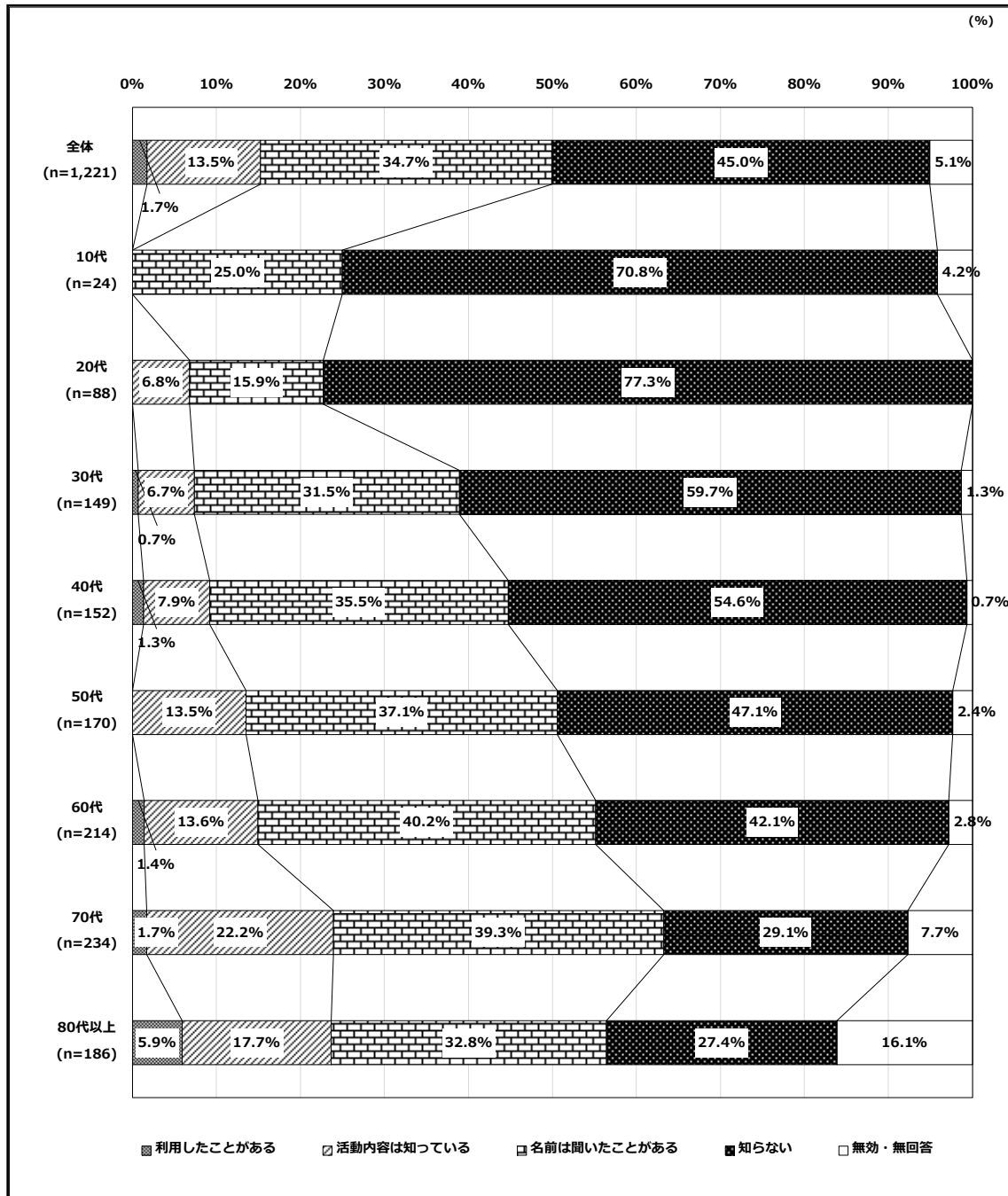


前回との比較（②地区ボランティアセンター）

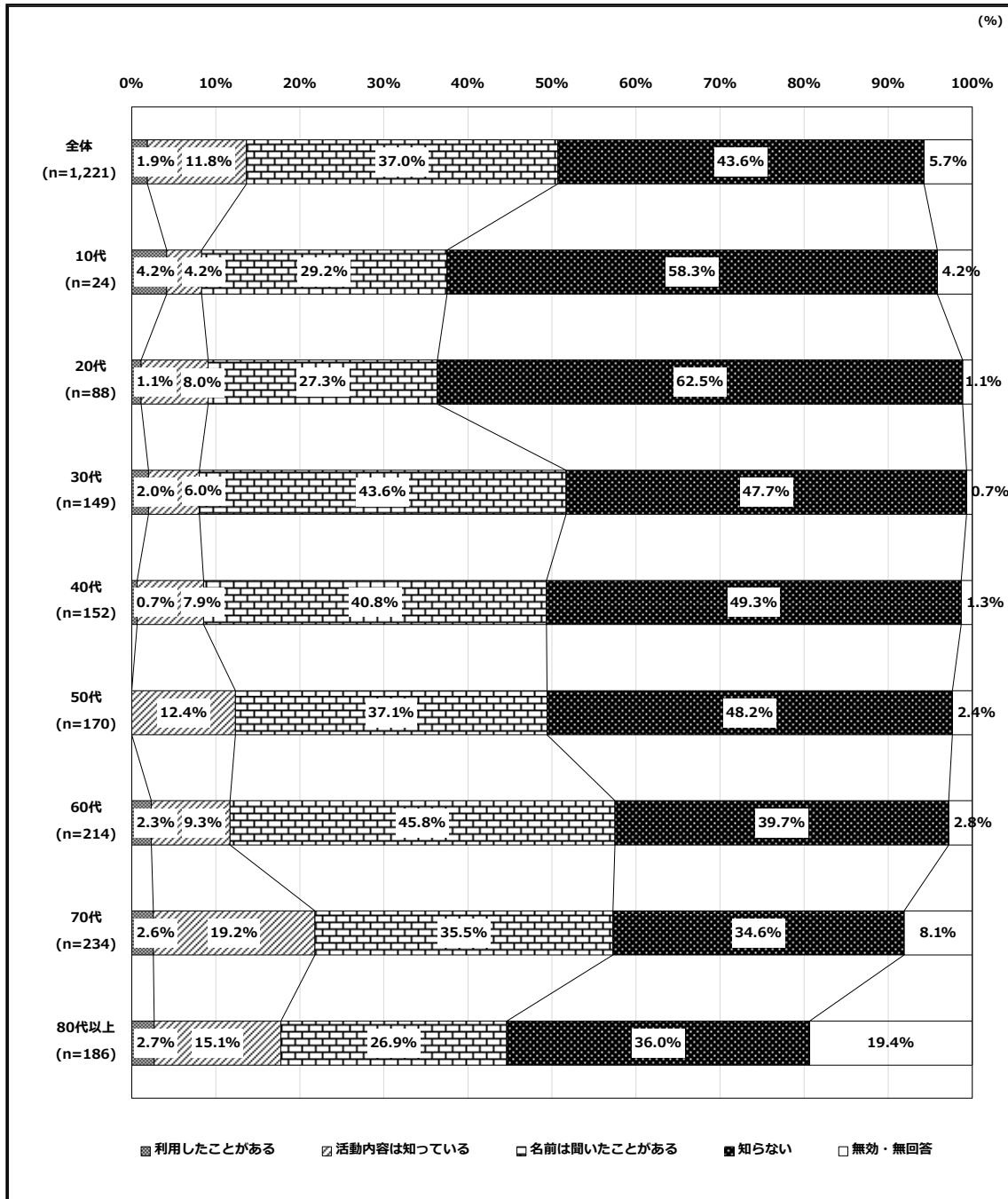


【問2（年代）別比較】

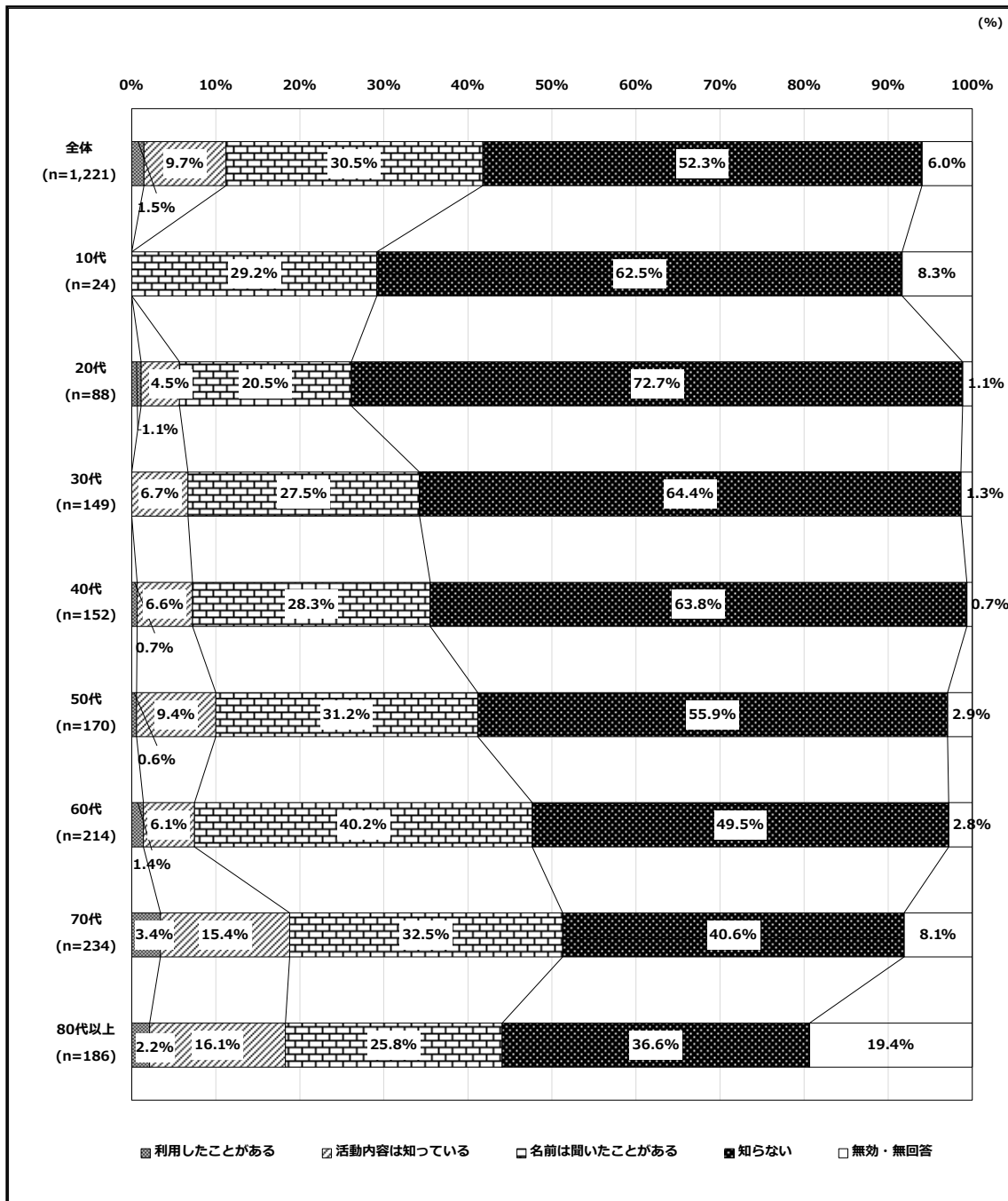
①地区社会福祉協議会



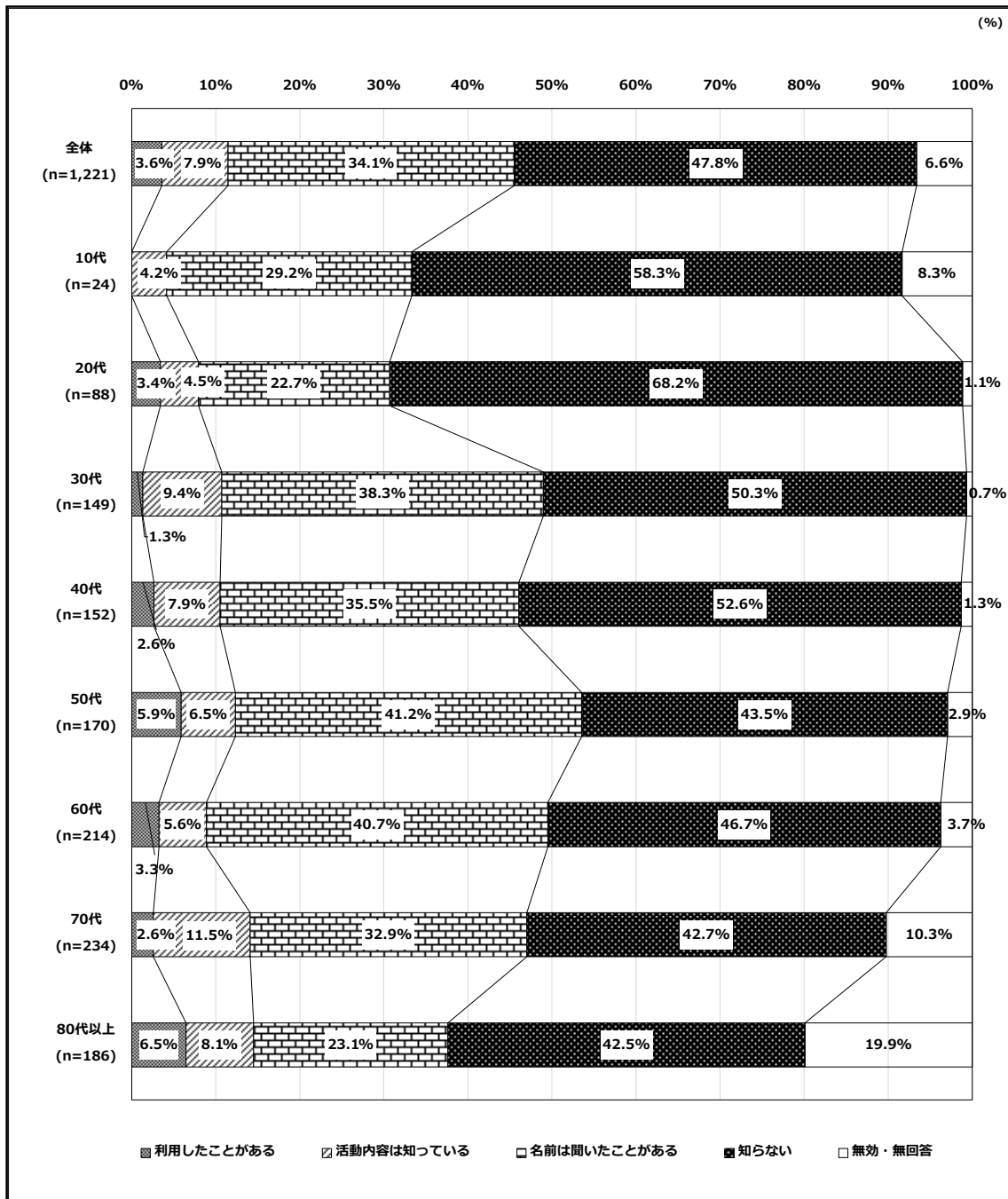
②地区ボランティアセンター



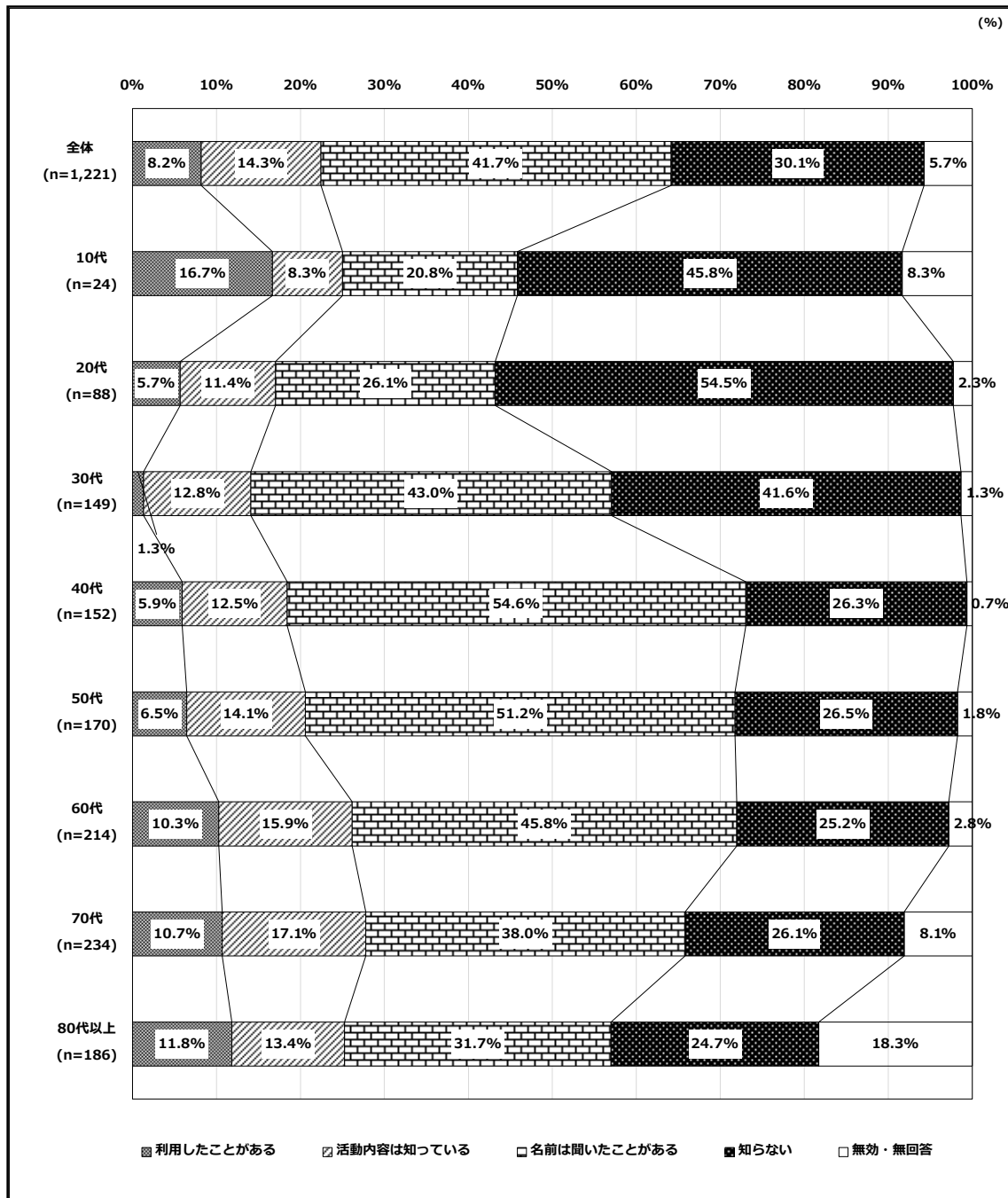
③市社会福祉協議会ボランティアセンター



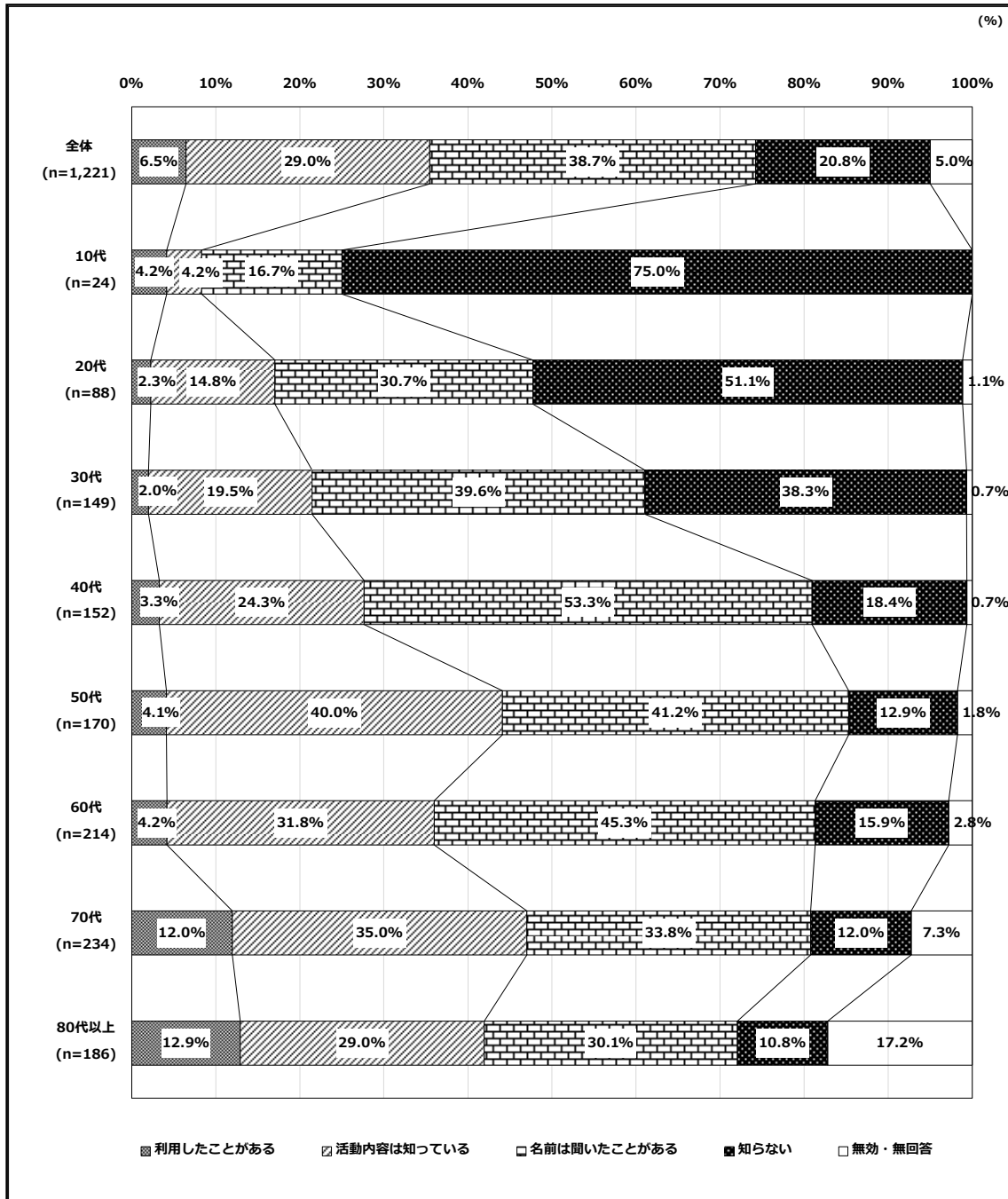
④市民活動サポートセンター



⑤生涯学習センター



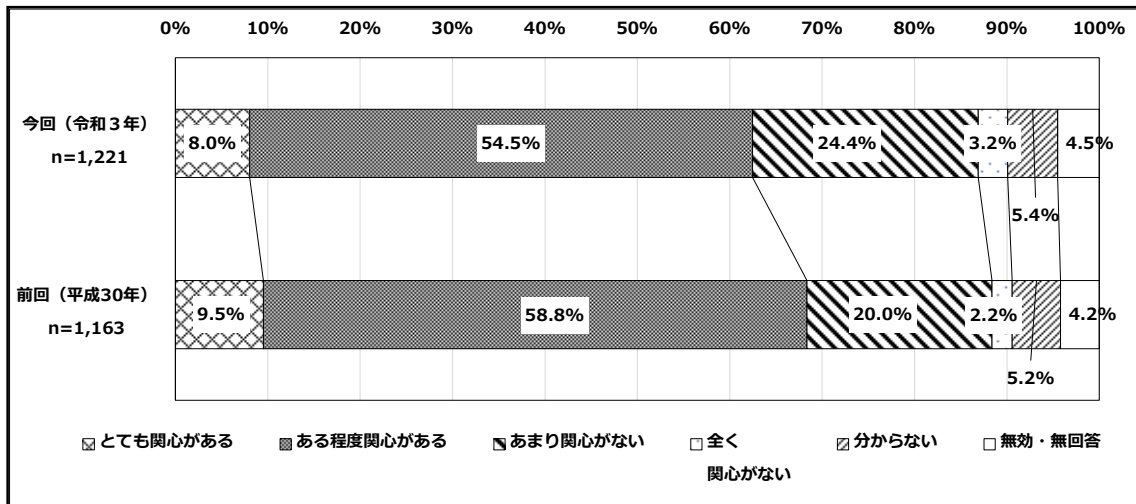
⑥シルバー人材センター



5. 福祉に対する意識について

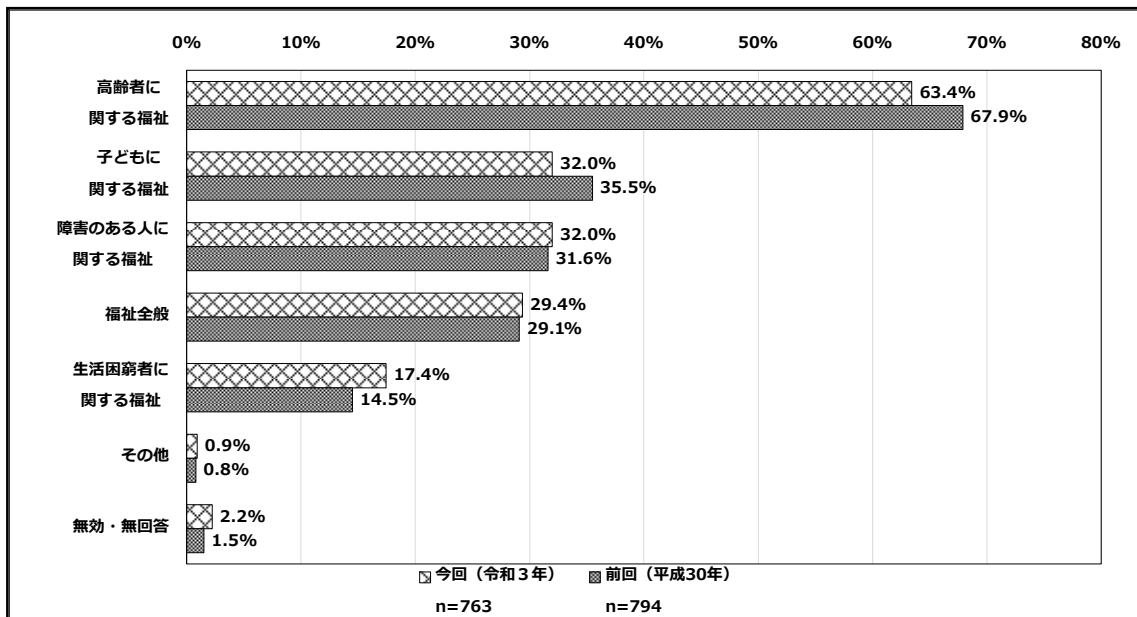
問 40 あなたは福祉に関心がありますか。【〇は1つ】

- ・「とても関心がある」(8.0%)、「ある程度関心がある」(54.5%)は合わせて、約63%でした。
- ・「あまり関心がない」(24.4%)、「全く関心がない」(3.2%)は合わせて、約28%でした。



問 41 問40で「とても関心がある」、「ある程度関心がある」のいずれかの回答をした人のみ。
関心がある福祉はどの分野ですか。【あてはまるものすべてに〇】

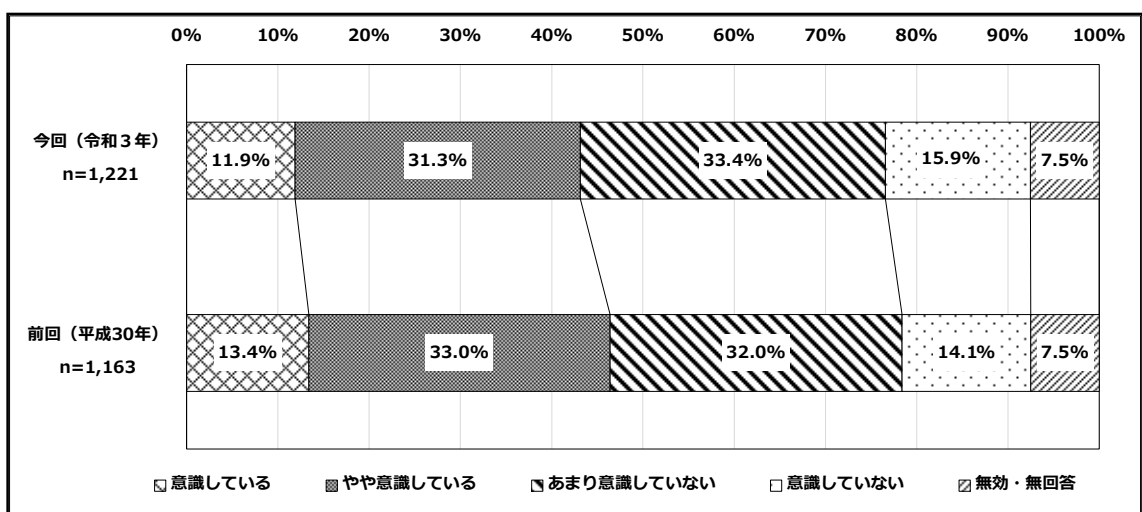
「高齢者に関する福祉」が63.4%で最も多く、次いで「子どもに関する福祉」(32.0%)、「障害のある人に関する福祉」(32.0%)となっています。



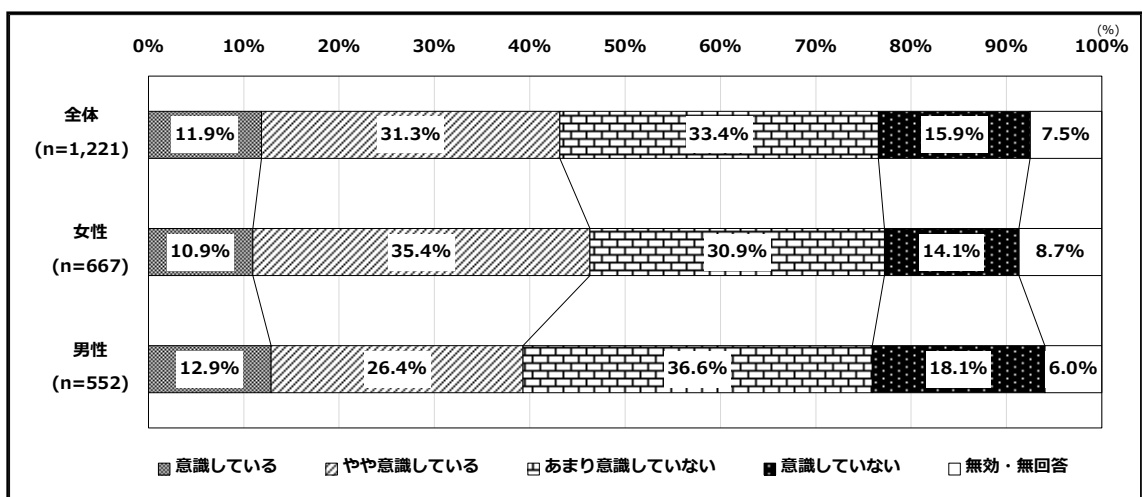
問 42 あなたは日頃、「心のバリアフリー」を意識していますか。【〇は1つ】

※「心のバリアフリー」とは、高齢者、障害者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力すること。

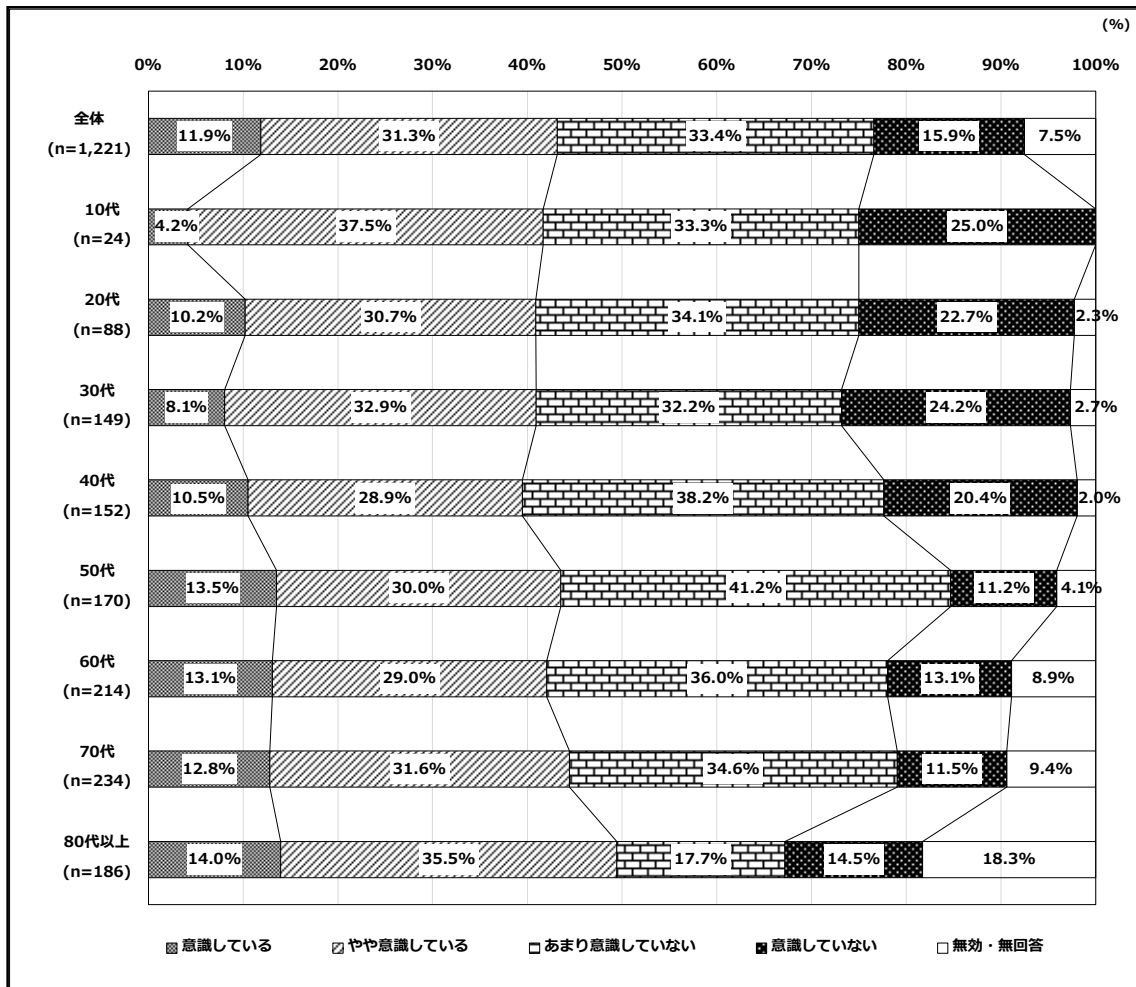
「意識している」(11.9%)、「やや意識している」(31.3%)は合わせて約43%でした。
 「あまり意識していない」(33.4%)、「意識していない」(15.9%)は合わせて約49%でした。



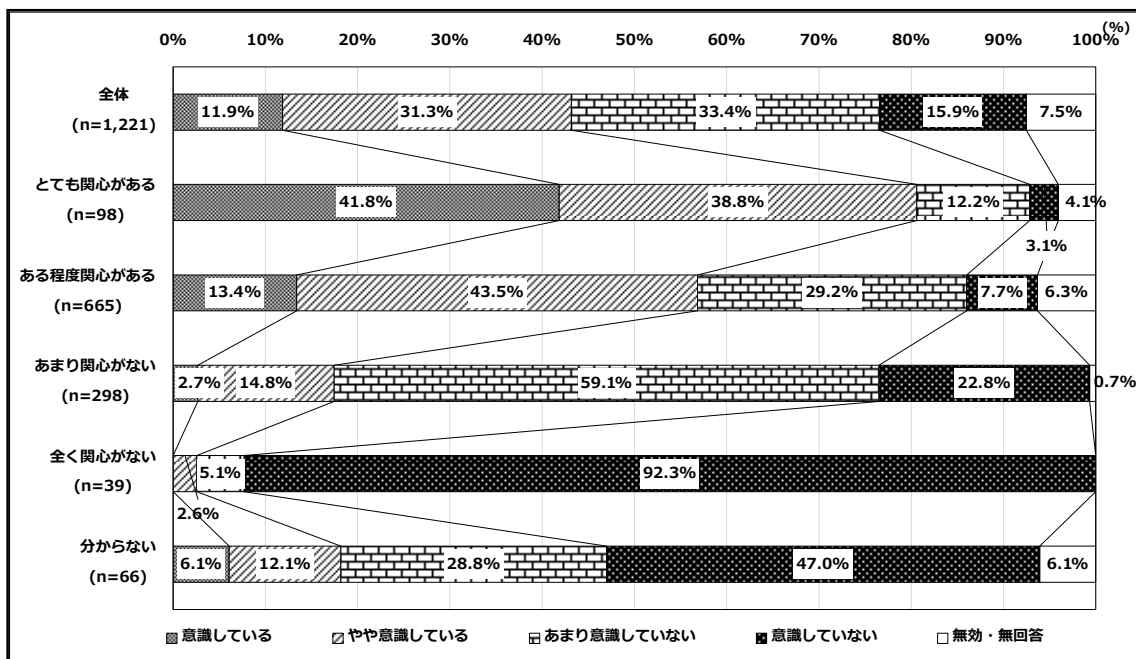
【問 1 (性) 別比較】



【問2（年代）別比較】



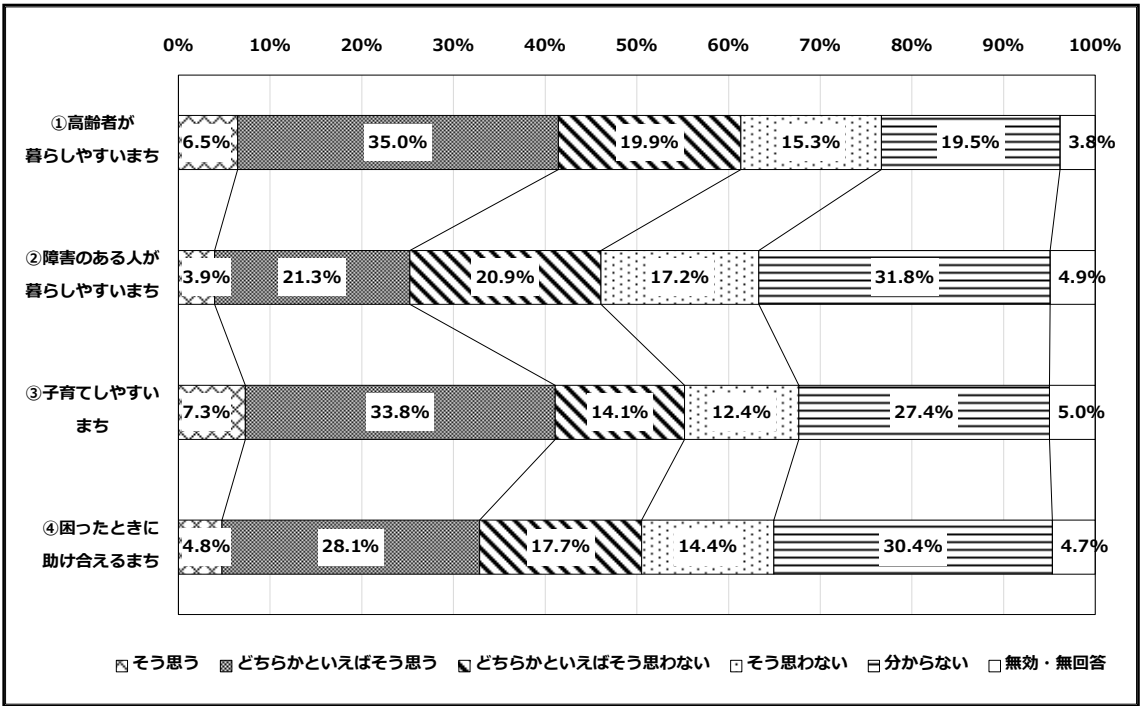
【問40（福祉に対する関心の有無）別比較】



問 43 横須賀市はどのようなまちだと思いますか。【〇はそれぞれ1つずつ】

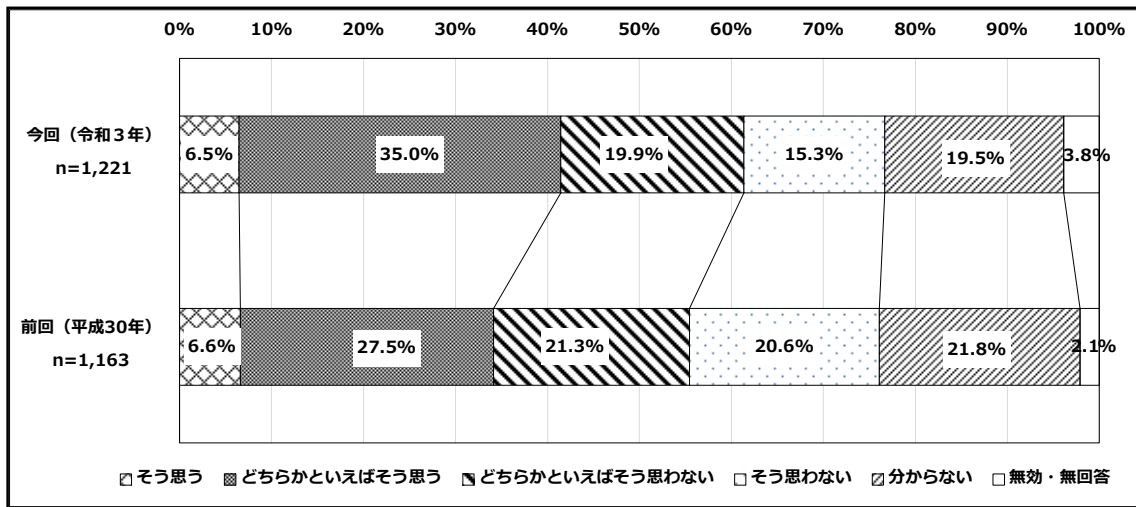
- ①高齢者が暮らしやすいまち
- ②障害のある人が暮らしやすいまち
- ③子育てしやすいまち
- ④困ったときに助け合えるまち

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の回答の合計が多かったのは、「高齢者が暮らしやすいまち」(41.5%)と「子育てしやすいまち」(41.1%)でした。

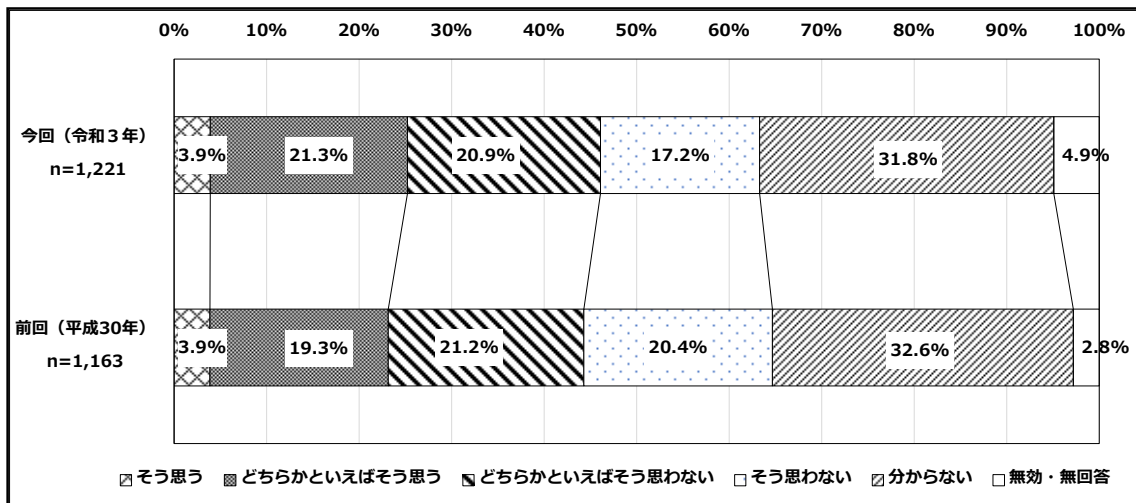


n = 1,221

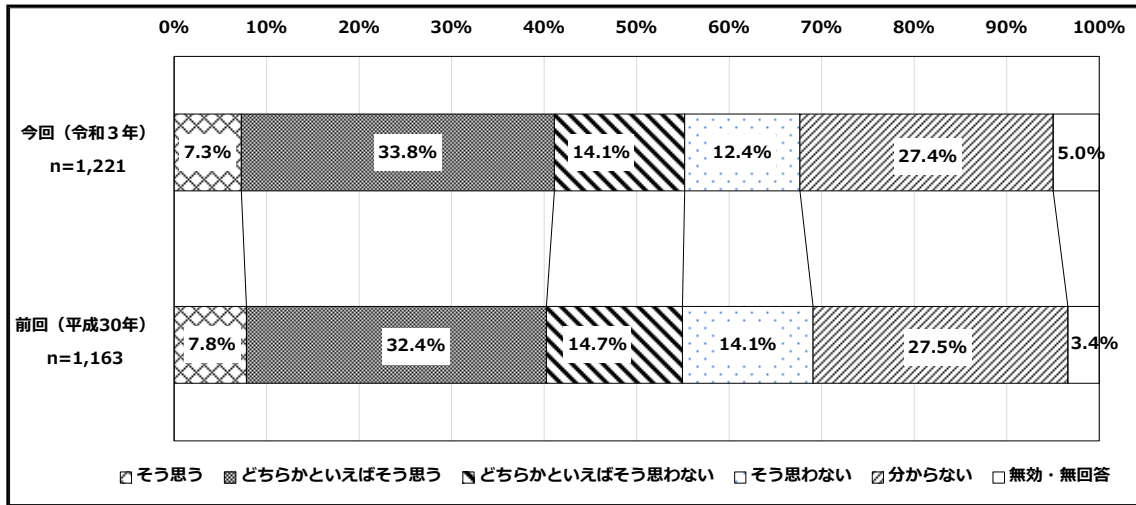
前回との比較（①高齢者が暮らしやすいまち）



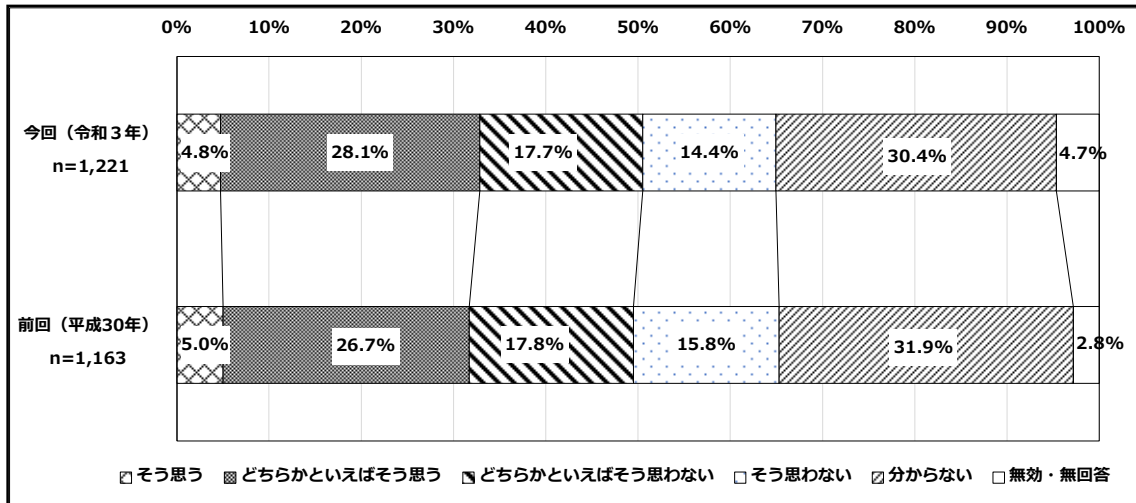
前回との比較（②障害のある人が暮らしやすいまち）



前回との比較（③子育てしやすいまち）

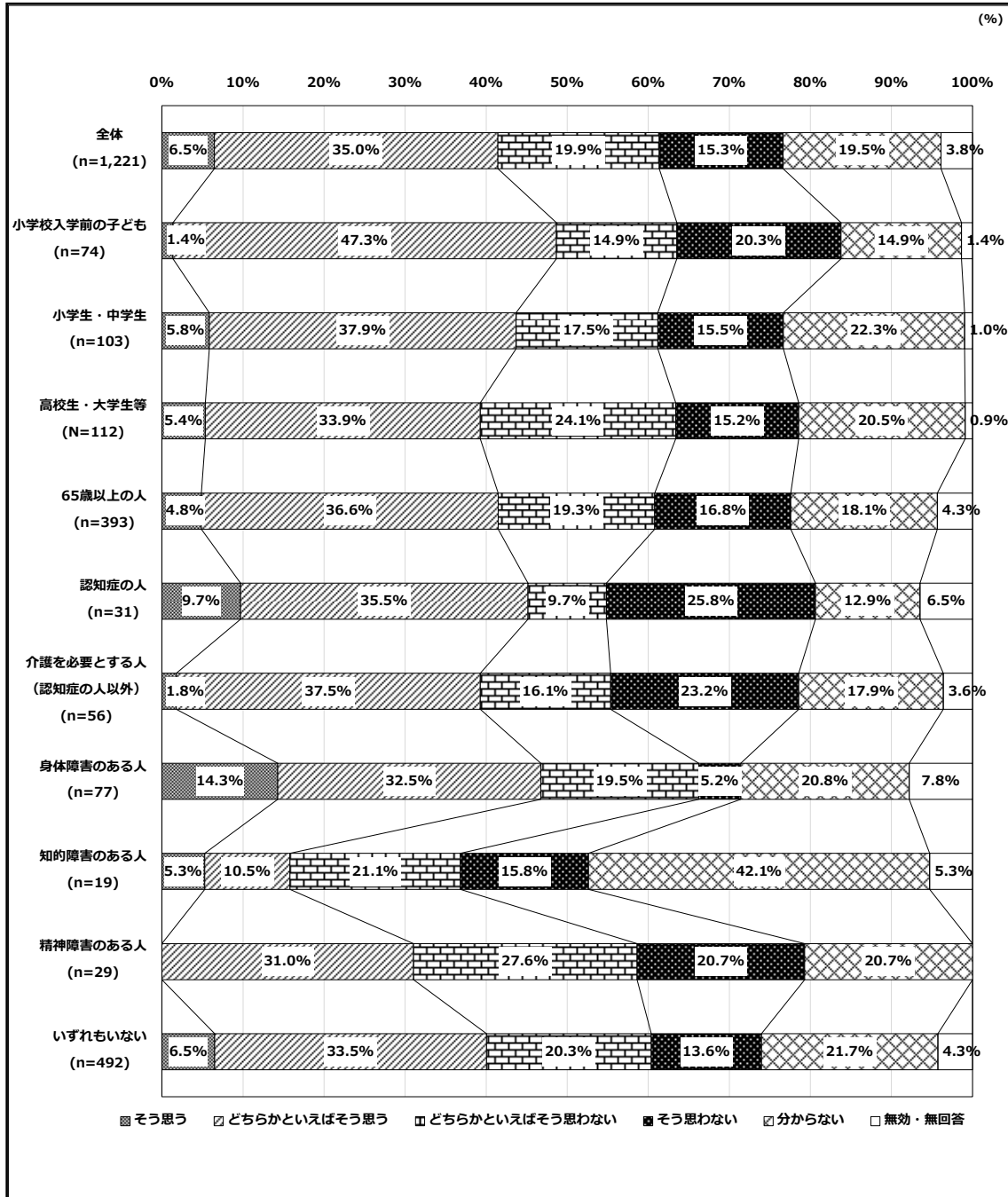


前回との比較（④困ったときに助け合えるまち）

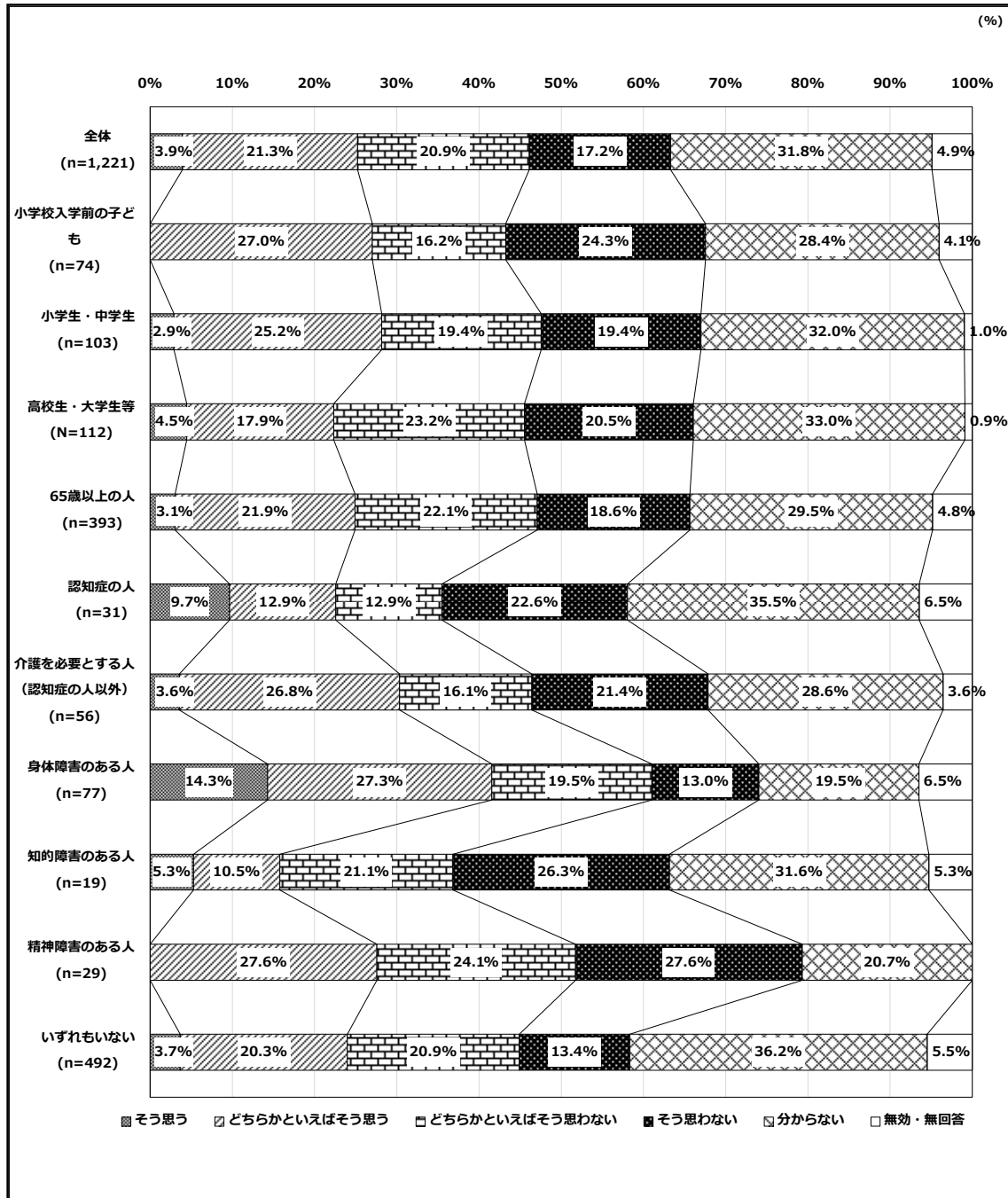


【問5（世帯特性）別比較】

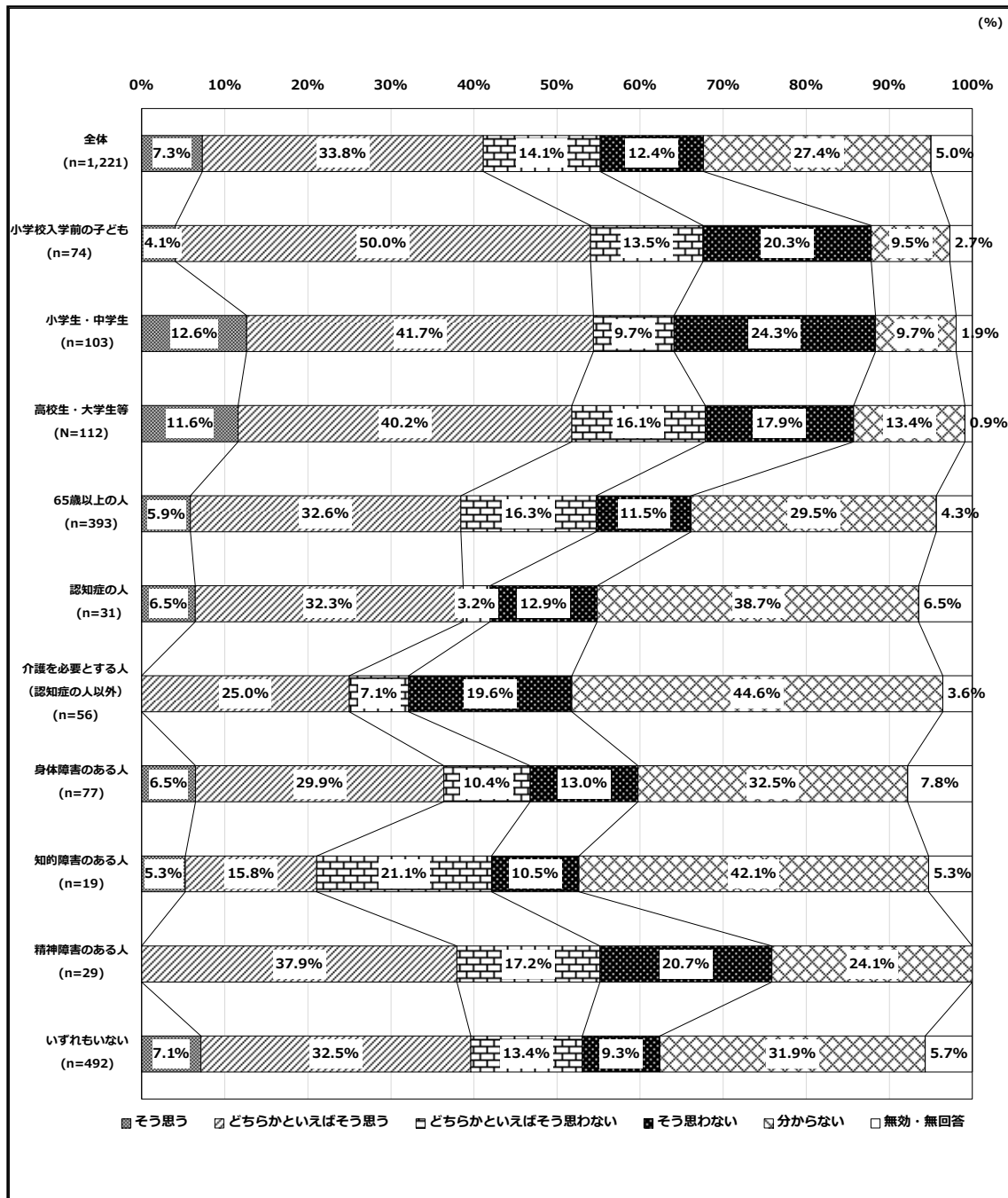
①高齢者が暮らしやすいまち



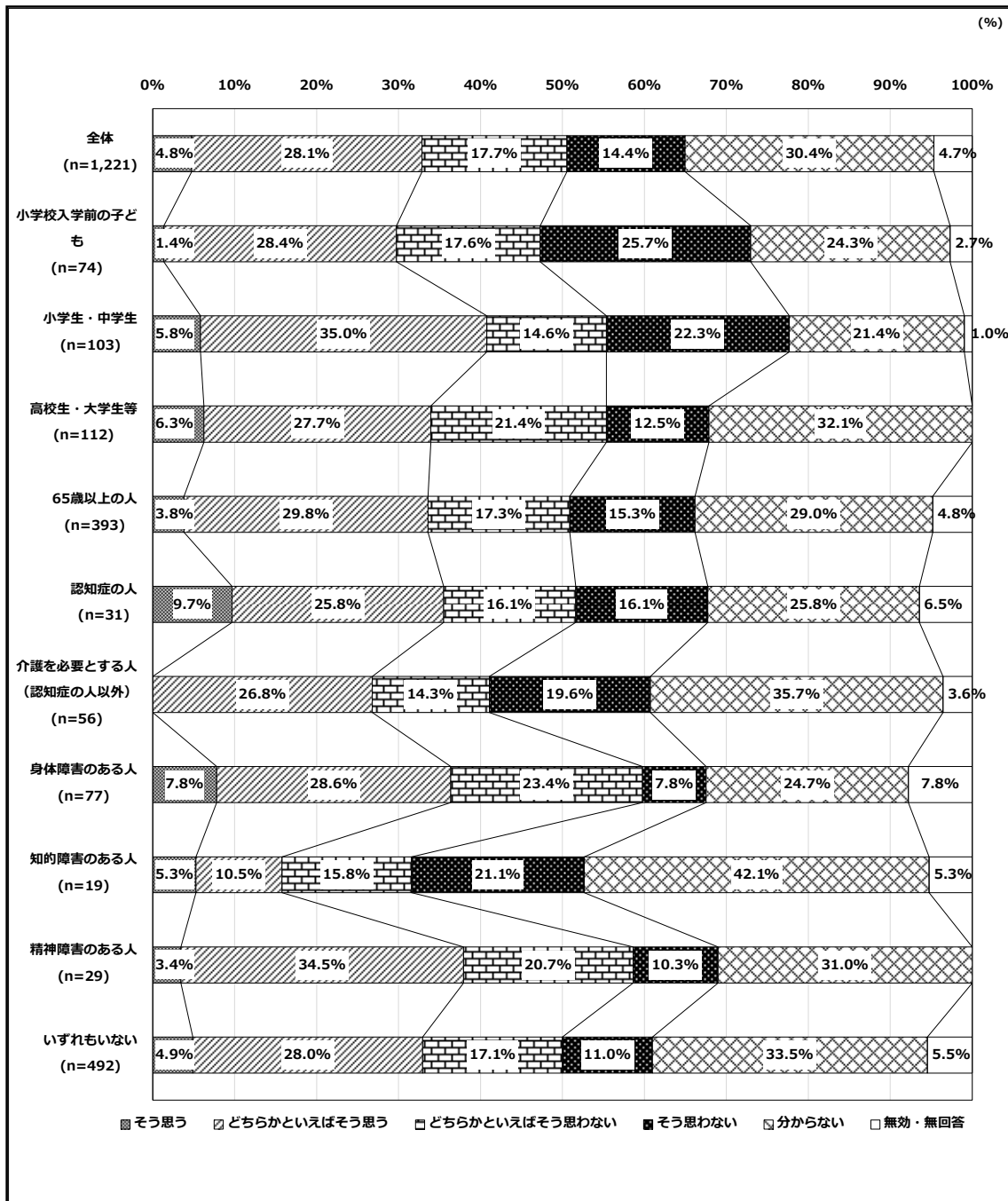
②障害のある人が暮らしやすいまち



③子育てしやすいまち



④困ったときに助け合えるまち



6. 地域福祉の推進について

問 44 地域福祉の推進に関して意見や要望等があれば自由にご記入ください。

【主な回答】

○子育てについて

- ・町内活動など高齢者中心であり子育て世代の活動・行事がない。
同じ子育て世代同士の交流の場が増えれば、地域全体の交流も増え住みやすい地域になると思う。
- ・子育てがしづらいとよく耳にする。一時的な預かり所や、雨天でも遊べる場所を増やしたほうが良いと思う

○障害について

- ・障害者でも働ける場所をもっと増やして欲しい。
- ・障害のある人がもっと住みやすい地域にしてほしい。

○高齢者について

- ・高齢者向け支援の調べ方が分かりづらい。
- ・なにをするにしてもその場所に行くのが遠い。交通が不便。小型バス・相乗りタクシー乗り場をつくってほしい。高齢者のバス料金をもっと安くしてほしい。

○その他

- ・農家などと協力をして子ども食堂をたくさん増やして欲しい。
- ・似たような名前ばかりで分かりにくい組織が多い。
- ・福祉について関心がないわけではないが、情報が少なく、どこからどうして良いか全くわからない。
- ・ボランティア活動に参加したいが、どこに相談すればよいのか、分からない。近所の高齢者や、障害者、ひとり親家族など、支援が必要な人の情報を共有してほしい。
- ・ほとんど知らないし、積極的に調べないと思うので今後は e ラーニングなどで半強制的に学習させていくのはどうか。